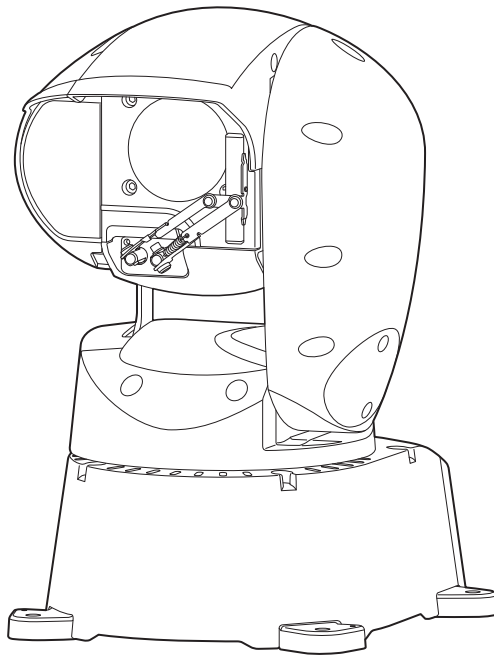


Panasonic®

取扱説明書

HD インテグレートドカメラ

品番 **AW-HR140**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

JAPANESE

DVQP1342XA

■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Internet Explorer®、ActiveX® およびDirectX® は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、OS X、iPhone、iPod Touch、iPad、Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Android™ はGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- Intel®、Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。


■ 略称について

- 本書では、以下の略称を使用しています。
- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
 - Microsoft® Windows® 8 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8と表記しています。
 - Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8.1と表記しています。
 - Microsoft® Windows® 10 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 10と表記しています。
 - Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 9.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 10.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 11.0 日本語版をInternet Explorerと表記しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-HR140	AW-HR140
AW-HS50	AW-HS50
AW-RP50	AW-RP50
AW-RP120G	AW-RP120
AK-HRP200G	AK-HRP200

■ 本書内のイラストや画面表示について



- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Windowsのみ利用可能な機能には、マークを付けて記載しています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

安全上のご注意	4	Others 5/5画面	50
接地に関するご注意	6	Maintenance画面	51
はじめに	7	Firmware VER 1/2画面	51
概要	7	Firmware VER 2/2画面	51
必要なパーソナルコンピューターの環境	7	IP Network画面	52
免責について	8	Hour Meter画面	53
ネットワークに関するお願い	8	カメラメニュー項目一覧	54
特長	9	Web画面の表示	58
対応コントローラー	10	パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示	58
付属品	11	ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]の切り替え	59
使用上のごお願い	12	Web画面からの操作	60
各部の名前とはたらき	14	ライブ画面[Live]：シングル表示モード	60
AW-RP50(別売品)	16	ライブ画面[Live]：マルチ表示モード	64
ネットワークの設定を行う	21	Web画面からの設定	65
IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う	21	Web設定画面[Setup]へのログイン	65
表示用プラグインソフトウェアをインストールする	22	Web設定画面[Setup]	65
ユーザー認証機能の使用をご確認ください	22	基本画面[Basic]	66
撮影の基本操作	23	カメラ画面[Image]	67
電源の入れ方と切り方	23	マルチスクリーン設定画面[Multi-screen setup]	83
電源の入れ方	23	ユーザー管理画面[User mng.]	84
電源の切り方	23	ネットワーク設定画面[Network]	86
本機を選択	23	メンテナンス画面[Maintenance]	99
撮影モード(シーンファイル)の選択	24	携帯端末によるWeb画面表示	102
撮影モードの種類	24	システムログ表示について	106
選択のしかた	24	リミッターについて	107
撮影する	25	セーフモード	108
撮影の基本操作で困ったときは	26	セーフモードについて	108
より高度な使い方	26	機器の異常検知について	108
マニュアル撮影	27	故障と思ったら	109
フォーカスのマニュアル調整	27	保証とアフターサービス(よくお読みください)	118
アイリスのマニュアル調整	27	修理を依頼される時	118
シャッタースピードのマニュアル調整	27	定格	119
ゲインのマニュアル調整	27	さくいん	122
プリセットメモリー	27		
ホワイトバランス調整	28		
自動調整(AWB：AWB A/AWB B)	28		
自動追尾式ホワイト調整(ATW)	28		
3200K・5600Kプリセット	28		
VAR	28		
ブラックバランス調整	29		
自動調整	29		
黒レベル(マスターペダスタル)調整	29		
ゲンロック調整	29		
水平位相調整	29		
設定の基本操作	30		
リモートカメラコントローラーAW-RP50での操作	31		
リモートカメラコントローラーAW-RP120での操作	33		
リモートオペレーションパネルAK-HRP200での操作	35		
カメラメニュー項目	38		
カメラメニュー項目の設定	38		
トップメニュー(Top Menu)画面	38		
Camera画面	39		
Brightness 1/2画面	39		
Brightness 2/2画面	40		
Picture 1/4画面	41		
Picture 2/4画面	41		
Picture 3/4画面	42		
Picture 4/4画面	42		
Matrix 1/5画面	43		
Matrix 2/5画面	43		
Matrix 3/5画面	44		
Matrix 4/5画面	44		
Matrix 5/5画面	45		
Intelligent画面	45		
System画面	46		
Genlock画面	46		
Output画面	47		
Others 1/5画面	48		
Others 2/5画面	49		
Others 3/5画面	49		
Others 4/5画面	50		



安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。






 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。




警告

カメラは…


 電源プラグ を抜く	■ 異常があったときは、外部DC電源の電源プラグおよびPoE++給電のLANケーブルを抜く 〔 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき 〕 (そのまま使うと、火災・感電の原因になります。) ⇒ 外部DC電源を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒ 販売店にご相談ください。
	■ 回転動作中は本体部に手を触れない (回転部に指をとられ、けがの原因になります。)
	■ ぶら下がらない、足場代わりにしない (落下などの事故の原因になります。)
	■ 可燃性ガスの雰囲気中使用しない (爆発によるけがの原因となります。)
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部や外部DC電源などの電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)
	■ デフロスターを使用したときは、ガラス面とそのねじに手を触れない (ガラス面を暖めるため高温になり、やけどをするおそれがあります。)
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
	■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒ 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。
	■ 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。)
	■ 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください ⇒ 販売店にご相談ください。
	■ 地震後は必ず点検する (本体取付部が損傷し、落下の原因となります。) ⇒ 必ず販売店に依頼してください。

 **警告 (つづき)**




外部DC電源、PoE++は…

	<p>■ DCコネクタ・プラグ、LANケーブルを破損するようなことはしない 〔 傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど 〕 (感電・火災の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に設置しない (落下や転倒によるけがや事故の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電・火災の原因になります。)</p>
	<p>■ DCコネクタ、LANケーブルは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。</p> <p>■ 外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒ 詳しくは、15ページを参照してください。 ⇒ 外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒ 外部DC電源は、電気用品安全法のマークの付いたものをご使用ください。</p> <p>■ DCコネクタのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ DCコネクタを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

小さな付属品は…

	<p>■ 本体取付ねじ、金具取付ねじ、落下防止ワイヤー取付ねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
---	---

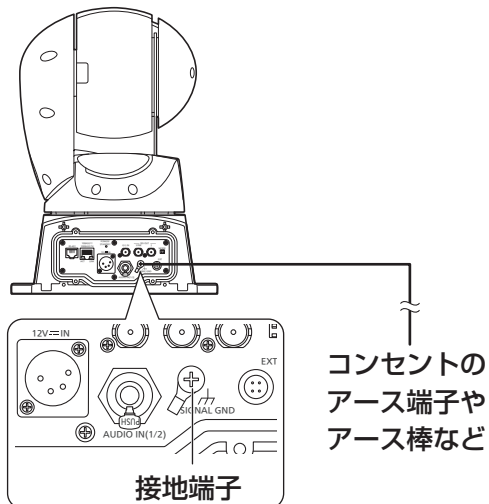
⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [密閉された箱など、狭いところに入れない、ビニールシートを掛けない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ふみ台や腰掛けにしない (けがの原因となります。)</p>
	<p>■ 金属のエッジで手をこすらない (強くこするとけがの原因となります。)</p>
	<p>■ 無理な力を加えない (取付部が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。)</p>
	<p>■ DCコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ケーブルなどは引っ張らない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒ 点検は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 病院内では、病院の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグ を抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検(1年に1回をめやすに)をお願いします。

接地に関するご注意

- 本体の接地端子<SIGNAL GND>から接地を行ってください。



はじめに

概要

- 本製品は、新開発の1/2.86型フルHD 3MOSセンサーとデジタルシグナルプロセッサ(DSP)を採用した、屋外対応の回転台一体型フルHDカメラです。
- 光学20倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備えており、水平解像度1000本の高画質で臨場感あふれる撮影が可能です。また、高感度で、画揺れ補正やナイトモードの機能を備え、幅広い環境下での撮影が可能です。
- コントローラーを接続すると、IP制御またはシリアル制御によるスムーズなカメラ操作が可能です。
- ナイトモードを備え、低照度下においても被写体に赤外線を照射することで撮影が可能です。
- パーソナルコンピューターと本機をIPネットワーク経由で接続することで、Web画面から本機を操作することができます。
- 新開発のコーデックエンジン搭載により、ネットワーク経由で、FullHD画質で最大毎秒60フレームの出力ができます。
- 標準シリアル通信方式に対応しており、市販のコントローラーとの接続が可能です。
- Panasonic 独自のシリアル通信により、Panasonic 製のカメラのコントローラーとの接続が可能です。
- 屋外撮影環境に必要な不可欠な各種機能を標準で装備しています。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • インテリジェント機能 (自動調整) • ワイパー • ヒーター | <ul style="list-style-type: none"> • デフロスター • 防振補正機能 • 霧除去機能 • ウォッシャー制御 |
|---|---|

必要なパーソナルコンピューターの環境

CPU	Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz以上 推奨
メモリー	【Windowsの場合】 1 GB以上 (ただし、Microsoft® Windows® 10 / Microsoft® Windows® 8.1 / Microsoft® Windows® 8 / Microsoft® Windows® 7の64ビットの場合は、2 GB以上) 【Macの場合】 2 GB以上
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応OSとWebブラウザ	<p>【Windows】</p> <p>Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 11.0 *1*3</p> <p>Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 11.0 *1*3</p> <p>Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 10.0 *1*3</p> <p>Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット / 32ビット *2 Windows® Internet Explorer® 11.0 / 10.0 / 9.0 / 8.0 *3</p> <p>【Mac】</p> <p>OS X 10.11 Safari 9.0</p> <p>OS X 10.10 Safari 8.0.4</p> <p>OS X 10.9 Safari 7.0.2</p> <p>OS X 10.8 Safari 6.1.2</p> <p>【iPhone / iPad / iPod touch】</p> <p>iOS 標準Webブラウザ</p> <p>【Android】</p> <p>Android OS 標準Webブラウザ</p>
その他	Adobe® Reader® (Webサイトに掲載されている取扱説明書を閲覧するため)

*1 デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。(Modern UIのInternet Explorerには対応していません)

*2 Windows® XP 互換モードでは使用できません。

*3 Internet Explorer® 64ビット版では使用できません。

重要

- 必要なパーソナルコンピューター的环境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Webブラウザが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

〈NOTE〉

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。(Modern UIのInternet Explorerには対応していません)
- 対応OSとWebブラウザに関する最新情報については、下記のWebサイトのサポートデスクをご覧ください。
日本語 : <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥お客様による撮影映像(記録を含む)が何らかの理由により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべてのWebブラウザを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

〈NOTE〉

ユーザー認証について

- 本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- 本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■ マルチフォーマットに対応

- 以下の複数のフォーマットをカメラメニューまたはWeb操作で切り替えが可能です。

【対応フォーマット】

1080/59.94p、1080/29.97p*¹、1080/23.98p*²、
1080/59.94i、1080/29.97PsF*³、1080/23.98PsF*³、
720/59.94p、1080/50p、1080/25p*¹、1080/50i、
1080/25PsF*³、720/50p

*¹ Native出力

*² Over59.94i出力

*³ 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示される場合があります。また、1080/23.98PsFと29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示される場合があります。

■ 1/2.86型MOSセンサー・高性能20倍ズームレンズを採用

- 新開発の1/2.86型フルHD 3MOSセンサーとDSP (Digital Signal Processor) を搭載。多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 光学20倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備え、高画質で臨場感あふれる映像が得られます。
- 白とびや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチャー (DRS)、暗い場所でも残像を抑えてクリアに撮影するデジタルノイズリダクション (DNR) を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

■ 高性能回転台との一体型で快適操作

- 60°/sの高速動作。
- パン範囲：±175°、チルト範囲：-30°～210°の広い旋回角度。
- 最大100ポジションのプリセットメモリーが可能。
(コントローラーによって、使用できるプリセットメモリー数は異なります。)

■ ナイトモードを搭載

- 赤外線撮影に対応しています。
通常では撮影が困難な低照度下においても、被写体に赤外線を照射することで、撮影が可能となります。
(映像出力は白黒画像となります。)
- IRISは開放固定となります。

■ IP 映像出力機能を搭載

- 画像圧縮、IP伝送LSIを搭載。FullHD画質で、最大毎秒60フレームの出力ができます。
- IPコントロールと共に用いることで、遠隔地からのカメラ制御など、幅広い用途での使用が可能となります。

■ 標準シリアル通信方式に対応

- 市販のコントローラーにRS-422で接続できます。

〈NOTE〉

- 標準シリアル通信方式では、屋外機能に関する制御をコントローラーで直接制御することができません。
カメラメニューを設定して制御してください。

■ 現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製コントローラー (AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200) からシリアル制御で最大5台までの本機の操作が可能。
現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

〈NOTE〉

- コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
本機とコントローラー間の最大距離は1000mです。(シリアル制御時)
映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。

■ 屋外ハウジング・回転台・カメラ・レンズ一体型で、システム構築が容易

- 屋外対応ハウジング・カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、簡単にシステム構築が行えます。

■ かんたん接続で柔軟なカメラレイアウト

- IP制御で優れた接続性を実現しました。
〈NOTE〉
本機は、屋外に対応した据え置き機器です。
車載での使用はできませんのでご注意ください。

■ 屋内専用モデルから機能アップを実現

- 実績のある屋内専用モデル (AW-HE130) の機能に加えて、屋外での撮影に必要な機能を充実させました。

■ IPコントロールによる簡単接続・設定

- 当社製コントローラー (AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200) からIP接続により、最大100台までの本機の操作が可能です。
(LANケーブルの最大長は、100mまでです。)

■ PoE++*⁴ 搭載によりカメラ電源工事が不要

- PoE++規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3bt Draft ver.2.0準拠)*⁵ に接続することによって、カメラ電源工事が不要となります。

〈NOTE〉

- ソフト認証の必要なPoE++給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまでの時間が数分かかる場合があります。
- 外部DC電源とPoE++給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像が切れます。
- PoE++給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5以下のケーブルをご使用されずと給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE++インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続 (クロス接続) してください。

*⁴ Power over Ethernet Plus Plusの略です。以降「PoE++」と表記いたします。

*⁵ 動作確認済みのPoE++給電装置については、販売店もしくは当社のサービス窓口にお尋ねください。

対応コントローラー

- AW-RP50
- AW-RP120
- AK-HRP200

- ・コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。
アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

〈NOTE〉

- ・以下の現行コントローラーについては、コントローラーからの動作ができません。

項目	AW-RP555	AW-RP655
カメラOSDメニュー操作	使用可能	使用可能
Scene	使用可能*1 (1/2/3/USER)	使用可能 (HALOGEN/FLUORESCENT/OUTDOOR/USER)
Iris Mode	使用可能	使用可能
Shutter Mode	制限付きで使用可能*2 (Stepのみ)	使用不可
Gain	使用可能*1	制限付きで使用可能*3
ND Filter	使用不可	使用不可
Day/Night	制限付きで使用可能*4	制限付きで使用可能*4
White Balance Mode	使用可能*1 (AWB A/AWB B/ATWのみ)	使用可能 (AWB A/AWB B/ATWのみ)
AWB/ABB	使用可能	使用可能
Color Temperature	使用不可	使用不可
R Gain / B Gain	使用不可	使用可能
Pedestal	使用不可	使用可能
R Pedestal / B Pedestal	使用不可	制限付きで使用可能*5
Detail	使用不可	使用不可
V Detail Level	使用不可	使用不可
CAM/BAR	使用可能*1	使用可能
Pan	使用可能	使用可能
Tilt	使用可能	使用可能
Preset	使用可能	使用可能
Preset Speed	使用不可	使用不可
Preset Speed Table	使用不可	使用不可
Preset Scope	使用不可	使用不可
Freeze During Preset	使用不可	使用不可
Focus Mode	制限付きで使用可能*4	制限付きで使用可能*4
Zoom	使用可能	使用可能
Digital Extender	使用不可	使用不可
OIS/D.I.S.S.	使用不可	使用不可
Tally	制限付きで使用可能*6	制限付きで使用可能*6

*1 他の機器で設定値が変更された場合、設定値の反映が遅くなる場合があります。

*2 設定後にShutter ModeをOFF/ONしないと値が切り替わりません。

*3 Gainが19(dB)以上のときの動作が不正になります。

*4 他の機器で設定値が変更された場合、設定値が反映されません。(自機器で設定した場合は反映されます。)

*5 値の表示範囲が不正(-150~+150)となります

*6 本機にはタリーランプがありませんが、「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。

■ 標準プロトコルでは制御できない機能

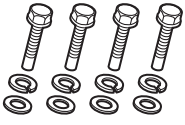
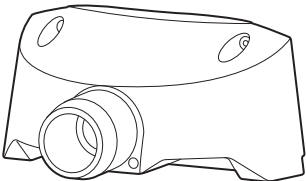
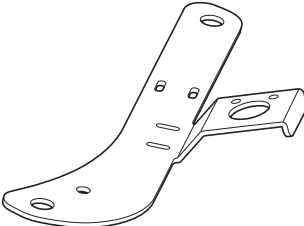
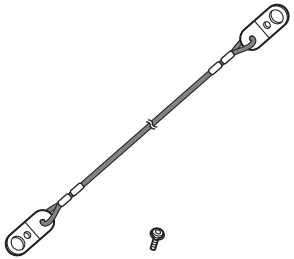
以下の項目の操作は、標準プロトコルでの制御ができません。

項目	標準プロトコル非対応
Heater	制御不可
Wiper	制御不可
Defroster	制御不可
Washer	制御不可
OIS/D.I.S.S.	設定不可
Audio	設定不可
DC Out	制御不可
Tally	本機には、表示機能がありません。

付属品

付属品をご確認ください。

・ 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

<p>六角ボルト M8 × 30 mm (4) ワッシャーM8 (4) スプリングワッシャーM8 (4)</p> 	<p>ケーブルカバー (1)</p> 	<p>ウォッシャーノズル取付金具 (1)</p> 	<p>落下防止ワイヤー (1) 落下防止ワイヤー固定用ねじ (六角穴付き、本体用) M4 × 10 mm (1)</p> 
--	--	---	--

使用上のお願い

■ 撮影は適正な照明で

美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

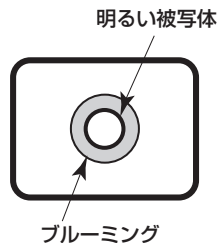
高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。

(推奨温度 35℃以下)

設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

■ 強い光にカメラを向けないでください

MOSセンサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)を生じることがあります。



■ 高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

■ オート機能使用のときは

- ・カメラメニューなどの「Scene」では、一部の項目で初期設定がオートとなっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行う場合は、必要に応じてオート設定からマニュアル設定に切り替えてください。
- ・場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。

■ ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズーミングしてください。(ただし、被写体までの距離が1.5 mよりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)

ワイド端でフォーカス調整を行った後にテレ端にズーミングすると、フォーカスがずれる場合があります。

■ 電源を入れたときのPan/Tilt動作やレンズの動作について

本機の電源を入れたとき、Pan/Tiltのメカニズム、レンズのズーム、フォーカス、アイリスが自動的に調整動作を行います。

■ 本機にはセーフモード機能があります

セーフモードは、本機の損傷を防止するための機能です。

詳細については「セーフモードについて」(→108ページ)を参照してください。

■ 使用温度範囲は

-15℃を下回る寒い所や45℃を超える暑い所での動作は、画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

■ カラーバーについて

- ・カラーバーは色位相調整用であり、バーの幅や位置が他機種と異なる場合があります。

■ IP映像更新速度について

IP映像更新速度は、ご利用のネットワーク環境、パーソナルコンピュータまたは携帯端末の性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

■ H.264特許プールライセンスについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること

(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること

詳細についてはMPEG LA, LLCのWebサイト(<http://mpegla.com>)を参照してください。

■ PoE++給電について

本機は、IEEE802.3bt Draft ver.2.0に準拠しています。PoE++給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターをご使用ください。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

本機に電源スイッチはありません。

ケーブルを抜き差しする場合には、DC電源、あるいはPoE++給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 取り扱いには注意を

落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

■ 使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。

使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

■ 光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”です。

光学系には絶対に触れないでください。

万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

デフロスターを使用したときは、ガラス面とそのねじに手を触れないでください。

ガラス面を暖めるため、高温になっています。

■ 太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、撮像素子を傷める原因となります。

■ 使用するパーソナルコンピュータについて

パーソナルコンピュータのモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

■ IPアドレスの設定について

1台のカメラに対して、複数のパーソナルコンピュータ上のIP簡単設定ソフトウェアを操作して、同時にIPアドレスを設定しないでください。

IPアドレスの設定がわからなくなる原因となります。

■ 回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

■ カメラヘッド可動部に近づかない

本機動作中に指や身体を近づけないでください。けがや故障の原因となります。

また、パンやチルト操作時に本機が人や障害物に衝突すると、セーフモードになります。

詳細は、108ページを参照してください。

■ カメラヘッドについて

レンズ部のひさしに雪・水・ホコリなどが溜まる恐れがあります。定期的にカメラヘッドを動かして、雪・水・ホコリなどが溜まらないようにしてください。

■ お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。

乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ボディが変色することがあります。

■ カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

■ 湿気、ホコリの少ない所で

湿気、ホコリの多い所は、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

■ 除湿素子について

本機は、カメラ内部を低湿度に保つため除湿素子を内蔵しています。温度、湿度、天候などの条件によっては結露が発生し、除湿に時間が掛かることがあります。

■ 前面ガラスのクリーニングについて

前面ガラスが汚れた場合は、レンズクリーニングペーパー(カメラやメガネの清掃に使うもの)などで汚れを落としてください。

このとき、砂ほこり等が付着していると、前面ガラスに傷がつくことがあります。汚れがひどい場合には、水洗いすることをお勧めします。

デフロスターを使用したときは、ガラス面とそのねじに手を触れないでください。

ガラス面を暖めるため、高温になっています。

■ レンズ／回転台について

レンズやパン・チルト回転台などは、長期間操作しないと内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台は、定期的に動かしてください。

■ 消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境や使用条件により変わります。寿命時間は、35℃にて使用した場合の目安です。

・冷却ファン：約20000時間

・ワイパー：約12万回の動作、交換の目安：約2年

・ワイパーゴム：平均5000時間の動作、交換の目安：約2年
交換が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

本製品には、GNU General Public License(GPL)、ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品には、The BSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、下記のWebサイトをご覧ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

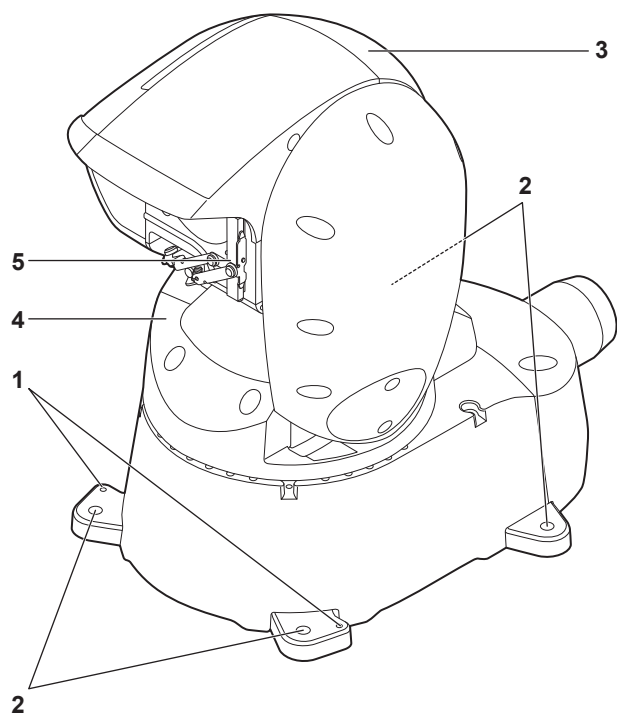
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

個人情報の保護について

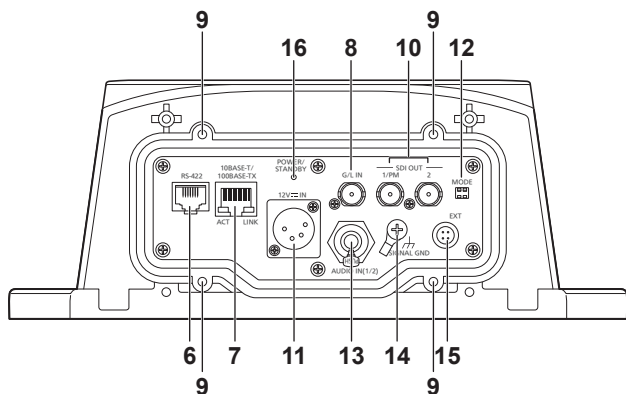
システムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

各部の名前とはたらき



背面パネル



1. 落下防止ワイヤー取り付け穴

落下防止ワイヤーを付属ねじを使って固定します。

2. カメラ台座部固定用穴

カメラ台座部に4か所あります。

3. カメラヘッド部

上下方向に回転します。

4. パンヘッド部

左右方向に回転します。

5. ワイパー

左右に移動してレンズ部をクリアにします。

6. RS-422 端子 <RS-422>

外部機器から本機をシリアル制御する際に接続するRS-422端子 (RJ45) です。接続には、以下のケーブルを使用してください。

LANケーブル*1 (カテゴリー5以上、ストレートケーブル) 最大 1000 m

*1 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	5	TXD+
2	TALLY	6	RXD+
3	RXD-	7	—
4	TXD-	8	—

<NOTE>

- 本機にはタリールンプがありませんが、ピン1 (GND) とピン2 (TALLY信号) をショートすると「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。
- 接点入力のため、ピン2 (TALLY信号) には電圧を加えないでください。

7. IP制御用LAN端子 <LINK / ACT>

外部機器から本機をIP制御する際に接続するLAN端子 (RJ45) です。接続には、以下のケーブルを使用してください。

PoE++イーサネットハブありの場合

LANケーブル*1 (カテゴリー5e以上、ストレートケーブル) 最大 100 m

PoE++イーサネットハブなしの場合

LANケーブル*1 (カテゴリー5以上、ストレートケーブル) 最大 100 m

*1 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

<NOTE>

- イーサネットハブを介さずにコントローラーと直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

8. G/L IN 端子 <G/L IN>

外部同期信号の入力端子です。

設定した映像フォーマットに適した信号を入力してください。

Format	外部同期信号入力フォーマット	
	BBS	3値同期
1080/59.94p	480/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97p	480/59.94i	—
1080/23.98p	480/59.94i	1080/59.94i
1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97PsF	480/59.94i	1080/59.94i
1080/23.98PsF	—	1080/23.98PsF
720/59.94p	480/59.94i	720/59.94p
1080/50p	576/50i	1080/50i
1080/25p	576/50i	—
1080/50i	576/50i	1080/50i
1080/25PsF	576/50i	1080/50i
720/50p	576/50i	720/50p

<NOTE>

- BBSでは、サブキャリアにはロックしません。

9. ケーブルカバー固定用ねじ穴

ケーブルカバーをねじで固定します。

10. SDI OUT 端子 <SDI OUT 1/PM, SDI OUT 2>

SDI映像信号の出力端子です。

- SDI OUT 1/PM端子からはOSD出力が可能で、カメラメニューやステータスをモニターに表示することができます。

11. DC IN端子<12V IN>(XLRコネクター)

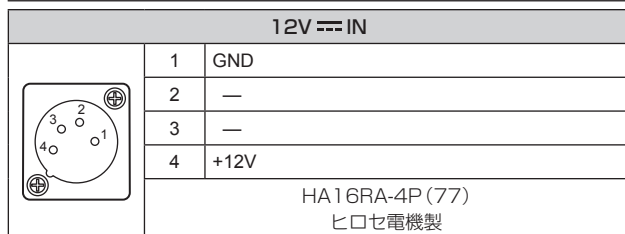
DC 10.8 V(12 V - 10%) ~ 24 V(21.8 V + 10%)を入力してください。

(NOTE)

- DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。
12 V入力時：最長3 m(AWG16コード使用時)
21.8 V入力時：最長20 m(AWG16コード使用時)

■ 外部DC電源について
外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。
外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。
接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。
総消費電力÷電圧
本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器(レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど)の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる、外部DC電源のご使用をお勧めします。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



12. MODEスイッチ<MODE>

スイッチのポジション	機能
1	AWシリーズプロトコル設定(出荷時の設定)
2	標準プロトコル設定(Baud Rate 38400 bps)
3	標準プロトコル設定(Baud Rate 9600 bps)
4	メンテナンス用のポジションになります。このポジションでは、使用しないでください。

13. 音声入力端子 <AUDIO IN(1/2)>

外部音声(ライン)の入力用端子です。
マイクなど、レベルの異なる機器を接続する場合は、別途、アンプなどでレベル合わせを行ってください。

14. 接地端子<SIGNAL GND>

コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地を行ってください。(→6ページ)

15. EXT端子<EXT>

ウォッシャー制御、およびDC 12 Vの出力端子です。

(NOTE)

- [12V-OUT](4番ピン)の出力は、DC 12 V/0.5 A以内で使用してください。
- [12V-OUT](4番ピン)に接続するコードの長さは、AWG24のコードを使用されるときで0.5 mまでです。
0.5 mよりも長くする場合は、さらに太いコードを使用してください。

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DC GND	3	COLD
2	HOT	4	12V-OUT

16. 状態表示ランプ<POWER/STANDBY>

本機の状態によって、次のように点灯します。

- 橙色：待機(スタンバイ)状態
- 緑色：電源ON時
- 赤色：機器の異常時

■ 各映像フォーマット時の出力条件

● SDI出力時

	フォーマット	SDI出力
HD/SDI	1080/59.94p	○
	1080/50p	○
	1080/59.94i	○
	1080/50i	○
	1080/29.97PsF*3	○
	1080/25PsF*3	○
	1080/23.98PsF*3	○
	1080/29.97p*1	○
	1080/25p*1	○
	1080/23.98p*2	○
	720/59.94p	○
720/50p	○	

*1 Native出力

*2 Over59.94i出力

*3 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示される場合があります。また、1080/23.98PsFと29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示される場合があります。

● IP映像伝送出力(1ch/多ch表示)

1ch表示		
解像度	1920x1080/1280x720/640x360/320x180/160x90 (SYSフォーマットには非依存)	
フレームレート	59.94 Hz	1fps/2fps/3fps/5fps/6fps/10fps/15fps/30fps/60fps*1
	50 Hz	1fps/2fps/5fps/10fps/12.5fps/25fps/50fps*2

*1 60fpsはH.264配信で1920x1080または1280x720のときのみ

*2 50fpsはH.264配信で1920x1080または1280x720のときのみ

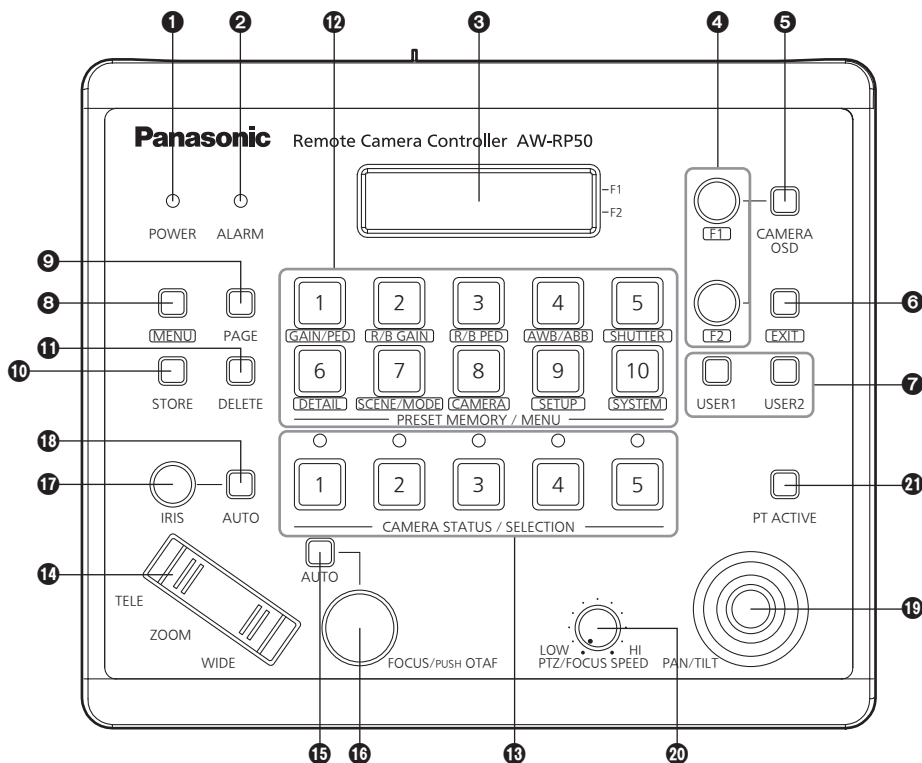
多ch表示					
設定	H.264 CH1	H.264 CH2	H.264 CH3/CH4	JPEG CH1/CH2/CH3*3	
解像度	1920x1080 1280x720	1920x1080 1280x720 640x360 320x180 160x90	1280x720 640x360 320x180 160x90	1920x1080 1280x720 640x360 320x180 160x90	
フレームレート	59.94 Hz	60 fps	5 fps 15 fps 30 fps	5 fps 15 fps 30 fps	1 fps 2 fps 3 fps 5 fps 6 fps 10 fps 15 fps 30 fps
		50 Hz	50 fps	5 fps 12.5 fps 25 fps	5 fps 12.5 fps 25 fps

*3 JPEG CH1/CH2/CH3は、それぞれ異なる解像度のみ指定可能

AW-RP50 (別売品)

詳細な操作については、AW-RP50の操作・設定編を参照してください。

■ 制御パネル部



1 POWER ランプ [POWER]

DC 電源入力端子に電源が入力されているときに、背面の POWER スイッチ (2) を ON にすると点灯します。

2 ALARM ランプ [ALARM]

電源に異常 (電圧低下) があるときに点灯します。
また、リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー) を受信したときに点灯します。
ALARM ランプが点灯した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。
そのまま使用すると、AW-RP50 が故障する原因となることがあります。
アラーム情報は、TALLY/GPI 端子 (45) から外部機器に出力することもできます。

3 LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

4 F1 ダイヤル、F2 ダイヤル [F1、F2]

メニューの値を変更するときに回して、決定するときに押します。
F1 ダイヤルで LCD パネルの上段に表示している項目を操作し、F2 ダイヤルでは下段の項目を操作します。
リモートカメラのオンスクリーンディスプレイの表示内容や操作方法は、カメラの種類によって異なります。

5 CAMERA OSD ボタン [CAMERA OSD]

CAMERA OSD ボタンを長押しするとボタンが点灯し、選択しているリモートカメラのオンスクリーンメニューがリモートカメラの出力映像に表示されます。
点灯中に再度 CAMERA OSD ボタンを長押しするとメニューが消え、ボタンも消灯します。

6 EXIT ボタン [EXIT]

メニューの操作で、1 階層戻るときに押します。

7 USER ボタン [USER1、USER2]

メニューにある設定項目の一部の機能を、[USER1]、[USER2] にアサインして使用することができます。

- アサイン可能な機能：
Super Gain、Haze Reduction、Fan、Heater、Defroster、Wiper、Washer
- [Wiper] の機能は、USER ボタンを押したのち、PRESET MEMORY/MENU ボタンの 1 ~ 3 (1 : Off、2 : Slow、3 : Fast) を押します。

8 MENU ボタン [MENU]

PRESET MEMORY/MENU ボタン (12) でメニューを呼び出すときに押します。
点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯 : メニューの操作が有効

消灯 : メニューの操作が無効

⇒「メニューの基本操作」参照

9 PAGE ボタン [PAGE]

リモートカメラのプリセットメモリーを指定するときに押します。
PAGE ボタンを押すとボタンが点灯し、プリセットメモリーのページを選択するモードに入ります。
このモードで PRESET MEMORY/MENU ボタン (12) を押してページ番号を指定します。
次に、ページ内の番号を PRESET MEMORY/MENU ボタンで指定します

10 STORE ボタン [STORE]

現在選択されているリモートカメラのプリセットメモリーを登録するときに押します。
点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯 : プリセットメモリー登録モード

消灯 : プリセットメモリー登録モード解除

11 DELETE ボタン [DELETE]

現在選択されているリモートカメラのプリセットメモリーを削除するときには押しします。

点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

- 点灯 : プリセットメモリー削除モード
- 消灯 : プリセットメモリー削除モード解除

12 PRESET MEMORY/MENU ボタン [PRESET MEMORY/MENU]

プリセットメモリーを呼び出ししたり、メニューを呼び出します。

13 CAMERA STATUS/SELECTION ボタン [CAMERA STATUS/SELECTION]

5台までのリモートカメラを選択します。

- 点灯 : 選択状態
- 消灯 : 選択解除

メニューで100台までのリモートカメラを、1～20のグループに分けて登録し、制御することができます。

1～5ボタンに割り当てられたリモートカメラの状態を、ボタンの上にあるランプで判断することができます。

14 ZOOM ボタン [ZOOM]

レンズのズームを調整します。

- TELE 側を押す : 望遠
- WIDE 側を押す : 広角

押し込み具合によって、ズーム動作のスピードが変わります。

15 オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を自動でするときに押しします。

- 点灯 : オートフォーカス
- 消灯 : マニュアルフォーカス

オートフォーカス中は、FOCUS/PUSH OTAF ダイアル (16) の操作が無効となります。

- リモートカメラにオートフォーカス機能がある場合に有効な機能です。
オートフォーカス機能がリモートカメラにない場合には、マニュアルフォーカス (消灯) の状態で使用してください。
- リモートカメラにエクステンダー機能が備わったレンズを使用している場合、ボタンを押すごとにエクステンダー機能も切り替わります。

- 点灯 : エクステンダー機能が有効
- 消灯 : エクステンダー機能が無効

(レンズのコントロールケーブルを回転台に接続する方法は、回転台の取扱説明書を参照してください。)

16 FOCUS/PUSH OTAF ダイアル [FOCUS/PUSH OTAF]

手動でフォーカス制御を行います。

- 時計方向に回す :
フォーカスが遠距離側に動く

- 反時計方向に回す :
フォーカスが近距離側に動く

ダイヤルを押すと一時的にオートフォーカス動作をして焦点を合わせます。(OTAF)

オートフォーカス中(オートフォーカスボタン (15) が点灯しているとき)は、操作が無効となります。

OTAF : ワンタッチオートフォーカス

17 IRIS ダイアル [IRIS]

手動でレンズ絞りを制御します。

- 時計方向に回す :
レンズ絞りが開く方向に動く
- 反時計方向に回す :
レンズ絞りが閉じる方向に動く
- 長押しする :
レンズ絞りが閉じる

18 オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を自動でするときに押しします。

- 点灯 : オートアイリス
- 消灯 : マニュアルアイリス

19 PAN/TILT レバー [PAN/TILT]

リモートカメラの向きを制御します。

- 左右に倒す : 左右方向に動作
- 前後に倒す : 上下方向に動作

レバーを倒す角度により、動作スピードが変わります。

20 PTZ/FOCUS SPEED ダイアル [PTZ/FOCUS SPEED]

リモートカメラの制御 (パン、チルト、ズーム、フォーカス) 速度を調整します。

- 時計方向に回す : 高速で動く
- 反時計方向に回す : 低速で動く

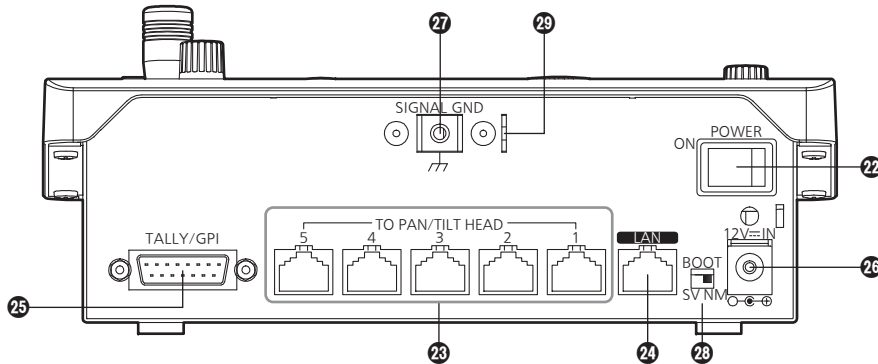
21 PT ACTIVE ボタン [PT ACTIVE]

PAN/TILT レバー操作の有効と無効を切り替えるときに長押しします。

- 点灯、または点滅 :
PAN/TILT レバーの操作が有効
- 消灯 : PAN/TILT レバーの操作が無効

- メニュー操作 ([SETUP] メニュー → [OPERATE] → [PT ACTIVE] 項目) で「P/T/Z/F」に設定しているときは、PAN/TILT レバーに加え、ZOOM ボタン、オートフォーカスボタン、FOCUS/PUSH OTAF ダイアルも、操作の有効と無効が切り替わります。
- PT ACTIVE ボタンが点滅しているときは、スイッチャーのパラメーター制御用として PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンを操作できます。
- メニュー操作 ([SETUP] メニュー → [SW LINK] → [P/T LEVER] 項目) で「Button Select」に設定しているときは、PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンの制御用途を切り替えることができます。

■ 背面部



22 POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ (●) が点灯し、操作することができます。

23 TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5 端子

[TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5] (RJ-45)

リモートカメラをストレートケーブル (カテゴリー 5以上) で接続してください。

24 LAN端子 [LAN] (RJ-45)

(10BASE-T/100BASE-TX)

IP接続対応のリモートカメラ、スイッチャー、およびホストコンピュータをLANケーブルで接続します。

AW-RP50と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリー 5以上) を使用してください。

ハブ (スイッチングハブ) 等を経由して接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリー 5以上) を使用してください。

25 TALLY/GPI入出力端子 [TALLY/GPI]

(D-sub 15ピン、メス、インチねじ)

26 DC IN端子 [12V IN] (DC 12 V)

付属のACアダプターを接続します。

27 グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

28 SERVICEスイッチ [SV/NM]

メンテナンス用のスイッチです。

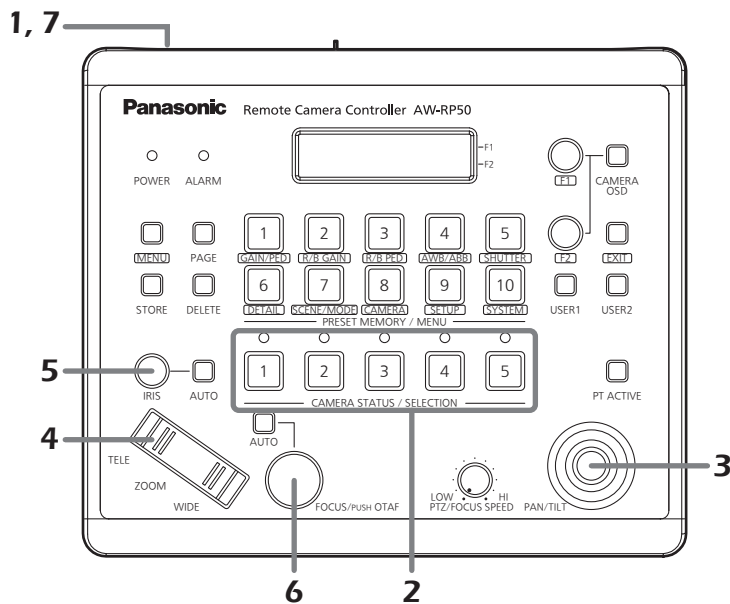
通常は、「NM」の位置で使用してください。

29 ワイヤ取り付け金具

盗難防止のために、市販の盗難防止用ワイヤーを取り付ける金具です。

■ AW-RP50の基本操作

詳細な操作については、AW-RP50の操作・設定編を参照してください。



1. AW-RP50の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。

AW-RP50に電源が供給され、POWERランプが点灯します。

- ただし、[CAMERA] → [POWER] → AUTO ON項目が「On」のときには、[SYSTEM] → CAM IP ADR項目で管理されているリモートカメラに対して自動的に電源Onを指示します。

2. リモートカメラを選択する

CAMERA STATUS/SELECTIONボタンで制御するリモートカメラを選択します。

3. リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILTレバーでリモートカメラの向きを調整します。

4. ズームを調整する

ZOOMボタンでレンズのズームを調整します。

TELE側を押すと望遠側になり、WIDE側を押すと広角側になります。

5. レンズの絞りを調整する

IRISダイヤルで、レンズの絞りを調整します。

- 調整しているときは、LCDパネルにレベルメーターが表示されます。(レベルメーターの表示は、目安です。)

IRIS

--*---+-----

〈NOTE〉

1台のリモートカメラに対して複数のAW-RP50から調整を行うと、レベルメーターが正しく表示しないことがあります。

6. フォーカス調整をする

FOCUS/PUSH OTAFダイヤルを回して、レンズのフォーカス調整を行います。

マニュアルフォーカスのときにFOCUS/PUSH OTAFダイヤルを押すと、一時的にオートフォーカスモードになり自動で焦点を合わせます。

- OTAF (ワンタッチオートフォーカス) は、OTAF機能があるリモートカメラに有効です。

7. AW-RP50の電源を切る

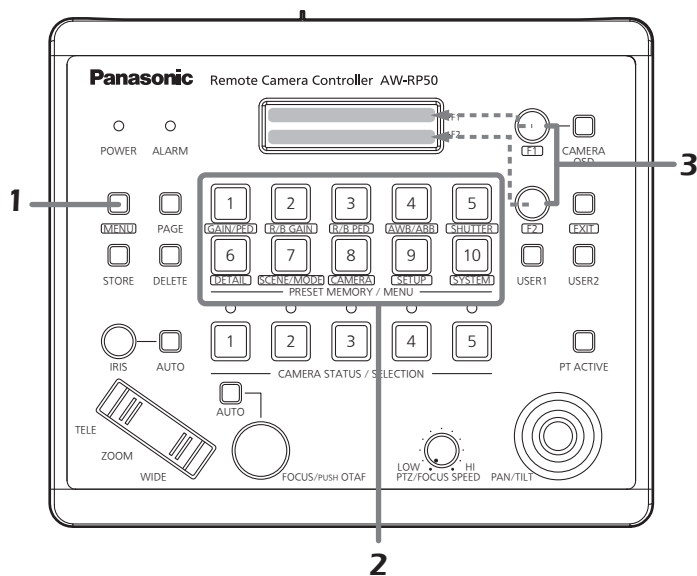
POWERスイッチをOFFにします。

AW-RP50の電源が切れ、POWERランプが消灯します。

- AW-RP50の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFされません。

■ メニューの基本操作

詳細な操作については、AW-RP50の操作・設定編を参照してください。



1. MENU ボタンをONにする

MENU ボタンを押して点灯させます。

2. 目的のメニューを選択する

PRESET MEMORY/MENU ボタンを押して点灯させます。
 選択したメニューが、LCD パネルに表示されます。

3. F1 ダイアルとF2 ダイアルで設定値を変更する

メニューの選択および設定値の変更は、F1 ダイアルとF2 ダイアルで行います。
 LCD パネルの上段に表示される項目は、F1 ダイアルで操作します。
 LCD パネルの下段に表示される項目は、F2 ダイアルで操作します。

- メニューを1階層戻るときは、EXIT ボタンを押します。
- 設定項目に“↓”が表示されている場合は、F1 ダイアルまたはF2 ダイアルを押すことで値が確定し、設定が反映されます。

1. GROUP SELECT
 1 ↓

- 設定項目に“↓”が表示されていない場合は、F1 ダイアルまたはF2 ダイアルを回すことで値が確定し、設定が反映されます。

R GAIN : ±0 ← F1 ダイアル
 B GAIN : ±0 ← F2 ダイアル

ネットワークの設定を行う

IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定は、IP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。

IP簡単設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe) は、以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。

日本語： <https://panasonic.biz/cns/sav/>

英語： <https://pro-av.panasonic.net/>

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。

IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、設定メニューのネットワーク設定画面[Network]で個別に本機とパーソナルコンピューターの設定を行います。(→86ページ)

〈NOTE〉

- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 1台のカメラに対して複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。また、リモートカメラコントローラーAW-RP50の「自動IP設定」の操作を同時に行わないでください。IPアドレスの設定がわからなくなる原因になります。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- 旧バージョンのIP簡単設定ソフトウェア (Ver 4.25R00よりも古いバージョン) では、本機を表示したり設定したりすることはできません。

1. IP簡単設定ソフトウェアを起動します。

2. [検索] ボタンを押します。



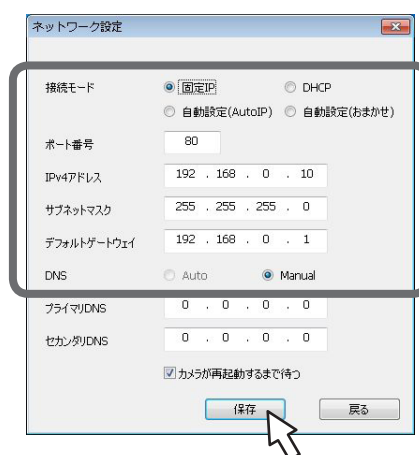
3. 設定するカメラのMACアドレス / IPv4アドレスをクリックし、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。



〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの[検索] ボタンをクリックすると確認できます。
- IPアドレスが重複している場合、該当するカメラの[IPv4アドレス重複]欄に、重複するカメラNo.が表示されます。
- [カメラ画面を開く] ボタンをクリックすると、選択したカメラのLive画面が表示されます。
- 本機は、IPv4/IPv6切り替え機能に対応しています。

4. ネットワークの各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



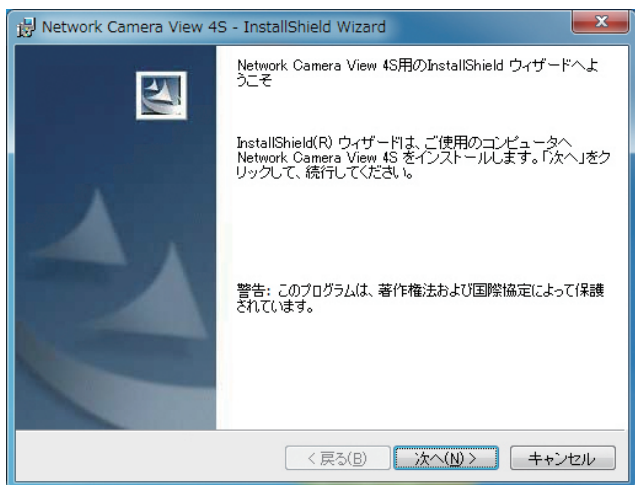
〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、IP簡単設定ソフトウェアの[DNS]を[Auto]に設定することができます。
- [保存] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前に外部DC電源やLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。
- ファイアウォール(ソフト含む)を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機のIP映像をWebブラウザで表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」(ActiveX®)をインストールする必要があります。

表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールしてください。



〈NOTE〉

- お買い上げ時は、[Automatic installation of viewer software]が[On]に設定されており、本機から直接インストールすることができます。Webブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、117ページを参照してください。
- 最初にパーソナルコンピュータからライブ画面[Live]を表示すると、表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。
- 表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、パーソナルコンピュータを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、パーソナルコンピュータごとにライセンスが必要です。表示用プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、[Maintenance]画面の[Product info.]タブ(99ページ)で確認できます。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、Windows上で[コントロールパネル]→[プログラム]→[プログラムのアンインストール]を選択し、「Network Camera View 4S」を削除してください。

カメラの第三者アクセス防止のため ユーザー認証機能の使用をご検討ください (ただしAW-RP50接続時は使用できません)

リモートカメラはインターネット経由でアクセスできるように設定できます。第三者からの意図しないアクセスによるプライバシーや肖像権の侵害、情報漏えいなどを未然に防止するために、設置時にユーザー認証機能の使用をご検討ください。

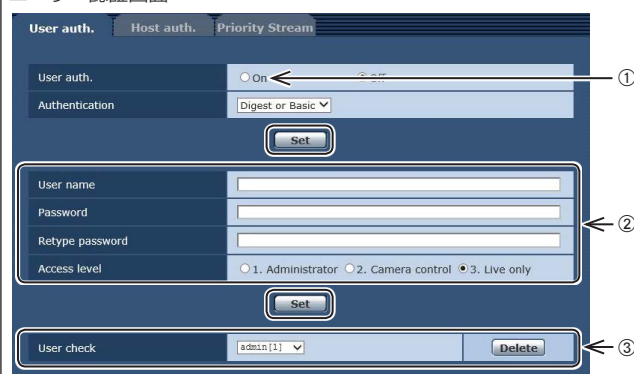
設定手順例(製品ごとの設定手順は、お使いの製品の取扱説明書をお読みください)

- ① ユーザー認証をOnにする
- ② 新規にユーザー名/パスワードを設定する
- ③ 初期ユーザー名を削除する

準備:

1. カメラに接続したPCでカメラのブラウザ画面を表示する。
2. [Setup]⇒[User mng.]の順にクリックしてユーザー管理画面を表示する。

ユーザー認証画面



- ① ユーザー認証をOnにする
※工場出荷時はOff
⇒選択後に「Set」ボタンをクリック
 - ② 新規にユーザー名/パスワードを設定する
※アクセスレベルは「1. Administrator」を選択
⇒入力後に「Set」ボタンをクリック
 - ③ 初期ユーザー名を削除する
⇒削除するユーザー名「admin[1]」を選択後に「Delete」ボタンをクリック
- ※ お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。

ユーザー名/パスワードの管理について

- 容易に推測されない文字と数字の組み合わせで設定してください。
「11111」などの連続する数字や文字、関係者の生年月日や電話番号は避けてください。
入力可能な文字と文字数については、「ユーザー認証設定画面」(→84ページ)をお読みください。
- ユーザー名/パスワードは定期的に変更してください。
- 設定したユーザー名/パスワードは必ず控えておいてください。
- 管理者が不明のユーザー名は削除してください。

ユーザー名/パスワードを変更後は

以下の機器に登録したユーザー名/パスワードも変更してください。製品ごとの設定手順は、お使いの製品の取扱説明書をお読みください。

- リモートカメラコントローラー(AW-RP50、AW-RP120)
- リモートオペレーションパネル(AK-HRP200)
- PCやタブレット端末およびスマートフォンのブラウザ/アプリケーションソフト

撮影の基本操作

1. 被写体の照度を適正にする

2. 各機器の電源を入れる

3. 操作する本機を選ぶ

本機を1台で使用する場合でも、必ずコントローラーから本機を選択してください。

4. 撮影モードを選ぶ

撮影状況に合わせて、4種類(Scene1、Scene2、Scene3、Scene4)の撮影モードから選択できます。

各撮影モードはユーザーが設定します。

工場出荷時の設定については、54ページ～57ページを参照してください。

撮影条件、好みに応じて選択してください。

同じ撮影状況で使い続けるときは、再度選択する必要はありません。

5. 撮影する

(終わったら各機器の電源を切る)

〈NOTE〉

- ・初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

すでに設定が変更されていて、元の設定に戻す場合は、「撮影の基本操作で困ったときは」(→26ページ)、「カメラメニュー項目」の「Camera画面」(→39ページ)を参照してください。

電源の入れ方と切り方

電源の入れ方

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

電源の切り方

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

本機を選択

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影モード(シーンファイル)の選択

撮影モードの種類

撮影状況に合わせて、4種類(Scene1、Scene2、Scene3、Scene4)の撮影モードから選択できます。各撮影モードはユーザーが設定します。

工場出荷時の設定については、54ページ～57ページを参照してください。

撮影条件や好みに応じて、撮影モードを選択してください。

また、メニュー操作で設定値の変更を行うことができます。

- ・ホワイトバランスなどの調整結果は、撮影モードごとに別々に記憶されます。必ず、調整を行う前に撮影モードを選択してください。

〈NOTE〉

- ・初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

シーン1[Scene1]

シーン2[Scene2]

シーン3[Scene3]

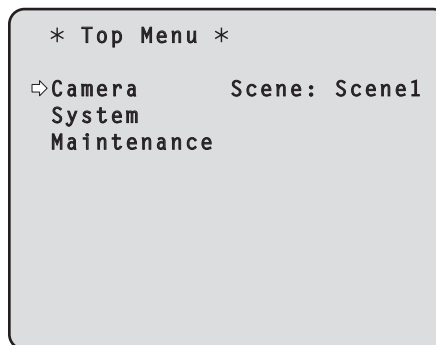
シーン4[Scene4]

撮影シーン・照明の状況などに合わせて、お好みの設定を行うことができます。

選択のしかた

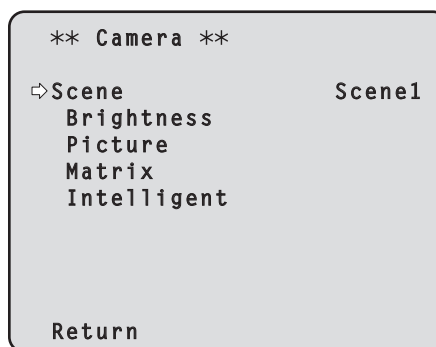
1.<OSD> ボタンを約2秒間押す

トップメニューが表示されます。



2.<F1>ダイヤルを回して[CAMERA]を選択し、<F1>ダイヤルを押す

モニターに[Camera]サブメニューが表示されます。



3.<F1>ダイヤル、または<F2>ダイヤルを回して項目を決定する

4.<OSD> ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

詳細な操作説明は、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影する

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：

<PAN/TILT>レバーをL方向またはR方向に傾ける。

上下に動かす(チルト)：

<PAN/TILT>レバーをUP方向またはDOWN方向に傾ける。

斜めに動かす：

<PAN/TILT>レバーを斜めに傾ける。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：

<ZOOM>レバーをTELE方向に傾ける。

縮小(ズームアウト)：

<ZOOM>レバーをWIDE方向に傾ける。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影の基本操作で困ったときは

下記で解決しないときは、「故障と思ったら」(→109ページ)を参照してください。

本機が動かない

- 次の方法で、操作したい本機を選択してください。
AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方と切り方」(→23ページ)を参照して電源を入れてください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<BARS> ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

<CAMERA OSD> ボタンを押して、カメラメニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<FOCUS>の<AUTO> ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- IRISの<AUTO> ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- GAINの<AUTO> ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→28ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、SDI OUT 1/PM端子からの出力とWeb画面にメニューが表示されます。カメラメニュー[Others 3/5]画面の[OSD Mix](→49ページ)の設定を確認してください。

より高度な使い方

マニュアル撮影(→27ページ)

- フォーカスのマニュアル調整
- アイリスのマニュアル調整
- シャッタースピードのマニュアル調整
- ゲインのマニュアル調整

プリセットメモリー(→27ページ)

- カメラの向き(パンとチルト)、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲインアップ、ホワイトバランスを最大100件登録して、再生することができます。

ホワイトバランス調整(→28ページ)

- 白を正確に表現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。
- 一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ホワイトバランス調整を[ATW]に設定すると、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正し、違和感のない映像にします。

ブラックバランス調整(→29ページ)

- 黒を正確に再現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。
- 一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

黒レベル(マスターペDESTAL)調整(→29ページ)

- 複数のカメラの黒レベル(ペDESTALレベル)を合わせるときに調整します。
- 調整は販売店に依頼してください。

ゲンロック調整(→29ページ)

- 複数のカメラを使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるための調整です。
- 調整は販売店に依頼してください。

マニュアル撮影

フォーカスのマニュアル調整

レンズのフォーカスをマニュアルで調整することができます。

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

〈NOTE〉

- フォーカスがマニュアル設定のとき、パン、チルト、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。(Focus ADJ With PTZ.)
この機能は出荷状態では[On]に設定されています。
この機能を[Off]に設定した場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
(→49ページ、78ページ、81ページ)

アイリスのマニュアル調整

レンズのアイリスをマニュアルで調整することができます。

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

〈NOTE〉

- ナイトモードでは、盗撮防止のため、絞りは「開放」に設定されます。光源側で明るさを調整してください。

シャッタースピードのマニュアル調整

シャッタースピードは2種類の方法で設定することができます。ひとつは時間での指定方法(1/250秒など)、もうひとつは周波数での指定方法(シンクロスキャン、60.15 Hzなど)です。
テレビ画面やパーソナルコンピュータのモニターの画面を撮影するとき、画面の周波数に合わせてシンクロスキャンで調整すると、画面を撮影したときに発生する水平方向のノイズを最小限にできます。

「設定の基本操作」(→30～37ページ)の操作要領で操作できません。

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ゲインのマニュアル調整

ゲインの調整は、コントローラーのボタンなどで調整する方法と、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で調整する方法があります。カメラメニューとWeb設定画面[Setup]では、より細かな調整が可能です。
詳しくは、「Gain」(→40ページ、72ページ)を参照してください。

〈NOTE〉

- ゲインを調整する際、光量が急激に変化する(映像出力にショックが出る)場合があります。

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

どの場合も、自動調整(AGC)の最大ゲインはカメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で設定できます。
[AGC Max Gain](→40ページ、73ページ)を参照してください。

プリセットメモリー

本機は、カメラの向き(パンとチルト)、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランス、デジタルエクステンダーを最大100件登録し、再生することができます。
ただし、操作に使用するコントローラーの種類によって、登録・再生できる件数は異なります。

- フォーカスとアイリスについて、動作モード(マニュアル/オート設定)は登録・再生しません。現在のフォーカス値、アイリス値を登録します。
- フォーカスとアイリスは、マニュアル設定のときのみ再生できます。
- ホワイトバランスは、選択されているWhite Balance Modeの調整値が登録されます。AWB A、AWB Bを選択時にプリセット再生すると、プリセット登録時の調整値が再生されます。このとき、R Gain / B Gainの値は0に戻ります。

〈NOTE〉

- 登録時と再生時の環境温度が大きく異なると、プリセット位置にズレが生じる場合があります。
- ズレが生じた場合は、再登録をしてください。
- プリセット再生中にパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスいずれかのマニュアル操作を行うと、パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスのプリセット動作を中断します。
- プリセット再生中に他のプリセット再生を呼び出した場合、再生中のプリセットを中断し、最後に呼び出したプリセット動作を行います。

AW-RP50またはAW-RP120を接続している場合

登録・再生が可能な件数は100件です。
詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

AK-HRP200を接続している場合

プリセットメモリーの登録・再生はできません。

ホワイトバランス調整

白を正確に再現するために、RGB三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。

調整は、コントローラーの<AWB>ボタンを押したときに自動調整する「AWB」(自動ホワイトバランス調整)か、常時調整し続ける「ATW」(自動追尾式ホワイト調整)のどちらかを選択できます。

AWBの調整結果は、ホワイトバランスに「AWB A」または「AWB B」を選択したとき、AとBの2か所のメモリーにセット(記憶)しておくことができます。

- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておく、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で選択、またはコントローラーのボタンを押すだけで設定完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

自動調整(AWB : AWB A/AWB B)

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

(NOTE)

- 被写体の照度が不足している場合や高輝度(蛍光灯など)が画面に入った場合は、ホワイトバランスが正しく調整できないことがあります。
- ホワイトバランスをセットしたあとは、本機の電源を切っても内蔵のメモリーに長時間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合(撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など)はホワイトバランスをセットし直してください。

自動追尾式ホワイト調整(ATW)

ホワイトバランス調整を「ATW」に設定すると、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正し、違和感のない映像にします。

(NOTE)

- 高輝度(蛍光灯など)が画面に入った場合、ATWが正しく動作しないときがあります。
- 画面上に白い被写体がない場合、ホワイトバランスがずれることがあります。
- 太陽光と蛍光灯など、異なる種類の光源がある場合、ホワイトバランスがずれることがあります。

3200K・5600Kプリセット

ホワイトバランスに「3200K」または「5600K」を選択すると、それぞれ色温度3200K(ハロゲンライト相当)、5600K(デイルイト相当)でホワイトバランスがセットされた状態になります。

VAR

ホワイトバランスに「VAR」を選択すると、色温度2000K～15000Kを選択することができます。

(NOTE)

- 表示されている「VAR」の値は、絶対値を保証するものではありません。参考値としてご使用ください。

ブラックバランス調整

黒を正確に再現するために、RGB三原色のゼロレベルを調整します。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 周囲の温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。

自動調整

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

黒レベル(マスターペDESTAL)調整

本機を含むカメラを複数台使用しているときに、黒レベルを合わせる
ことができます。調整は販売店に依頼してください。
(調整はウェブフォームモニターを使用)
黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。

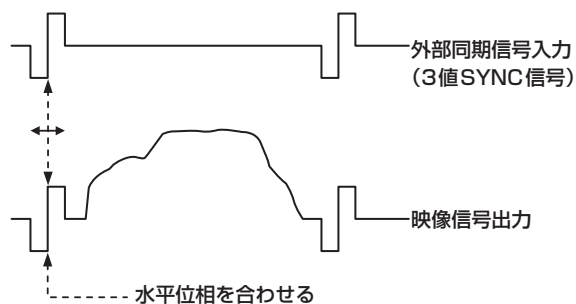
AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ゲンロック調整

本機を複数台使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同
期をかけて位相を合わせるためには位相調整をする必要があります。
本機は、3値同期の外部同期信号に対応します。
調整は販売店に依頼してください。
(調整は2現象オシロスコープを使用)

水平位相調整

外部同期信号入力(3値SYNC信号)と映像信号出力の波形を2現象オ
シロスコープで観測し、水平位相が合うようにコントローラーで調整し
ます。



例) 3値SYNC位相調整の場合

「設定の基本操作」(→30～37ページ)の操作要領で、カメラメ
ニューより操作できます。

〈NOTE〉

- 本機には、アナログ映像信号の出力端子がありません。
SDI波形モニターのアナログ出力を観測して調整をするか、SDI波形
モニターの同期位相確認機能を利用してください。

設定の基本操作

本機の設定を行うときは、モニターにカメラメニューを表示します。モニターは、SDI OUT 1/PM端子に接続します。カメラメニューの基本操作は、トップメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。

カメラメニューの操作は、コントローラーで行います。

〈NOTE〉

- コントローラーが、下記のバージョンであることを確認してください。
AW-RP50 : Ver4.00.00以上
AW-RP120 : Ver3.00.00以上
AK-HRP200 : Ver6.00-00-0.00以上
バージョンが古い場合はアップデートが必要です。
アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

ここでは、コントローラー (AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200) でカメラメニュー項目を変更するための基本操作を説明します。

詳細な操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

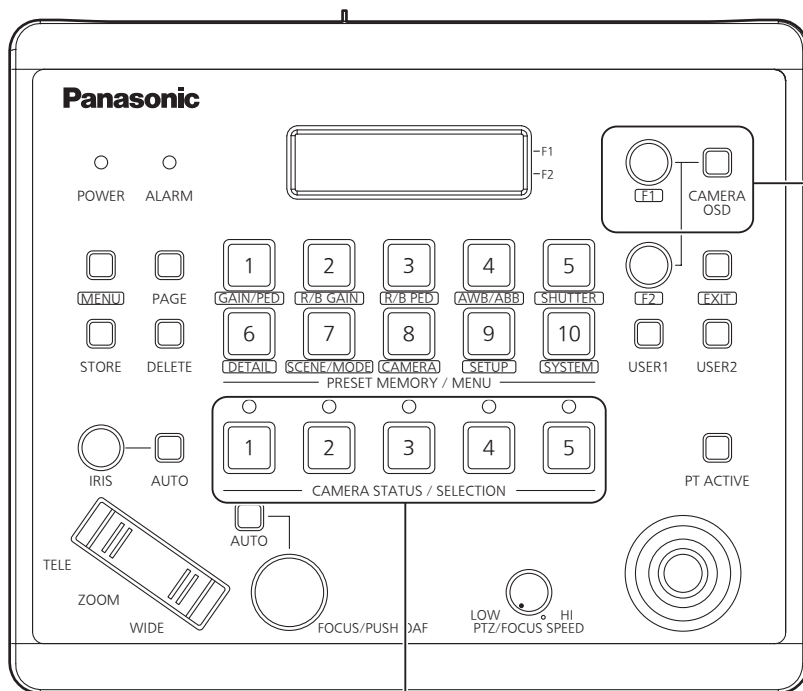
■ コントローラーでの操作一覧

カメラメニューの操作	コントローラー		
	AW-RP50	AW-RP120	AK-HRP200
操作するカメラを選ぶ	<CAMERA STATUS> / <SELECTION>のいずれかのボタンを押す。		1. <SELECT> ボタンを約2秒間押す。 →カメラナンバー表示部のカメラ番号が点滅します。 2. 点灯している<UP> / <DOWN> ボタンを押す。 →点灯している<UP> / <DOWN> ボタンを押し、カメラ番号を選択します。 3. <SELECT> ボタンを押す。 →選択したカメラの制御が可能になります。
トップメニューを表示する	<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押す。		<CHARA/MENU> ボタンを約2秒間押す。
項目を選ぶ	<F1>ダイヤルを回す。		<SELECT>ダイヤルを回す。
サブメニューを表示させる	<F1>ダイヤルを押す。		<SELECT>ダイヤルを押す。
ひとつ前のメニューに戻る	[Return]にカーソルを合わせた状態で<F1>ダイヤルを押す。		[Return]にカーソルを合わせた状態で<SELECT>ダイヤルを押す。
設定値を変更する	1. <F1>ダイヤルを押し、設定値を点滅させる。 2. <F1>ダイヤルを回し、設定値を変更する。 3. <F1>ダイヤルを押し、設定値を確定(点滅が停止)させる。		1. <SELECT>ダイヤルを押し、設定値を点滅させる。 2. <SELECT>ダイヤルを回し、設定値を変更する。 3. <SELECT>ダイヤルを押し、設定値を確定(点滅が停止)させる。
設定変更をキャンセルする	—		—
カメラメニュー操作を終了する	<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押す。		<CHARA/MENU> ボタンを約2秒間押す。

〈NOTE〉

- メニューの操作および終了は、トップメニューを表示させたコントロール機器で行ってください。もし他のコントロール機器でメニューの操作や終了を行った場合は、まず一方の機器でトップメニューの表示と終了を行い、さらにもう一方の機器でトップメニューの表示と終了を行ってください。
- 本機のメニュー操作方法は、発売済みのコンバーチブルカメラやHDインテグレートッドカメラとは異なることがあります。詳しくは、各カメラの取扱説明書を参照してください。
- 使用するコントローラーにより、カメラの反応速度が若干変わります。

リモートカメラコントローラーAW-RP50での操作



カメラメニューを操作します。
CAMERA OSD :
 約2秒間押しすると、選択しているカメラのメニューがカメラ出力映像にオーバーラップして表示されます。また、カメラメニュー表示中に約2秒間押しすると、メニューが消えます。
F1 : カメラメニューでカーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときにF1を回します。また一階層深いメニューに入ったり、最下層で設定値の変更を行ったりするときはF1を押します。

操作するカメラを選択します。

■ カメラメニューの操作

- 1.<CAMERA STATUS/SELECTION> ボタンのいずれかを押し、操作したい本機を選ぶ
- 2.AW-RP50の<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押し
モニター上にAW-HR140のカメラメニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して、AW-HR140のカメラメニュー項目の選択、データ変更を行う
カーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときに<F1>ダイヤルを回します。
また、一階層深いメニューに入ったり、最下層で点滅中の設定値の変更を行うときには、<F1>ダイヤルを押します。
- 4.カメラメニューを終了する場合は、<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押し

■ デイモード / ナイトモードの切り替え

- 1.AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
- 2.<PRESET MEMORY/MENU>の<9 (SETUP)> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[SETUP]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[FUNCTION]を選択して、<F1>ダイヤルを押す
- 4.<F1>ダイヤルを回して[OPTION]を選択する
LCDパネルの右下 (F2 エリア) に[Off]または[On]が表示されます。

- 5.<F2>ダイヤルを回して[Off]と[On]を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
Off : デイモード
On : ナイトモード

■ 色温度 (COLOR TEMP) の設定

- 1.AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
- 2.<PRESET MEMORY/MENU>の<4 (AWB/ABB)> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[AWB/ABB]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[VAR]を選択する
色温度の設定状態になります。[VAR]にすると、初めはカメラが保持している色温度になります。
調整する場合は、続けて以下の操作を行ってください。
- 4.<PRESET MEMORY/MENU>の<8 (CAMERA)> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[GROUP]メニューが表示されます。
- 5.<F1>ダイヤルを回して[COLOR TEMP]を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下 (F2 エリア) に色温度が表示されます。
- 6.<F2>ダイヤルを回して色温度を選択し、<F2>ダイヤルを押す

■ プリセットスピード (PRESET SPEED) のテーブルの設定

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
 <MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
2. <PRESET MEMORY/MENU> の<9 (SETUP)> ボタンをONにする
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [PRESET] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
4. <F1>ダイヤルを回して [PRESET SPEED] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Slow] または [Fast] が表示されません。
5. <F2>ダイヤルを回して [Slow] と [Fast] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

■ プリセット再生中の映像をフリーズさせる (FREEZE DURING)

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
 <MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
2. <PRESET MEMORY/MENU> の<9 (SETUP)> ボタンを押す
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [FUNCTION] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
4. <F1>ダイヤルを回して [FREEZE DURING] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
5. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
 Off : プリセット再生中の映像をフリーズしない
 On : プリセット再生中の映像をフリーズする

■ 画揺れ補正機能 (OIS/D.I.S.S.) の設定

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
 <MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
2. <PRESET MEMORY/MENU> の<9 (SETUP)> ボタンを押す
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [FUNCTION] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
4. <F1>ダイヤルを回して [I.S.] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。

5. <F2>ダイヤルを回して [Off]、[OIS]、または [D.I.S.S.] を選択して、<F2>ダイヤルを押す
 Off : 画揺れ補正を行いません。
 OIS : 光学式画揺れ補正 (OIS) を行います。
 D.I.S.S. : 光学式画揺れ補正に加えて、パンチルト機構式画揺れ補正を行います。

■ デジタルエクステンダー (D.EXTENDER) の設定

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
 <MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
2. <PRESET MEMORY/MENU> の<9 (SETUP)> ボタンを押す
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [FUNCTION] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
4. <F1>ダイヤルを回して [D.EXTENDER] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
5. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
 Off : デジタルエクステンダー機能 Off
 On : デジタルエクステンダー機能 On

■ USER ボタンへの割り当て

以下の機能をUSERボタンへ割り当てることが出来ます。

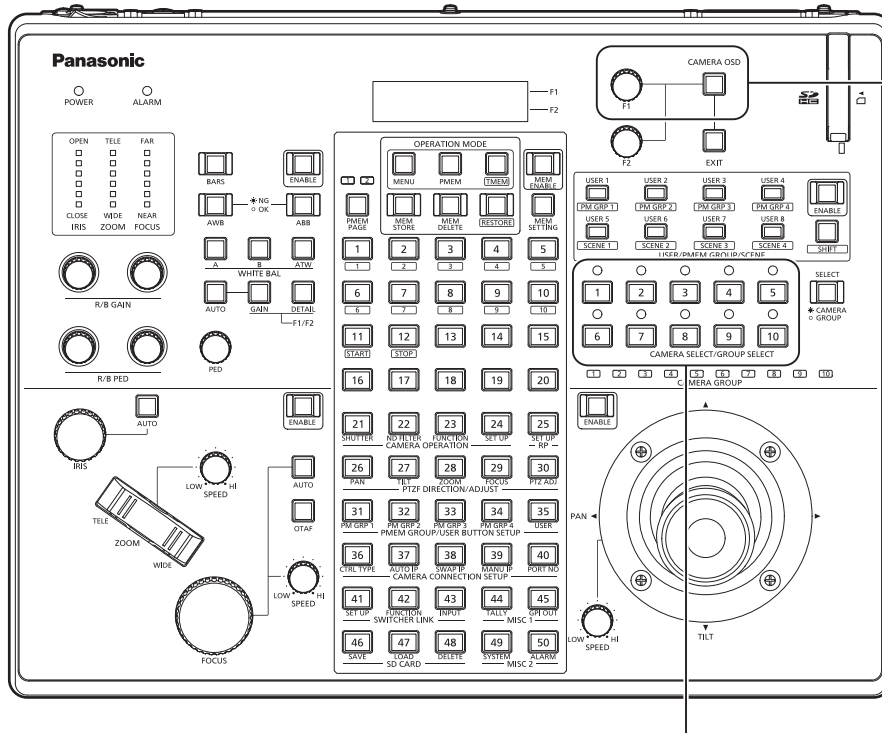
Super GainのOff/On、Color TemperatureのOff/On、Haze ReductionのOff/On、Freeze During PresetのOff/On、Digital ExtenderのOff/On、FanのOff/On、HeaterのOff/On、DefrosterのOff/On、Wiperの操作、WasherのOff/On

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
 <MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
2. <PRESET MEMORY/MENU> の<9 (SETUP)> ボタンを押す
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [USER 1] もしくは [USER 2] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) にUSERボタンへの割り当てが可能な機能が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して以下の項目を選択して、<F2>ダイヤルを押す

[SUPER GAIN]、[COLOR TEMP]、[D.HAZE CLR SW]、[FREEZE DURING]、[D.EXT]、[FAN]、[HEATER]、[DEFROSTER]、[WIPER]、[WASHER]

- [Wiper]の機能は、USERボタンを押したのち、PRESET MEMORY/MENUボタンの1~3 (1 : Off、2 : Slow、3 : Fast) を押します。

リモートカメラコントローラー AW-RP120での操作



カメラメニューを操作します。
CAMERA OSD :
約2秒間押しすると、選択しているカメラのメニューがカメラ出力映像にオーバーラップして表示されます。また、カメラメニュー表示中に約2秒間押しすると、メニューが消えます。
F1 : カメラメニューでカーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときにはF1を回します。また一階層深いメニューに入った時、最下層で設定値の変更を行ったりするときにはF1を押しします。

操作するカメラを選択します。

■ カメラメニューの操作

- 1.<CAMERA SELECT/GROUP SELECT>の<1>～<10>のいずれかのボタンを押して、操作したい本機を選ぶ
- 2.AW-RP120の<CAMERA OSD>ボタンを約2秒間押し
モニター上にAW-HR140のカメラメニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して、AW-HR140のカメラメニュー項目の選択、データ変更を行う
カーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときには<F1>ダイヤルを回します。
また、一階層深いメニューに入った時、最下層で点滅中の設定値の変更を行うときには、<F1>ダイヤルを押しします。
- 4.カメラメニューを終了する場合は、<CAMERA OSD>ボタンを約2秒間押し

■ 色温度 (COLOR TEMP) の設定

- 1.<EXIT>ボタンと<WHITE BAL>の<ATW>ボタンを同時に押し
<WHITE BAL>の<A> / / <ATW>ボタンが点灯し、色温度設定モードに移行します。
このとき、色温度の設定値がLCDに表示されます。
- 2.<F1>ダイヤルを回して、色温度を変更する
<WHITE BAL>の<A>ボタン、ボタン、<ATW>ボタンを押すと、選択したボタンのモードに戻ります。
一定時間が経過すると、色温度設定モードから元のモードに切り替わります。再度、色温度設定を行うときは、<EXIT>ボタンと<WHITE BAL>の<ATW>ボタンを同時に押ししてください。

■ デイモード/ナイトモードの切り替え

- 1.AW-RP120の<MENU>ボタンを押す
<MENU>ボタンが点灯します。
- 2.FUNCTIONメニュー<23>ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[FUNCTION]を選択し、<F1>ダイヤルを押す
- 4.<F1>ダイヤルを回して[OPTION]を選択する
LCDパネルの右下(F2 エリア)に[Off]または[On]が表示されます。
- 5.<F2>ダイヤルを回して[Off]と[On]を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
Off : デイモード
On : ナイトモード

■ プリセットスピード (PRESET SPEED) のテーブルの設定

- 1.AW-RP120の<MENU>ボタンを押す
<MENU>ボタンが点灯します。
- 2.FUNCTIONメニュー<23>ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[PRESET SPEED]を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下(F2 エリア)に[Slow]または[Fast]が表示されます。
- 4.<F2>ダイヤルを回して[Slow]と[Fast]を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

■ プリセット再生中の映像をフリーズさせる (FREEZE DURING)

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯します。
2. FUNCTIONメニュー<23> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [FREEZE DURING] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
Off: プリセット再生中の映像をフリーズしない
On: プリセット再生中の映像をフリーズする

■ 画揺れ補正機能 (OIS/D.I.S.S.) の設定方法

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯します。
2. FUNCTIONメニュー<23> ボタンを押す
ボタンを押すと、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [I.S.] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [Off]、[OIS]、または [D.I.S.S.] を選択して、<F2>ダイヤルを押す
Off: 画揺れ補正を行いません。
OIS: 光学式画揺れ補正 (OIS) を行います。
D.I.S.S.: 光学式画揺れ補正に加えて、パンチルト機構式画揺れ補正を行います。

■ デジタルエクステンダー (D.EXTENDER) の設定方法

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯します。
2. FUNCTIONメニュー<23> ボタンを押す
ボタンを押すと、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [D.EXTENDER] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す。
Off: デジタルエクステンダー機能 Off
On: デジタルエクステンダー機能 On

■ USER ボタンへの割り当て

以下の機能をUSERボタンへ割り当てることが出来ます。

Super GainのOff/On、Color TemperatureのOff/On、Haze ReductionのOff/On、Freeze During PresetのOff/On、Digital ExtenderのOff/On、FanのOff/On、HeaterのOff/On、DefrosterのOff/On、Wiperの操作、WasherのOff/On

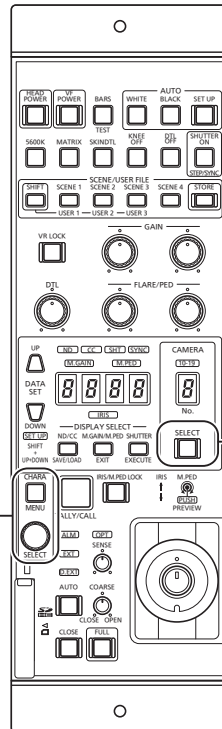
1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯します。
2. USERメニュー<35> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER1]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [USER1] ~ [USER8] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下 (F2エリア) にUSERボタンへの割り当てが可能な機能が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して以下の項目を選択して、<F2>ダイヤルを押す

[SUPER GAIN]、[COLOR TEMP]、[D.HAZE CLR SW]、 [FREEZE DURING]、[D.EXT]、[FAN]、[HEATER]、 [DEFROSTER]、[WIPER]、[WASHER]

<NOTE>

- [FOCUS]のインジケーターが正しく表示されない場合があります。

リモートオペレーションパネルAK-HRP200での操作



カメラメニューを操作します。
 キャラクター/メニューボタン
 <CHARA/MENU>を約2秒間押しと、
 選択しているカメラのメニューがカメラ
 出力映像にオーバーラップして表示
 されます。また、カメラメニュー表示
 中に約2秒間押しと、メニューが消え
 ます。
 SELECT :
 カメラメニューでカーソルを上下
 に移動したり、設定値を変更したり
 するとき<SELECT>を回し
 ます。また一階層深いメニューに
 入ったり、最下層で設定値の変更
 を行うときには<SELECT>を押
 します。

操作するカメラを選択します。

1. <SELECT>を約2秒間押し。
 カメラナンバー表示部のカメラ番
 号が点滅します。
2. 点灯しているデータセットボタン
 <UP><DOWN>を押す。
 点灯しているデータセットボタン
 <UP><DOWN>を押し、カメラ
 番号を選択します。
3. カメラ選択ボタン<SELECT>を
 押し。
 選択したカメラの制御が可能にな
 ります。

■ カメラメニュー操作方法

1. AK-HRP200の<CHARA/MENU> ボタンを約2秒間押し
 モニター上にAW-HR140のカメラメニューが表示されます。
2. <SELECT>ダイヤルを回して、AW-HR140のカメラメ
 ニュー項目の選択、データ変更を行う
 カーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするとき
 <SELECT>ダイヤルを回します。
 また、一階層深いメニューに入ったり、最下層で点滅中の設定値の変
 更を行ったりするときは、<SELECT>ダイヤルを押します。
3. カメラメニューを終了する場合は、<CHARA/MENU> ボ
 タンを約2秒間押し

設定の基本操作 (つづき)

リモートオペレーションパネルAK-HRP200から可能な操作は以下の通りです。
操作の詳細は、AK-HRP200の取扱説明書<基本編>を参照してください。

	操作子/表示器名	表示	AW-HR140	その他・備考
1	カメラ電源スイッチ	HEAD POWER	使用可能	
2	VF電源オフスイッチ	VF POWER	—	
3	カラーバー信号出力スイッチ	BARS/TEST	制限付きで可能	TEST_ONへは移行しない
4	オートホワイトバランススイッチ	AUTO WHITE	使用可能	AWB/ABB受付後、実行中状態を最低2秒間維持
5	オートブラックバランススイッチ	AUTO BLACK	使用可能	AWB/ABB受付後、実行中状態を最低2秒間維持
6	オートセットアップスイッチ	AUTO SETUP	—	
7	5600kスイッチ	5600k	—	
8	マトリクススイッチ	MATRIX	—	
9	肌色ディテールスイッチ	SKIN DTL ON	—	
10	ニーOFFスイッチ	KNEE OFF	—	
11	ディテールOFFスイッチ	DTL OFF	使用可能	
12	シャッターON/OFFスイッチ、 兼STEP/SYNC選択スイッチ	SHUTTER ON STEP/SYNC	制限付きで可能	SYNCから移行時は、固定のシャッター値になります(No.36参照)。
13	シーン/ユーザーファイル選択切り替え スイッチ	SCENE/USER FILE SHIFT	—	
14	シーン/ユーザーファイル1 選択スイッチ	SCENE/USER FILE 1	使用可能	
15	シーン/ユーザーファイル2 選択スイッチ	SCENE/USER FILE 2	使用可能	
16	シーン/ユーザーファイル3 選択スイッチ	SCENE/USER FILE 3	使用可能	
17	シーンファイル4 選択スイッチ	SCENE FILE 4	使用可能	
18	シーン/ユーザーファイル登録スイッチ	SCENE/USER FILE STORE	—	
19	ボリュームロックスイッチ	VOL LOCK	使用可能	
20	Rゲインボリューム	GAIN R	使用可能	
21	Bゲインボリューム	GAIN B	使用可能	
22	Rフレア/ペダスタルボリューム	FLARE / PED	PED: 使用可能 FLR: —	
23	Bフレア/ペダスタルボリューム	FLARE / PED	PED: 使用可能 FLR: —	
24	DTLボリューム	DTL	—	
25	データセット(上)	DATA SET UP	使用可能	
26	データセット(下)	DATA SET DOWN	使用可能	
27	調整値表示部	なし	使用可能	
28	IRIS表示部	IRIS	制限付きで可能	操作可、IRIS値の表示は行えません。
29	ND/CC表示選択スイッチ	DISPLAY SELECT	制限付きで可能	ZOOM/FOCUS MODE切り替えとして 使用
		ND/CC		ND/ ZOOM/FOCUS MODE切り替え として使用
30	ND表示部	ND	使用可能	
31	CC表示部	CC	—	
32	M.GAIN / M.PED表示	DISPLAY SELECT	使用可能	
	選択スイッチ	M.GAIN/M.PED		
33	M.GAIN表示部	M.GAIN	使用可能	
34	M.PED表示部	M.PED	使用可能	
35	SHUTTER表示選択	DISPLAY SELECT	使用可能	
	スイッチ	SHUTTER		
36	SHUTTER表示部	SHT	制限付きで可能	SYNCから移行時は、固定のシャッター値になります。 • 59.94p,59.94iのとき: 1/100 • 29.97pのとき: 1/120 • 23.98pのとき: 1/120 • 50p,50iのとき: 1/120 • 25pのとき: 1/120
37	SYNC表示部	SYNC	制限付きで可能	SYNC時は7SEGは"----"表示となります
38	カメラナンバー表示部	CAM No.	使用可能	
39	カメラナンバー10位表示部	10-19	使用可能	
40	カメラ選択スイッチ	CAM SEL	使用可能	

設定の基本操作 (つづき)

	操作子/表示器名	表示	AW-HR140	その他・備考
41	メニュー/キャラクタースイッチ	CHARA MENU ON/OFF	使用可能	
42	選択ロータリースイッチ	SELECT	使用可能	MENU ON時のみ有効 「ZOOM」選択中は、選択ダイヤルで 「FOCUS」調整を可能にする。 「FOCUS」選択中は、選択ダイヤルで 「ZOOM」調整を可能にする。
43	レッド/グリーンタリー表示部、コールス イッチ	TALLY/CALL	制限付きで可能	CALLは無効です。*1
44	アラーム表示部	ALARM	—	
45	光アラーム表示部	OPT	—	
46	アイリス/マスターペダスタルロック	IRIS/M.PED LOCK	使用可能	
47	アイリスレバー	IRIS (↑↓)	制限付きで可能	7SEGでIRIS値は表示は行いません。
48	マスターペダスタルボリューム	M.PED (← →)	使用可能	
49	プレビュースイッチ	PUSH PREVIEW	—	
50	フェーダーフルスイッチ	FEDER FULL	—	
51	オートアイリススイッチ	AUTO	使用可能	
52	アイリスクローズスイッチ	CLOSE	—	
53	センスボリューム	SENSE	制限付きで可能	ZOOM/FOCUS SPEED調整用となり ます
54	コースボリューム	COARSE	—	
55	レンズエクステンダー表示	EXT	—	
56	デジタルエクステンダー表示	D.EXT	デジタルエクステンダー がONのときに点灯	
57	SDカードアクセス中表示	SD CARD	使用可能	
63	ズーム		使用可能	「ZOOM」選択中は、選択ダイヤルで 「FOCUS」調整を可能にします。
64	フォーカス		使用可能	「FOCUS」選択中は、選択ダイヤルで 「ZOOM」調整を可能にします。

*1 本機にはタリーランプがありませんが、「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。

カメラメニュー項目

カメラメニュー項目の設定

本機の設定を行うときは、モニターにカメラメニューを表示します。モニターは、SDI OUT 1/PM端子に接続します。カメラメニューの基本操作は、トップメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。コントローラー(AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200)でカメラメニューの表示や項目を変更するための「設定の基本操作」については、30～37ページを参照してください。

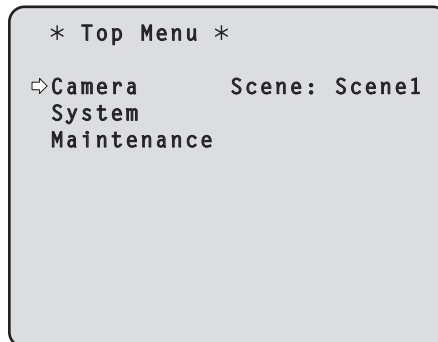
メニュータイトルにある「*」「#」マークは、現在表示中のメニューの階層を表しています。

例えば、「* Top Menu *」は第1階層、「** Camera **」「## System ##」は第2階層を表示中であることを表しています。

「*」マークのメニュー項目は、シーンごとに保持されるデータ、「#」マークのメニュー項目は1台のカメラでシーンにかかわらず共通して保持されるデータを表しています。

工場出荷時の設定については、「カメラメニュー項目一覧」(→54ページ)をご覧ください。

トップメニュー (Top Menu) 画面



Camera

カメラ映像に関するカメラメニューを開きます。

System

ゲンロック(外部同期)位相調整やカメラの出力映像の設定などに関するSystemメニューを表示します。

Maintenance

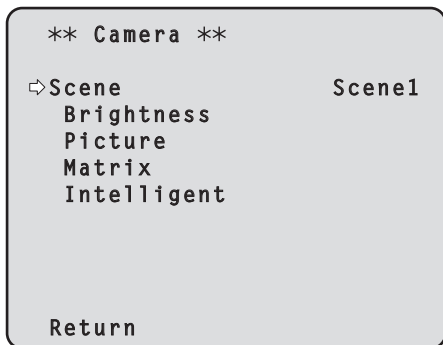
本機のファームウェアバージョンの確認や、設定の初期化に関するMaintenanceメニューを表示します。

(NOTE)

- トップメニューには[Return]がありません。メニュー画面を閉じる場合には、コントローラーでメニュー画面を閉じる操作を行ってください。詳細は、「設定の基本操作」(→30～37ページ)を参照してください。

Camera画面

カメラ映像に関するメニューです。



Scene [Scene1、Scene2、Scene3、Scene4]

撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。
撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。

Scene1、Scene2、Scene3、Scene4:

撮影条件や好みに合わせて、詳細な設定調整をマニュアル操作で行うモードです。

Brightness

映像の明るさを設定するBrightness画面を表示します。
明るさ調整メニューは、2画面 (Brightness 1/2、Brightness 2/2) あります。

Picture

画質調整を行うPicture画面を表示します。
画質調整メニューは、4画面 (Picture 1/4、Picture 2/4、Picture 3/4、Picture 4/4) あります。

Matrix

カラーマトリクスを設定を行うMatrix画面を表示します。
カラーマトリクス調整メニューは、5画面 (Matrix 1/5、Matrix 2/5、Matrix 3/5、Matrix 4/5、Matrix 5/5) あります。

Intelligent

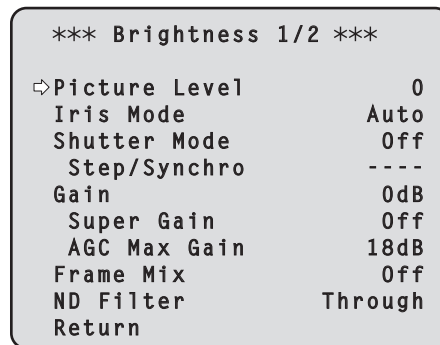
インテリジェント機能の設定を行うIntelligent画面を表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Brightness 1/2画面

映像の明るさを設定するメニューです。



Picture Level [-50 ~ +50]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。
次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[Auto]もしくは[ELC]に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されている場合
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されている場合
- [Gain]が[Auto]に設定されている場合

Iris Mode [Manual、Auto]

アイリス調整の自動/手動を選択します。

Manual	手動でアイリス調整を行います。
Auto	[Picture Level]で設定した目標レベルになるように自動露出補正を行います。

<NOTE>

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Iris Mode]は[Auto]に設定できません。

Shutter Mode [Off、Step、Synchro、ELC]

カメラのシャッターモードを選択します。

Off	シャッターをOFFにします。
Step	ステップシャッターの設定 (段階可変) を行います。
Synchro	シンクロシャッターの設定 (連続可変) を行います。
ELC	電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

Step/Synchro

[Shutter Mode]で指定したモードのシャッター速度の調整を行います。
シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

[Frequency設定が59.94Hzの場合]

	[Shutter Mode]項目 で[Step]を選択 した場合	[Shutter Mode]項目 で[Synchro]を選択 した場合
59.94p/ 59.94iのとき	1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	60.15Hz ~ 642.21Hz (255段階)
29.97pのとき	1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	
23.98pのとき	1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

[Frequency設定が50Hzの場合]

	[Shutter Mode]項目 で[Step]を選択 した場合	[Shutter Mode]項目 で[Synchro]を選択 した場合
50p/50iのとき	1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	50.15Hz～ 535.71Hz (255段階)
25pのとき	1/25, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

(NOTE)

- 29.97Pモード、23.98Pモード、25Pモードでは、[Shutter Mode]で[Off]に設定した場合はシャッター速度は[1/50]になります。
- インテリジェント機能が有効になっている場合、シャッターの設定が無効になります。

Gain

[(Super GainがOffのとき)Auto、0dB～36dB、
(Super GainがOnのとき)Auto、0dB～42dB]

映像のゲイン調整を行います。
暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

[Auto]に設定すると、光量を自動調整します。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Gain]は[Auto]に設定できません。
- インテリジェント機能が有効になっている場合、[Gain]の設定は無効になります。

Super Gain [Off, On]

スーパーゲイン(感度アップ)のモードを設定します。

Off	スーパーゲインモードにしません。
On	スーパーゲインモードにします。

AGC Max Gain [6dB, 12dB, 18dB]

[Gain]で[Auto]を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

Frame Mix [Off, 6dB, 12dB, 18dB, 24dB]

フレーム加算(センサー蓄積によるゲインアップ)の量を設定します。
フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。
フォーマットが1080/29.97p、1080/23.98p、
1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、1080/25p、
1080/25PsFのときは設定できません。

[Iris Mode]、[Gain]および[Focus Mode]のいずれかが[Auto]に設定されている場合、[Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定できません。([Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定するためには、[Iris Mode]および[Focus Mode]を[Manual]に設定し、[Gain]を[Auto]以外に設定する必要があります)

(NOTE)

- 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが同期的に変わったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。
このようなときは、電子シャッタースピードを電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。
- インテリジェント機能が有効になっている場合、[Frame Mix]の設定は無効になります。

ND Filter [Through, 1/8, 1/64]

レンズ内蔵のNDフィルター(減光フィルター)の透過率を設定します。

設定項目を確定した時点でフィルターが切り替わります。

Through	NDフィルターを設定しません。
1/8	NDフィルターの透過率を1/8に設定します。
1/64	NDフィルターの透過率を1/64に設定します。

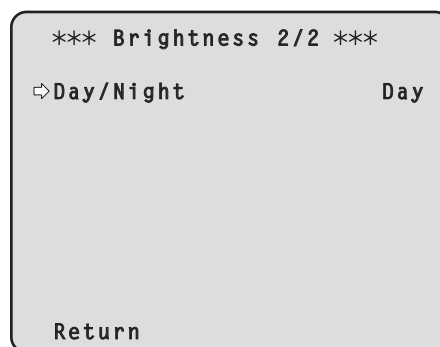
(NOTE)

- インテリジェント機能が有効になっている場合、[ND Filter]の設定は無効になります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Brightness 2/2画面



Day/Night [Day, Night]

通常撮影と暗視撮影(赤外線照射による暗視撮影)を切り替えます。

Day	通常撮影(デイモード)
Night	暗視撮影(ナイトモード)

(NOTE)

- ナイトモード時、映像出力は白黒となります。また、レンズ絞りは強制的に開放となります。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えができません。
- ナイトモードでは、[Pedestal]の調整はできません。
- ナイトモードでは、インテリジェント機能は動作しません。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 1/4画面

*** Picture 1/4 ***	
◁Chroma Level	0%
White Balance Mode	AWB A
Color Temperature	----
R Gain	0
B Gain	0
Pedestal	0
R Pedestal	0
B Pedestal	0
Return	

Chroma Level [OFF、-99% ~ 40%]

映像の色の濃淡を設定します。

White Balance Mode

[ATW、AWB A、AWB B、3200K、5600K、VAR]

ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

ATW	常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正するモードです。
AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。[AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。

(NOTE)

・インテリジェント機能の[ATW]が有効になっている場合、[White Balance Mode]の設定は無効になります。

Color Temperature [2000K ~ 15000K]

色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。
[White Balance Mode]が[VAR]のときに有効です。

R Gain [-150 ~ +150]

Rゲインを調整できます。
[White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。

B Gain [-150 ~ +150]

Bゲインを調整できます。
[White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。

Pedestal [-150 ~ +150]

黒レベルの調整(ペダスタル調整)を行います。
マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

R Pedestal [-100 ~ +100]

Rペダスタルを調整できます。

B Pedestal [-100 ~ +100]

Bペダスタルを調整できます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 2/4画面

*** Picture 2/4 ***	
◁Detail	On
Master Detail	31
V Detail Level	0
Detail Band	0
Noise Suppress	1
FleshTone NoiseSUP.	16
Gamma Type	HD
Gamma	0.45
DRS	Off
Return	

Detail [Off、On]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のOn/Offを設定します。

Master Detail [0 ~ 62]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。

V Detail Level [-7 ~ +7]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。

Detail Band [-7 ~ +7]

ディテールのブースト周波数を設定します。

-7 : 低周波数
}
+7 : 高周波数

高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。

Noise Suppress [0 ~ 60]

ディテール効果による画面ノイズを軽減します。
設定値が大きいほどノイズが少なくなります。

FleshTone NoiseSUP. [0 ~ 31]

人の肌をなめらかに、よりきれいに映す機能です。
設定値が大きいほど、より効果が強調されます。

Gamma Type

[HD、FILMLIKE1、FILMLIKE2、FILMLIKE3]

ガンマカーブのタイプを選択します。

HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
FILMLIKE1	HDガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE2	[FILMLIKE1]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE3	[FILMLIKE2]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

Gamma [0.30 ~ 0.75]

ガンマ補正レベルの調整を行います。
低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。
高い値を設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。

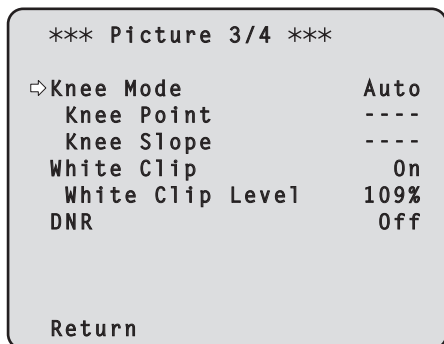
DRS [Off, Low, Mid, High]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能を設定します。
[Low]、[Mid]、[High]から効果が選択できます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 3/4 画面



Knee Mode [Off、Auto、Manual]

階調圧縮 (ニー) の動作モードを設定します。

Off	ニーをオフにします。
Auto	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
Manual	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを手動で設定します。

Knee Point [70.0% ~ 107.0%]

高輝度映像信号の圧縮レベル (ニーポイント) の位置設定を行います。
[Knee Mode] が [Manual] のときのみ有効です。

Knee Slope [0 ~ 99]

ニーの傾きを設定します。

[Knee Mode] が [Manual] のときのみ有効です。

<NOTE>

- [DRS] を有効にしているときは、ニーの設定が無効になります。

White Clip [Off、On]

ホワイトクリップ機能の Off、On を設定します。

White Clip Level [90% ~ 109%]

ホワイトクリップレベルを設定します。

[White Clip] が [On] のときのみ有効です

<NOTE>

- [Knee Mode] が [Auto] のとき、White Clip の値が変更されたときは、Knee の値も追従して変更されます。

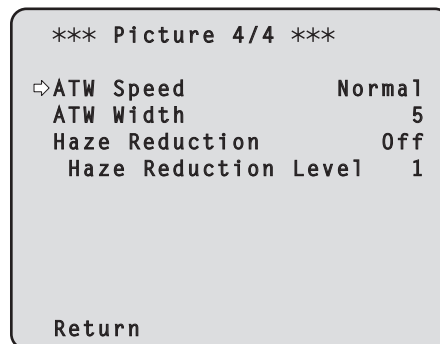
DNR [Off、Low、High]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。
[Low]、[High] を選択すると、ノイズを除去することができます。
ただし、残像が増える場合があります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 4/4 画面



ATW Speed [Normal、Slow、Fast]

ATW 機能の制御スピードを設定します。

Normal	通常のスピードで追従します。
Slow	[Normal] よりも遅いスピードで追従します。
Fast	[Normal] よりも速いスピードで追従します。

ATW Width [1 ~ 5]

ATW 機能で追従する色温度範囲を設定します。
数値が大きいくほど、追従範囲が広がります。

Haze Reduction [Off、On]

霧除去機能の有効/無効を設定します。

霧が発生してコントラストが低い被写体に対して補正を行って、映像を見やすくします。

Off	霧除去機能を無効にします。
On	霧除去機能を有効にします。

<NOTE>

- [Haze Reduction] を [On] に設定しているときは、以下の項目の設定が変更できません。

- Detail
- Gamma
- DRS
- Knee Mode
- DNR

Haze Reduction Level [1 ~ 3]

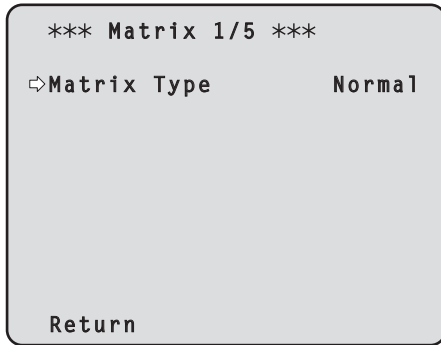
霧除去のレベルを設定します。

数値が大きいくほど、霧除去の効果が大きくなります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 1/5画面



Matrix Type [Normal、EBU、NTSC、User]

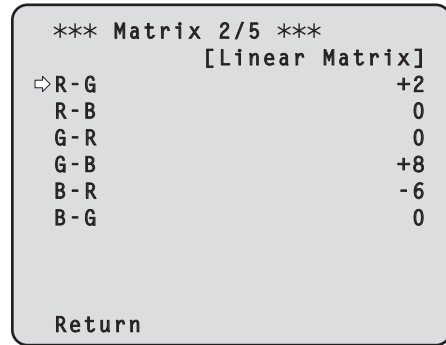
カラーマトリクスを選択します。

Normal	プリセットされているカラーマトリクスデータを読み出し、彩度と色相の補正を行います。
EBU	
NTSC	
User	[Matrix 2/5]画面で[Linear Matrix]の値を調整できます。 [Matrix 3/5]画面、[Matrix 4/5]画面、[Matrix 5/5]画面で[Color Correction]の値を調整できません。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 2/5画面



Linear Matrix

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。

R-G	各軸方向の色調整を-63 ~ +63 の範囲で行います。
R-B	
G-R	
G-B	
B-R	
B-G	

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 3/5画面

```

*** Matrix 3/5 ***
  [Color Correction 1/3]
      Saturation   Phase
B_Mg  ⇨ -27      +19
Mg     -19      +10
Mg_R   -63      -4
Mg_R_R -48      -27
R       -9       -4
R_R_YI +62      +23

Return
    
```

Color Correction 1/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation[-63 ~ +63]
各色の飽和度を調整します。

Phase[-63 ~ +63]
各色の色相を調整します。

B_Mg	青とマゼンタの中間色
Mg	マゼンタ
Mg_R	マゼンタと赤の中間色
Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が1:3の色
R	赤
R_R_YI	赤と黄の比率が3:1の色

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 4/5画面

```

*** Matrix 4/5 ***
  [Color Correction 2/3]
      Saturation   Phase
R_YI  ⇨ +63      +44
R_YI_YI +44      0
YI     +63      +29
YI_G   +17      +20
G       +4      +26
G_Cy   0        0

Return
    
```

Color Correction 2/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation[-63 ~ +63]
各色の飽和度を調整します。

Phase[-63 ~ +63]
各色の色相を調整します。

R_YI	赤と黄の中間色
R_YI_YI	赤と黄の比率が1:3の色
YI	黄
YI_G	黄と緑の中間色
G	緑
G_Cy	緑とシアンの中間色

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 5/5画面

*** Matrix 5/5 ***		
[Color Correction 3/3]		
	Saturation	Phase
Cy	↔ -21	+8
Cy_B	-15	+49
B	-12	+3
Return		

Color Correction 3/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation[-63 ~ +63]

各色の飽和度を調整します。

Phase[-63 ~ +63]

各色の色相を調整します。

Cy	シアン
Cy_B	シアンと青の中間色
B	青

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Intelligent画面

*** Intelligent ***	
↔ Intelligent	Off
Intelligent Mode	AE+ATW
ND Filter Select	Auto
AGC Mode	Normal
Return	

Intelligent [Off、On、Lock]

インテリジェント機能の動作モードを設定します。
屋外での変化に対応して、映像レベルや色温度を自動で補正します。

Off	メニューやカメラコントローラーからの設定で動作します。
On	自動露出およびオートトラッキングホワイトバランスを行います。
Lock	[On] から [Lock] にした時点で、自動露出およびオートトラッキングホワイトバランスの調整状態を保持します。

<NOTE>

- ・インテリジェント機能の動作中は、ナイトモードに切り替えることができません。
- ・インテリジェント機能が[Lock]に設定されている場合、目標映像レベルの調整は無効になります。

Intelligent Mode [AE、AE+ATW]

インテリジェント機能の制御項目を設定します。

AE	アイリスで調整しきれないときに、ゲイン ([Frame Mix] を含む) の制御、シャッターの制御、およびNDフィルターの可変による自動露出を制御します。
AE+ATW	[AE]の制御に加えてATWも自動的に制御します。

ND Filter Select [Through、1/8、1/64、Auto]

自動露出の動作中のNDフィルターを選択します。
自動露出の動作中は、カメラコントローラーからの制御ができません。

Through	NDフィルターをしません。
1/8	透過率が1/8のNDフィルターを使います。
1/64	透過率が1/64のNDフィルターを使います。
Auto	NDフィルターを自動で切り替えます。

AGC Mode [Normal、Sports、SN]

AGC動作時の制御モードを設定します。

Normal	AGCを最大18 dBまでゲインアップします。
Sports	AGCを最大30 dBまでゲインアップします。([Frame Mix]なし)
SN	AGCを最大42 dBまでゲインアップします。([Frame Mix]あり)

<NOTE>

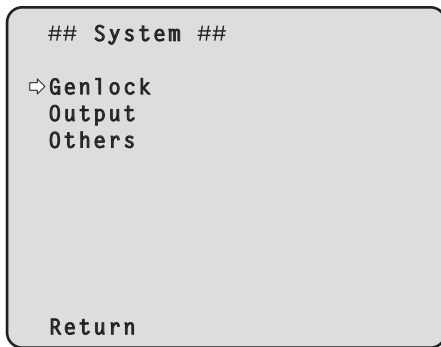
- ・[SN]に設定しても、映像フォーマットが以下のフォーマットに設定されているときは、[Sports]と同じ動作になります。
1080/29.97p、1080/23.98p、1080/29.97PsF、
1080/23.98PsF、1080/25p、1080/25PsF

Return

一階層上のメニューに戻ります。

System画面

ゲンロック位相調整やカメラの出力映像の設定などに関するメニューです。



Genlock

位相調整を行う [Genlock] 画面を表示します。

Output

カメラの出力映像の設定を行う [Output] 画面を表示します。

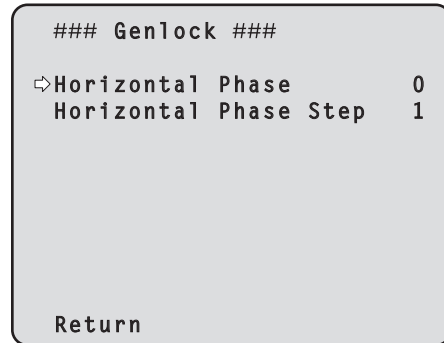
Others

本機の回転台部分の設置状態や動作スピードの設定など、その他の機能に関する設定を行う [Others] 画面を表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Genlock画面



Horizontal Phase [-206~+49]

ゲンロック時の水平位相の調整を行います。

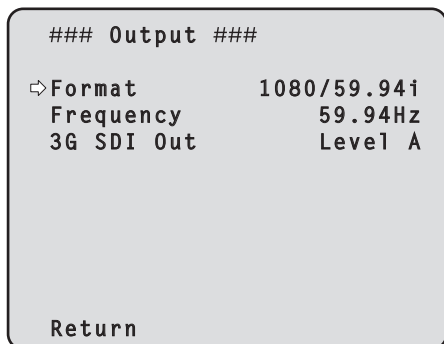
Horizontal Phase Step [1 ~ 10]

[Horizontal Phase]の調整量を設定します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Output画面



Format

[(59.94Hzのとき) 1080/59.94p、1080/29.97p*1、1080/23.98p*2、1080/59.94i、1080/29.97PsF*3、1080/23.98PsF*3、720/59.94p、(50Hzのとき) 1080/50p、1080/25p*1、1080/50i、1080/25PsF*3、720/50p]

*1 Native出力

*2 Over59.94i出力

*3 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示される場合があります。また、1080/23.98PsFと29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示される場合があります。

映像フォーマットを変更します。

フォーマット変更方法の詳細については、「Format変更について」(→47ページ)を参照してください。

Frequency [59.94Hz、50Hz]

フレーム周波数を切り替えます。

・周波数が切り替わると、[Format]の設定が次のようになります。

59.94Hz		50Hz	
1080/59.94p	⇔	1080/50p	
1080/29.97p	⇔	1080/25p	
1080/23.98p	→	1080/25p	
1080/59.94i	⇔	1080/50i	
1080/29.97PsF	⇔	1080/25PsF	
1080/23.98PsF	→	1080/25PsF	
720/59.94p	⇔	720/50p	

・周波数変更方法の詳細については、「周波数変更について」(→48ページ)を参照してください。

3G SDI Out [Level A、Level B]

映像フォーマットが1080/59.94pまたは1080/50pのときに、3G-SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

Level A	Level A方式
Level B	Level B方式

〈NOTE〉

・映像フォーマットが1080/59.94p、または1080/50pのとき以外は、3G SDI Outは変更できません。

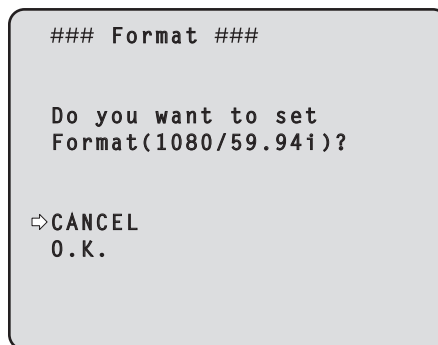
Return

一階層上のメニューに戻ります。

■ Format変更について

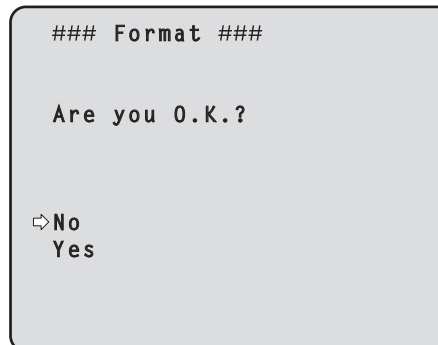
[Output]画面で、フォーマットを現在選択中のものから変更すると、Format切り替え前確認画面を表示します。また、3G SDI Outの設定を変更した場合も、3G SDI Out切り替え前および切り替え後の確認画面を表示します。

Format切り替え前確認画面



- ・画面中の()内には設定対象のフォーマットが表示されます。
- ・Format切り替え前確認画面で、[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、Format切り替え後確認画面が表示されます。

Format切り替え後確認画面

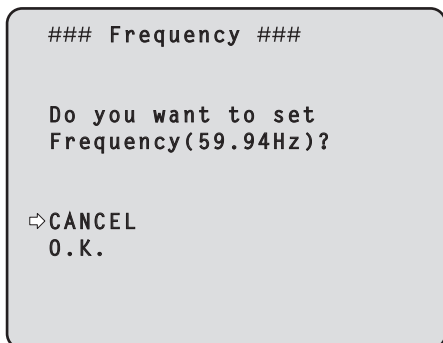


- ・[Yes]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え後のフォーマットで[Output]画面に戻ります。
- ・[No]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え前のフォーマットに再度変更した後に、[Output]画面に戻ります。10秒以上操作しなかった場合も同様です。
- ・変更したフォーマットに合っていない外部同期信号を入力していると、映像が乱れます。外部同期信号を変更するか、内部同期を使用してください。

■ 周波数変更について

[Output]画面で、周波数を現在選択中のものから変更すると、Frequency切り替え前確認画面を表示します。

Frequency切り替え前確認画面

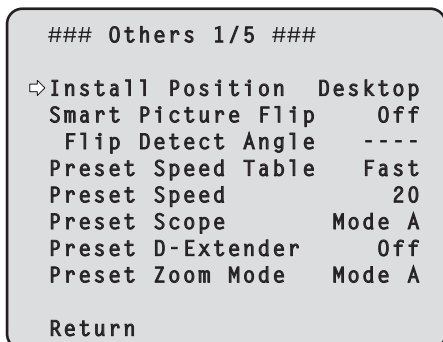


- 画面中の()内には、設定対象の周波数が表示されます。
- Frequency切り替え前確認画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、周波数が変更されます。

(NOTE)

- 59.94Hz/50Hzの各周波数に対応していないモニターを使用している場合、周波数変更後に映像が出なくなってしまう場合があります。周波数を変更する前に、モニターが変更後の周波数に対応しているかどうかを確認してください。

Others 1/5 画面



Install Position [Desktop, Hanging]

本機の設置方法を「据え置き」または「吊り下げ」から選択します。

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

(NOTE)

- 吊り下げ設置で使用する場合は、[Hanging]に設定してください。[Desktop]の設定で操作すると、可動範囲端に接触し、故障の原因になります。
- [Hanging] (吊り下げ) を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

Smart Picture Flip [Off, Auto]

チルトが[Flip Detect Angle]で設定した角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

Off	上下逆転しません。
Auto	自動的に映像を上下逆転します。

Flip Detect Angle [60° ~ 120°]

[Smart Picture Flip]が[Auto]の場合に、映像を上下逆転させるチルトの角度を設定します。

Preset Speed Table [Slow, Fast]

プリセットスピードのテーブル(Slow, Fast)を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った[Preset Speed] (1 ~ 30)の値でプリセットを実行します。

Preset Speed [1 ~ 30]

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときのパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

(NOTE)

- [Preset Speed]を大きな値に設定すると、停止するとき画面が揺らぐことがあります。

Preset Scope [Mode A, Mode B, Mode C]

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

Mode A	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus, Iris, Gain, ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus, Iris
Mode C	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

Preset D-Extender [Off, On]

プリセットメモリーを再生したときのデジタルエクステンダー機能を選択します。

Off	プリセット再生時に、デジタルエクステンダーの値を変更しません。
On	プリセット再生時に、プリセット登録時のデジタルエクステンダーの値になるように動作します。

Preset Zoom Mode [Mode A, Mode B]

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

Mode A	パン・チルトの動作に合わせてズーム動作を行います。
Mode B	パン・チルトの動作よりも速くズーム動作を行います。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 2/5 画面

```

### Others 2/5 ###
⇨ Freeze During Preset Off
  Speed With Zoom POS. On
  Focus Mode Auto
  Focus ADJ With PTZ. ----
  Digital Zoom Disable
  Max Digital Zoom ----
  Digital Extender Off
  IS Off

Return
    
```

Freeze During Preset [Off, On]

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。
[On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

Speed With Zoom POS. [Off, On]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。
[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。
なお、本機能はプリセット動作には効果がありません。

Focus Mode [Auto, Manual]

フォーカス調整(ピント合わせ)機能の自動/手動を選択します。

Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。
Manual	フォーカスをマニュアル操作します。

<NOTE>

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Focus Mode]は[Auto]に設定できません。

Focus ADJ With PTZ. [Off, On]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。
[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
[Focus Mode]が[Manual]のときに選択できます。

Digital Zoom [Disable, Enable]

デジタルズーム機能の無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。
[Enable]に設定した場合、最大の位置からさらにTele方向にズーム操作すると、デジタルズームを連続的に操作できます。光学ズームとデジタルズームの切り替わり位置では、ズーム操作が一旦停止しますので、ズーム操作を一度止めてから、再度ズーム操作を行ってください。また、既にデジタルズーム領域にある状態で[Disable]に変更すると、光学ズーム最大の位置に自動的に移動します。

Max Digital Zoom

[x2, x3, x4, x5, x6, x7, x8, x9, x10]

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

<NOTE>

- デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

Digital Extender [Off, On]

デジタルエクステンダー機能をOff/Onします。
[On]設定すると、常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
[Digital Zoom]が[Enable]のときは、[Digital Extender]は無効になります。

IS [Off, OIS, Dynamic I.S. System]

画揺れ補正のモードを選択します。

Off	画揺れ補正を行いません。
OIS	光学式画揺れ補正(OIS)を行います。
Dynamic I.S. System	光学式画揺れ補正に加えて、パンチルト機構式画揺れ補正を行います。

<NOTE>

- パンチルト動作中は、光学式画揺れ補正機能(OIS)による補正量を低下させます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 3/5 画面

```

### Others 3/5 ###
⇨ OSD Mix
  SDI Out On
  IP On
  OSD Off With Tally Off
  OSD Status Off
  DC Out On

Return
    
```

OSD Mix

カメラメニューやステータスなどの表示のOff/Onを、各出力映像ごとに選択します。

SDI Out [Off, On]

IP [Off, On]

Off	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示しません。
On	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

<NOTE>

- 表示を[Off]に設定した場合でも、本機の電源をONにした後2分間は、カメラメニューを表示することができます。

OSD Off With Tally [Off, On]

タリー信号をコマンドまたは接点で受信した際に、カメラメニューやステータス表示を消去する機能のOff/Onを設定します。
タリー信号が解除されると、カメラメニュー表示は元に戻ります。

OSD Status [Off, On]

AWBおよびABB実行時のステータス表示をOff/Onします。

DC Out [Off, On]

本機から外部への電源出力をOff/Onします。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 4/5 画面

### Others 4/5 ###		
⇨Audio		Off
Line Level CH1/CH3		0dB
Line Level CH2/CH4		0dB
Output VOL. CH1		0dB
Output VOL. CH2		0dB
Output VOL. CH3		0dB
Output VOL. CH4		0dB
Head Room	FS-20dB	
Line CH Select		All
Return		

Audio [Off, On]

音声入力をOff/Onします。

Line Level CH1/CH3 [+4dB, 0dB, -20dB]

音声のライン入力(CH1/CH3)の入力レベルを設定します。

Line Level CH2/CH4 [+4dB, 0dB, -20dB]

音声のライン入力(CH2/CH4)の入力レベルを設定します。

Output VOL. CH1 [-40dB ~ +12dB]

音声出力(CH1)のボリュームを設定します。

Output VOL. CH2 [-40dB ~ +12dB]

音声出力(CH2)のボリュームを設定します。

Output VOL. CH3 [-40dB ~ +12dB]

音声出力(CH3)のボリュームを設定します。

Output VOL. CH4 [-40dB ~ +12dB]

音声出力(CH4)のボリュームを設定します。

Head Room [FS-12dB, FS-18dB, FS-20dB]

音声のヘッドルームを設定します。

Line CH Select [All, CH1/CH2, CH3/CH4, None]

音声のライン入力の出力先を選択します。

All	CH1 ~ CH4のライン出力
CH1/CH2	CH1 と CH2 のみのライン出力 (CH3 と CH4 は無出力*)
CH3/CH4	CH3 と CH4 のみのライン出力 (CH1 と CH2 は無出力*)
None	CH1 ~ CH4の全てが無出力

* IPストリーミング音声は、上記の設定に依存しません。
常にCH1 と CH2が有効です。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 5/5 画面

### Others 5/5 ###		
⇨Housing		
Fan		On
Heater		Auto
Defroster		Auto
Wiper		Off
Washer		
Protocol		
Model Select		SEVIHD1
Return		

Housing

ハウジング機能について設定します。

Fan [Auto, On]

冷却ファンの動作を設定します。

Auto	冷却ファンを自動制御します。
On	冷却ファンを動作させます。

<NOTE>

• [On]に設定していても、低温時には、冷却ファンを強制的に停止させる場合があります。

Heater [Auto, On]

ヒーターの動作を設定します。

Auto	ヒーターを自動制御します。
On	ヒーターを動作させます。

<NOTE>

• [On]に設定していても、高温時には、ヒーターを強制的に停止させる場合があります。

Defroster [Auto, On]

霜取り装置の動作を設定します。

Auto	霜取り装置を自動制御します。
On	霜取り装置を動作させます。

<NOTE>

• [On]に設定していても、高温時には、霜取り装置を強制的に停止させる場合があります。

Wiper [Off, Fast, Slow]

ワイパーの動作を設定します。

Off	停止
Fast	高速動作
Slow	低速動作

Washer [No, Yes]

洗浄液を噴射することにより、レンズ部の洗浄を行います。

[Yes]を選択すると、洗浄ノズルの位置にカメラヘッドを移動して洗浄液を一定時間噴射し、その後、元の位置に戻ります。

洗浄中は、ワイパーも一時的に動作します。

Protocol Model Select

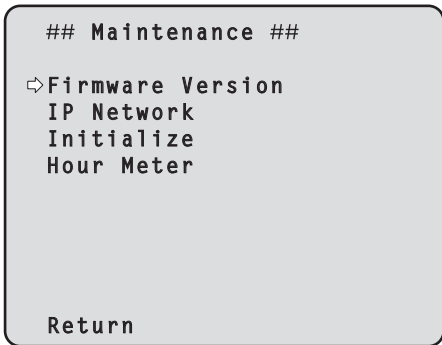
[SEVIHD1、SBRC300、SBRCZ330、Reserved1～Reserved7]

標準シリアル通信時のプロトコル種別を設定します。
本機背面のMODEスイッチ(→15ページ)が、2または3(標準プロトコル設定)のポジションのときに表示されます。
[Reserved1]～[Reserved7]は選択しないでください。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Maintenance 画面



Firmware Version

本機に導入されているファームウェアのバージョンを確認できる [Firmware Version]画面を表示します。

IP Network

本機に設定されている [IP Address]、[Subnet Mask]、[Default Gateway]を確認できる [IP Network]画面を表示します。

Initialize

カメラの設定値の初期化が行える [Initialize]画面を表示します。
操作の詳細については、「初期化(Initialize)について」(→52ページ)を参照してください。

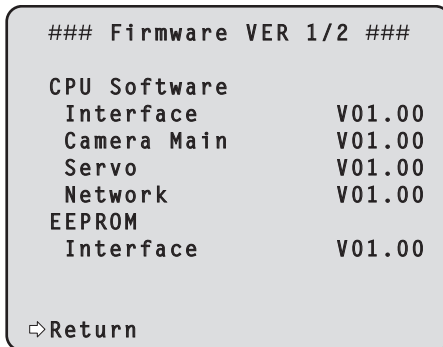
Hour Meter

動作履歴を表示するHour Meter画面を表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Firmware VER 1/2画面



CPU Software Interface

インターフェース部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software Camera Main

カメラ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software Servo

サーボ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software Network

ネットワーク部のソフトバージョンを表示します。

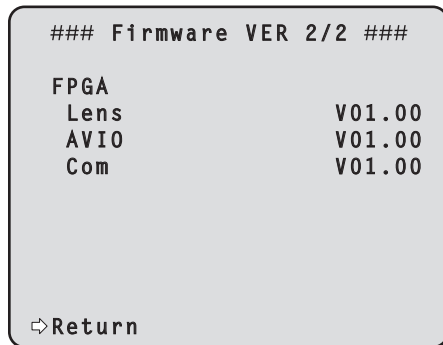
EEPROM Interface

インターフェース部のEEPROMバージョンを表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Firmware VER 2/2画面



FPGA Lens

レンズ部のFPGAバージョンを表示します。

FPGA AVIO

AV制御部のFPGAバージョンを表示します。

FPGA Com

通信用のFPGAバージョンを表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

IP Network画面

```

### IP Network ###

IP Address
      192.168.  0. 10
Subnet Mask
      255.255.255.  0
Default Gateway
      192.168.  0.  1

⇨Return
    
```

IP Address

本機に設定されているIPアドレスを表示します。

Subnet Mask

本機に設定されているサブネットマスクを表示します。

Default Gateway

本機に設定されているデフォルトゲートウェイを表示します。

〈NOTE〉

- 本画面では、[IP Address]、[Subnet Mask]、[Default Gateway]の表示は行えますが、設定の変更はできません。各アドレスを変更したい場合は、Web設定画面[Setup]の「ネットワーク設定画面[Network]」(→86ページ)または「IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う」(→21ページ)を使用してください。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

■ 初期化 (Initialize) について

[Maintenance]画面で[Initialize]を選択すると、[Initialize]画面が表示されます。

Initialize画面

```

### Initialize ###

Do you want to initialize
Menu settings?

⇨CANCEL
  O.K.
    
```

- [Initialize]画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、[Menu settings initialized]画面を5秒間表示し、カメラの各種設定値を工場出荷時の設定に戻します。ただし、[Format]、[Frequency]、[Install Position]の設定内容(→47ページ、48ページ)とネットワーク設定は初期化されません。

〈NOTE〉

- 初期化動作が完了すると、[Top Menu]画面へ戻ります。ここで本機をいったんStandbyモードにしてから、再度Power ONモードにしてください。(23ページ)
- [Format]、[Frequency]、[Install Position]の設定は、初期化されません。
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。

Menu settings initialized画面

```

Menu settings
initialized
    
```

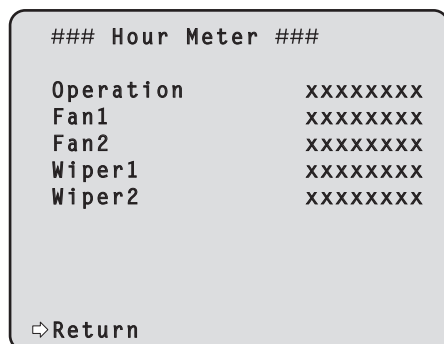
- [Initialize]画面で[CANCEL]にカーソルを合わせ決定すると、[Menu settings unchanged]画面を5秒間表示し、初期化動作を行わずに[Maintenance]画面へ戻ります。

Menu settings unchanged画面

```

Menu settings
unchanged
    
```

Hour Meter 画面



Operation

本機に通電が行われた累積時間を表示します。(8桁の数値)

Fan1

カメラヘッド側の冷却ファンが動作した累積時間を表示します。(8桁の数値*¹)

Fan2

回転台側の冷却ファンが動作した累積時間を表示します。(8桁の数値*¹)

Wiper1

本機が工場から出荷された後、ワイパーが駆動した回数を表示します。(8桁の数値*¹)

Wiper2

ワイパーゴムが交換された後、ワイパーが駆動した回数を表示します。(8桁の数値*¹)

Return

一階層上のメニューに戻ります。

*¹ 冷却ファンやワイパーの異常を検知したときは、累積時間や回数の後ろに[: E]を表示してステータスを表示します。
温度センサーの異常を検知したときは、[TEMP. Sensor : E]を表示します。

カメラメニュー項目一覧

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目	
Top Menu	Camera	Scene	Scene	Scene1	Scene1, Scene2, Scene3, Scene4	
		Brightness 1/2	Picture Level	0	-50 ~ +50 (step : 1)	
			Iris Mode	Auto	Manual, Auto	
			Shutter Mode	Off	Off, Step, Synchro, ELC	
			Step/Synchro (Shutter ModeがStep のとき)	[59.94Hz] 1/100 [50Hz] 1/120	[Frequency が59.94Hz のとき] • 59.94p / 59.94iモード 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 • 29.97pモード 1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 • 23.98pモード 1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 [Frequency が50Hz のとき] • 50p / 50iモード 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 • 25pモード 1/25, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	
			Step/Synchro (Shutter Modeが Synchroのとき)	[59.94Hz] 60.15Hz [50Hz] 50.15Hz	[Frequency が59.94Hz のとき] 60.15Hz ~ 642.21Hz (255段階) Frequency が50Hz のとき] 50.15Hz ~ 535.71Hz (255段階)	
			Gain	0dB	[Super Gain がOff のとき] Auto, 0dB ~ 36dB (step : 1dB) [Super Gain がOn のとき] Auto, 0dB ~ 42dB (step : 1dB)	
			Super Gain	Off	Off, On	
			AGC Max Gain	18dB	6dB, 12dB, 18dB	
			Frame Mix	Off	Off, 6dB, 12dB, 18dB, 24dB	
			ND Filter	Through	Through, 1/8, 1/64	
		Brightness 2/2	Day/Night	Day	Day, Night	
		Picture	Picture 1/4	Chroma Level	0%	OFF, -99% ~ 40%
				White Balance Mode	AWB A	AWB A, AWB B, ATW, 3200K, 5600K, VAR
				Color Temperature	3200K	2000K ~ 15000K*1
				R Gain	0	-150 ~ +150 (step : 1)
				B Gain	0	-150 ~ +150 (step : 1)
				Pedestal	0	-150 ~ +150 (step : 1)
				R Pedestal	0	-100 ~ +100 (step : 1)
				B Pedestal	0	-100 ~ +100 (step : 1)
			Picture 2/4	Detail	On	Off, On
				Master Detail	31	0 ~ 62
				V Detail Level	0	-7 ~ +7
				Detail Band	0	-7 ~ +7
				Noise Suppress	1	0 ~ 60
				FleshTone Noise SUP.	16	0 ~ 31
		Gamma Type	HD	HD, FILMLIKE1, FILMLIKE2, FILMLIKE3		
		Gamma	0.45	0.30 ~ 0.75 (Step : 0.01)		
		DRS	Off	Off, Low, Mid, High		

*1 数値が大きくなるに従い、ステップ幅も大きくなります。

(2000/2010/2020/2040/2050/2070/2080/2090/2110/2120/2140/2150/2170/2180/2200/2210/2230/2240/2260/
2280/2300/2310/2330/2340/2360/2380/2400/2420/2440/2460/2480/2500/2520/2540/2560/2600/2620/2640/
2680/2700/2720/2740/2780/2800/2820/2850/2870/2920/2950/2970/3000/3020/3070/3100/3120/3150/3200/
3250/3270/3330/3360/3420/3450/3510/3570/3600/3660/3720/3780/3840/3870/3930/3990/4050/4110/4170/
4240/4320/4360/4440/4520/4600/4680/4760/4840/4920/5000/5100/5200/5300/5400/5500/5600/5750/5850/
6000/6150/6300/6450/6650/6800/7000/7150/7400/7600/7800/8100/8300/8600/8900/9200/9600/10000/10500/
11000/11500/12000/12500/13000/14000/15000)

■ : リモコンからダイレクトに制御できる項目です。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー				項目	出荷時設定	選択項目					
Top Menu	Camera	Scene	Picture	Picture 3/4	Knee Mode	Auto				Off, Auto, Manual	
					Knee Point	93.0%				70.0% ~ 107.0% (Step : 0.5%)	
					Knee Slope	85				0 ~ 99	
					White Clip	On				Off, On	
					White Clip Level	109%				90% ~ 109%	
					DNR	Off				Off, Low, High	
				Picture 4/4	ATW Speed	Normal				Normal, Slow, Fast	
					ATW Width	5				1 ~ 5	
					Haze Reduction	Off				Off, On	
					Haze Reduction Level	1				1 ~ 3	
				Matrix	Matrix 1/5	Matrix Type				Normal	Normal, EBU, NTSC, User
					Matrix 2/5	[Linear Matrix]	Normal	EBU	NTSC	User	
						R-G	+2	-4	-39	-6	-63 ~ +63
						R-B	0	-6	-12	+3	-63 ~ +63
			G-R			0	-4	-4	-6	-63 ~ +63	
			G-B			+8	-2	-6	+5	-63 ~ +63	
			B-R			-6	-4	-6	-12	-63 ~ +63	
			B-G		0	-6	-8	-6	-63 ~ +63		
			Matrix 3/5		[Color Correction 1/3]	Normal	EBU	NTSC	User		
					B_Mg Saturation	-27	-21	-7	-14	-63 ~ +63	
					B_Mg Phase	+19	+4	-38	-5	-63 ~ +63	
					Mg Saturation	-19	0	0	-9	-63 ~ +63	
					Mg Phase	+10	0	0	-9	-63 ~ +63	
					Mg_R Saturation	-63	-63	-8	-29	-63 ~ +63	
					Mg_R Phase	-4	+13	+13	0	-63 ~ +63	
					Mg_R_R Saturation	-48	-13	-62	-34	-63 ~ +63	
					Mg_R_R Phase	-27	+63	0	0	-63 ~ +63	
					R Saturation	-9	-63	-37	-18	-63 ~ +63	
					R Phase	-4	0	+4	-4	-63 ~ +63	
					R_R_YI Saturation	+62	-32	+12	+24	-63 ~ +63	
			R_R_YI Phase		+23	+38	+63	-16	-63 ~ +63		
			Matrix 4/5		[Color Correction 2/3]	Normal	EBU	NTSC	User		
					R_YI Saturation	+63	+18	-63	+17	-63 ~ +63	
					R_YI Phase	+44	+35	+9	-13	-63 ~ +63	
					R_YI_YI Saturation	+44	0	0	+9	-63 ~ +63	
					R_YI_YI Phase	0	0	+17	-8	-63 ~ +63	
					YI Saturation	+63	+63	+14	+19	-63 ~ +63	
					YI Phase	+29	+4	-7	-2	-63 ~ +63	
					YI_G Saturation	+17	+9	0	+16	-63 ~ +63	
					YI_G Phase	+20	+22	+16	-2	-63 ~ +63	
					G Saturation	+4	+12	+56	-2	-63 ~ +63	
					G Phase	+26	+4	+13	-4	-63 ~ +63	
					G_Cy Saturation	0	0	0	0	-63 ~ +63	
				G_Cy Phase	0	0	0	-9	-63 ~ +63		
			Matrix 5/5	[Color Correction 3/3]	Normal	EBU	NTSC	User			
				Cy Saturation	-21	+18	-28	-9	-63 ~ +63		
				Cy Phase	+8	+24	+33	+5	-63 ~ +63		
Cy_B Saturation	-15	-17		-63	-12	-63 ~ +63					
Cy_B Phase	+49	+61		+63	+5	-63 ~ +63					
B Saturation	-12	-8		-17	-19	-63 ~ +63					
B Phase	+3	+7		-8	0	-63 ~ +63					
Intelligent	Intelligent	Off				Off, On, Lock					
	Intelligent Mode	AE+ATW				AE, AE+ATW					
	ND Filter Select	Auto				Through, 1/8, 1/64, Auto					
	AGC Mode	Normal				Normal, Sports, SN					

■ : リモコンからダイレクトに制御できる項目です。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目		
Top Menu	System	Genlock	Horizontal Phase	0	-206 ~ +49		
			Horizontal Phase Step	1	1 ~ 10		
			Output	Format	1080/59.94i	[Frequencyが59.94Hzのとき] 1080/59.94p, 1080/29.97p* ² , 1080/23.98p* ³ , 1080/59.94i, 1080/29.97PsF* ⁴ , 1080/23.98PsF* ⁴ , 720/59.94p [Frequencyが50Hzのとき] 1080/50p, 1080/25p* ² , 1080/50i, 1080/25PsF* ⁴ , 720/50p	
		Frequency	59.94Hz	59.94Hz, 50Hz			
			3G SDI Out	Level A	Level A, Level B		
		Others	Others 1/5	Install Position	Desktop	Desktop, Hanging	
				Smart Picture Flip	Off	Off, Auto	
				Flip Detect Angle	90deg	60 ~ 120deg (step : 1deg)	
				Preset Speed Table	Fast	Slow, Fast	
				Preset Speed	20	1 ~ 30	
				Preset Scope	Mode A	Mode A, Mode B, Mode C	
				Preset D-Extender	Off	Off, On	
				Preset Zoom Mode	Mode A	Mode A, Mode B	
				Others 2/5	Freeze During Preset	Off	Off, On
					Speed With Zoom POS.	On	Off, On
			Focus Mode		Auto	Manual, Auto	
			Focus ADJ With PTZ.		Off	Off, On	
			Digital Zoom		Disable	Disable, Enable	
			Max Digital Zoom		x10	x2 ~ x10	
			Digital Extender		Off	Off, On	
			IS		Off	Off, OIS, Dynamic I.S. System	
			Others 3/5		OSD Mix		
				SDI Out	On	Off, On	
				IP	On	Off, On	
		OSD Off With Tally		Off	Off, On		
		OSD Status		Off	Off, On		
		DC Out		On	Off, On		
		Others 4/5	Audio	Off	Off, On		
			Line Level CH1/CH3	0dB	+4dB, 0dB, -20dB		
			Line Level CH2/CH4	0dB	+4dB, 0dB, -20dB		
			Output VOL. CH1	0dB	-40dB ~ +12dB		
			Output VOL. CH2	0dB	-40dB ~ +12dB		
			Output VOL. CH3	0dB	-40dB ~ +12dB		
			Output VOL. CH4	0dB	-40dB ~ +12dB		
			Head Room	FS-20dB	FS-12dB, FS-18dB, FS-20dB		
			Line CH Select	All	All, CH1/CH2, CH3/CH4, None		
		Others 5/5	Housing				
			Fan	On	Auto, On		
			Heater	Auto	Auto, On		
			Defroster	Auto	Auto, On		
Wiper	Off		Off, Fast, Slow				
Washer	- - -		No, Yes				
Protocol							
Model Select	SEVIHD1		SEVIHD1, SBRC300, SBRCZ330, Reserved1 ~7				

*² Native出力

*³ Over59.94i出力

*⁴ 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示される場合があります。また、1080/23.98PsFと29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示される場合があります。

■ : リモコンからダイレクトに制御できる項目です。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目	
Top Menu	Maintenance	Firmware Version	CPU Software			
			Interface	出荷バージョン	---	
			Camera Main	出荷バージョン	---	
			Servo	出荷バージョン	---	
			Network	出荷バージョン	---	
			EEPROM			
			Interface	出荷バージョン	---	
			FPGA			
			Lens	出荷バージョン	---	
			AVIO	出荷バージョン	---	
			Com	出荷バージョン	---	
			IP Network	IP Address	192.168.0.10	
				Subnet Mask	255.255.255.0	
		Default Gateway		192.168.0.1		
		Initialize	---	CANCEL	CANCEL, OK	
		Hour Meter	Operation	8桁の数値		
			Fan1	8桁の数値		
			Fan2	8桁の数値		
			Wiper1	8桁の数値		
			Wiper2	8桁の数値		

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピュータをつないで、WebブラウザからカメラのIP映像を見たり、各種の設定を行うことができます。

本機のIP制御用LAN端子とパーソナルコンピュータを直接接続する場合はLANクロスケーブルを、スイッチングハブなどを介して接続する場合はLANストレートケーブルを使用します。

パーソナルコンピュータのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

〈NOTE〉

- IPアドレスとサブネットマスクを変更する場合は、必ず販売店にお申し付けください。

本機のIPアドレスとサブネットマスク(工場出荷時)

IPアドレス : 192.168.0.10
サブネットマスク : 255.255.255.0
プライベートアドレスの範囲 : 192.168.0.0 ~ 192.168.0.255

- コントローラーとWebブラウザを同時に使用している場合、コントローラーで設定した内容がWebブラウザの表示に反映されないことがあります。
このような使い方をする場合は、必ずコントローラーかカメラメニューで設定内容を確認してください。

必要なパーソナルコンピュータの環境については、7ページを参照してください。

〈NOTE〉

- Web設定画面における一部の機能は、Windows搭載パーソナルコンピュータからのみ利用できます。
(OS X搭載のパーソナルコンピュータ(Mac)からは利用できません)
Windowsのみ利用可能な機能には、**Windows** マークを付けて記載しています。
- Windows搭載パーソナルコンピュータで本機のIP映像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされている必要があります。
(OS X搭載のパーソナルコンピュータ(Mac)には必要ありません)
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→22ページ)を参照してください。

パーソナルコンピュータによるWeb画面の表示

本書では、Windows(Internet Explorer)の画面をもとに説明していますが、Mac(Safari)の場合*1も同様の手順となります。

*1 画面上の表示は、一部異なります。

1. パーソナルコンピュータのWebブラウザを起動する

パーソナルコンピュータに搭載のOSに応じて、それぞれ下記のWebブラウザを使用してください。

搭載OS	Webブラウザ
Windows	Internet Explorer
OS X (Mac)	Safari

2. IP簡単設定ソフトウェアで設定したIPアドレスを、Webブラウザのアドレスボックスに入力します。

IPv4アドレスの入力例：

http://IPv4アドレスで登録したURL

http://192.168.0.10/



〈NOTE〉

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.11:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザ(メニューバーの[ツール] - [インターネットオプション])からプロキシサーバーの設定を行ってください。
- ネットワーク設定画面[Network]の[HTTPS] - [Connection](→91ページ)で[HTTPS]を設定している場合については、「HTTPSでカメラにアクセスする」(→96ページ)を参照してください。

3. [Enter] キーを押す

Web画面が表示されます。

初期画面は、ライブ画面[Live](→60ページ)が表示されますので、必要に応じてWeb設定画面[Setup](→65ページ)に切り替えてください。(→59ページ)



〈NOTE〉

- 表示用プラグインソフトウェアがインストールされていないパーソナルコンピュータでは、ライブ画面[Live]が表示される前に、インストール確認メッセージが表示されます。その場合は、画面に従ってインストールしてください。 [Windows](#)
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→22ページ)を参照してください。
- [User auth.](→84ページ)を[On]に設定した場合、ライブ画面[Live]が表示される前に、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。初期設定のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	12345

- ユーザー名とパスワードを初期設定のまま使用している間は、認証後にユーザー名・パスワードの変更を促すメッセージが表示されます。セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- 1台のパーソナルコンピュータで複数のH.264映像を表示しようとすると、パーソナルコンピュータの性能によっては、IP映像が表示されない場合があります。 [Windows](#)
- 画面上で下線表示されている項目をクリックすると、別ウィンドウが開き入力例を表示します。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、[Bandwidth control (bit rate)], [Max bit rate (per client)]の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。[H.264]の[Transmission type]を[Multicast port]に設定したとき、H.264画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- [H.264 transmission](→68ページ)を[On]に設定すると、H.264画像が表示されます。[Off]に設定すると、JPEG画像が表示されます。[H.264 transmission]を[On]に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG画像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。 [Windows](#)
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、パーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。

＜JPEG画像更新速度＞

[H.264 transmission]が[On]の場合 [Windows](#)

最大5 fps

[H.264 transmission]が[Off]の場合 [Windows](#)

最大30 fps

ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]の切り替え

ライブ画面[Live]を表示しているときに、[Setup]ボタン [Setup](#) をクリックします。
Web設定画面[Setup]についての詳細は、「Web設定画面[Setup]」(→65ページ)をご覧ください。



Web設定画面[Setup]を表示しているときに、[Live]ボタン [Live](#) をクリックします。
ライブ画面[Live]についての詳細は、「ライブ画面[Live]」(→60ページ、64ページ)をご覧ください。



〈NOTE〉

- スタンバイ中は[Setup]ボタンが無効になり、Web設定画面[Setup]に切り替えることができません。
- Web設定画面[Setup]を表示しているときに、他の端末から本機をStandbyモードに切り替えた場合、数秒後にライブ画面[Live]表示へ自動的に切り替わります。

Web画面からの操作

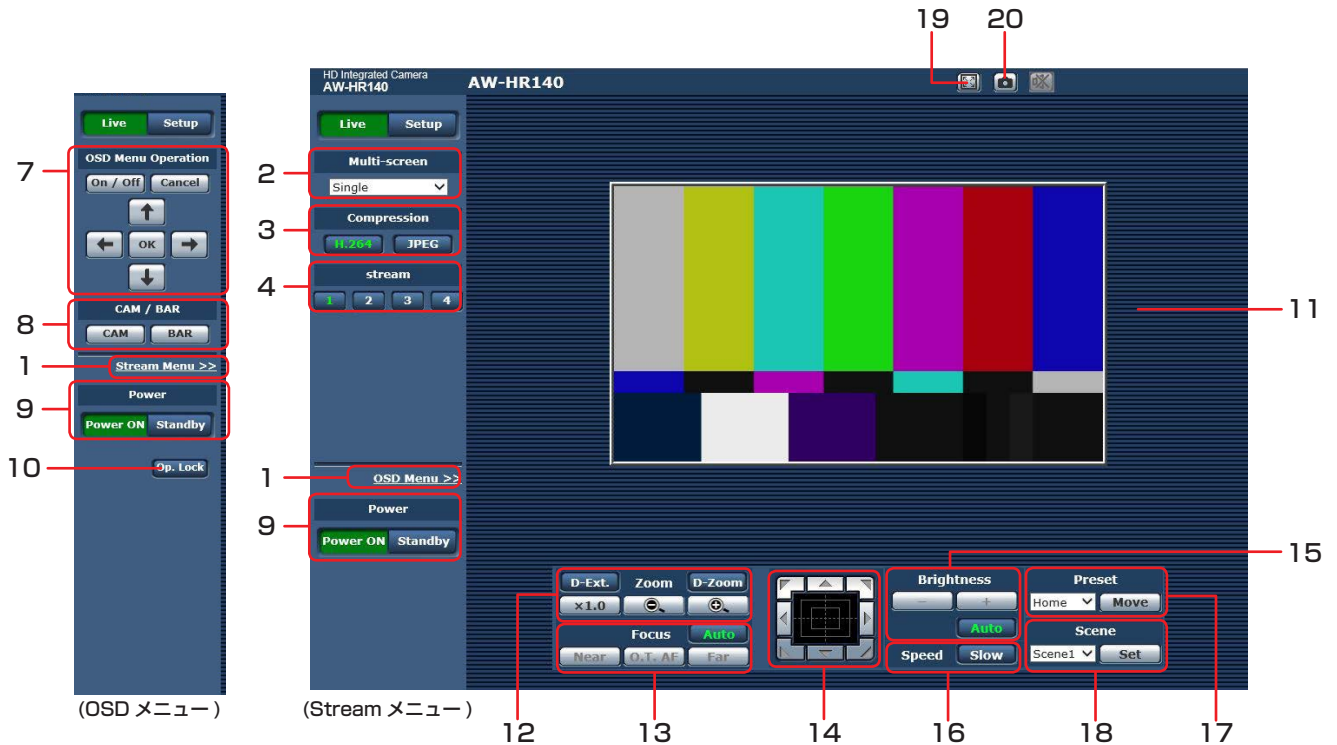
ライブ画面 [Live] には、1画面で1台のカメラのIP映像を表示する「シングル表示モード」と、1画面で複数台のカメラのIP映像を表示する「マルチ表示モード」があります。

「シングル表示モード」についての詳細は下記を、「マルチ表示モード」についての詳細は64ページを参照してください。

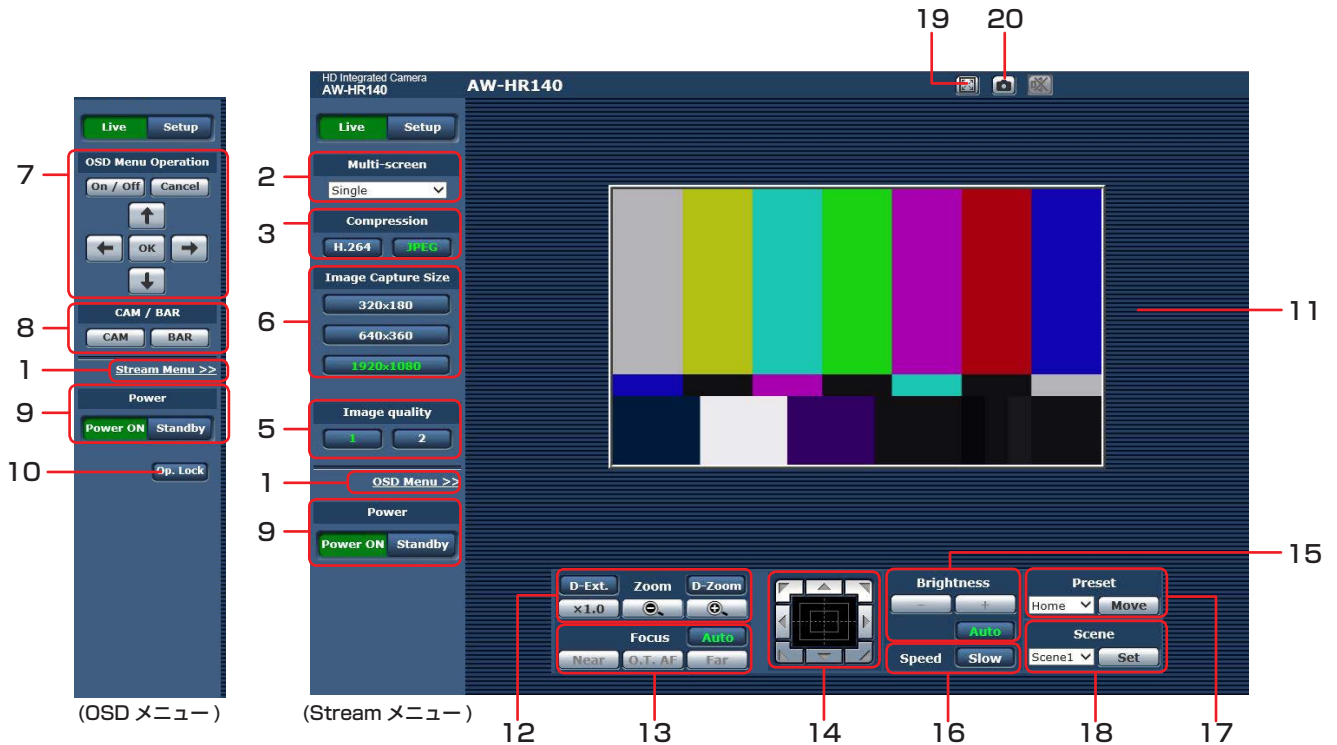
ライブ画面 [Live] : シングル表示モード

パーソナルコンピュータから、カメラ画像の表示や、カメラに対してパン、チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を行います。
[Compression] ボタンで、[H.264]を選択しているときと [JPEG]を選択しているときでは、表示される項目が一部異なります。

H.264 選択時 Windows



JPEG 選択時


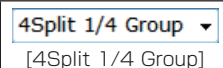
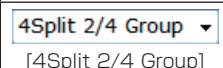
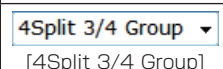
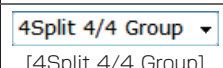
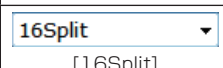


1. メニュー切り替え [OSD Menu >>]/[Stream Menu >>]

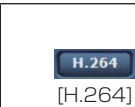

メニュー表示を切り替えます。
Streamメニューを表示しているときに[OSD Menu >>]をクリックすると、OSDメニューが表示されます。
OSDメニューを表示しているときに[Stream Menu >>]をクリックすると、Streamメニューが表示されます。

2. Multi-Screen リストボックス [Multi-screen]

ライブ画面[Live]の表示方法を選択します。

 [Single]	接続したカメラのIP映像を表示します。
 [4Split 1/4 Group]	あらかじめマルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup] (→83ページ) でマルチスクリーン表示するカメラを設定しておく と、1画面で複数のIP映像を見ることができます。(マルチ表示モード)
 [4Split 2/4 Group]	
 [4Split 3/4 Group]	
 [4Split 4/4 Group]	
 [16Split]	

3. Compression ボタン [Compression]





 [H.264]	ボタン上の[H.264]の文字が緑色に変わり、H.264 画像が表示されます。 Windows IP 映像設定で[H.264 (1)] ~ [H.264 (4)]の[H.264 transmission]を[On]に設定すると、[H.264] ボタンが有効になります。(→68ページ)
 [JPEG]	ボタン上の[JPEG]の文字が緑色に変わり、JPEG 画像が表示されます。

(NOTE)

- 次のような場合、[Compression] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。
Windows
- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を再更新した場合

4. Stream ボタン [Stream]

このボタンは、H.264 画像が表示されているときのみ表示されます。
Windows



 [1]	ボタン上の[1]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(1)]で設定した内容(→68ページ)に従って表示されます。
 [2]	ボタン上の[2]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(2)]で設定した内容(→68ページ)に従って表示されます。
 [3]	ボタン上の[3]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(3)]で設定した内容(→68ページ)に従って表示されます。
 [4]	ボタン上の[4]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(4)]で設定した内容(→68ページ)に従って表示されます。

(NOTE)

- 次のような場合、[Stream] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。
- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を更新した場合
- 選択したH.264画像の解像度設定が[1920x1080]または[1280x720]の場合、Webブラウザ画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

5. Image quality ボタン [Image quality]


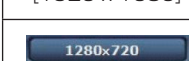
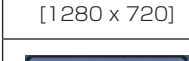


このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。

 [1]	[Image quality(JPEG)]の[Quality1]で設定した内容(→68ページ)に従って表示されます。
 [2]	[Image quality(JPEG)]の[Quality2]で設定した内容(→68ページ)に従って表示されます。

- 次のような場合、[Image quality] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Image quality(JPEG)] での設定に戻ります。
- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を更新した場合

6. Image Capture Size ボタン [Image Capture Size]


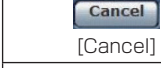

このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。

 [1920 x 1080]	[1920 x 1080]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1920 x 1080サイズで表示されます。
 [1280 x 720]	[1280 x 720]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1280 x 720サイズで表示されます。
 [640 x 360]	[640 x 360]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が640 x 360サイズで表示されます。
 [320 x 180]	[320 x 180]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が320 x 180サイズで表示されます。
 [160 x 90]	[160 x 90]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が160 x 90サイズで表示されます。


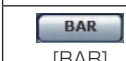
(NOTE)

- [Video over IP] タブ - [JPEG] の [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] で選択している解像度で表示されます。
- 解像度が[1920x1080]または[1280x720]の場合、Webブラウザの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。
- 次のような場合、[Image Capture Size] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。
- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を更新した場合

7. OSDメニュー操作 [OSD Menu Operation]

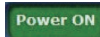
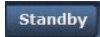
 [On / Off]	カメラのOSDメニューの表示・非表示を切り替えます。
 [Cancel]	設定変更中の選択をキャンセルします。変更前の設定に戻ります。
 [←/→/↑/↓/OK]	メニュー操作を行います。 [←/→/↑/↓] ボタンで項目の選択を行います。 選択した項目にサブメニューがあるときは、[OK] ボタンを押すとサブメニューが表示されます。 最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて[OK] ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。 通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[OK] ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されるメニュー(Scene, Format, Initialize)もあります。

8. カメラボタン / カラーバーボタン [CAM/BAR]

 [CAM]	カメラ映像を出力します。
 [BAR]	カラーバー信号を出力します。

9. Power ONボタン [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

 [Power ON]	本機の電源がONになります。
 [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

スタンバイ時、ライブ画面 [Live] では [Multi-screen] リストボックス、[Power ON] ボタン、[Standby] ボタン、[Op. Lock] ボタンを除くすべてのボタンは無効になります。

(NOTE)

- [Power ON] と [Standby] をすばやく切り替えると、状態と表示が一致なくなることがあります。この場合、以下の操作で正しい状態表示に戻ります。

Windowsの場合

[F5] キーを押す

Macの場合

[Command] + [R] キーを押す


Standbyモード移行時:

現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶 (Power ON プリセット) します。

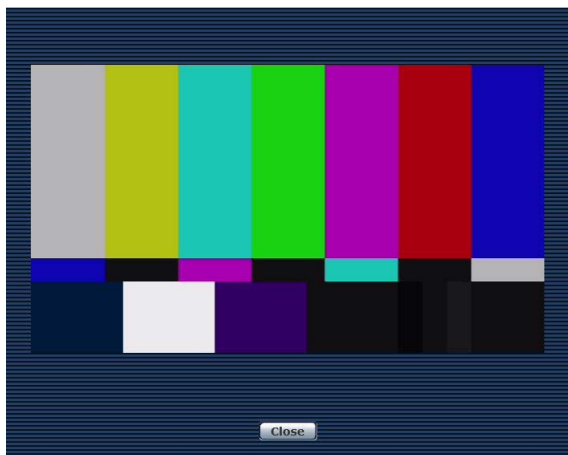
Power ONモード移行時:

Standbyモード移行時に記憶 (Power ON プリセット) した位置にズーム、フォーカス、アイリスを移動します。

10. 操作ロックボタン [Op. Lock]


 [Op. Lock]	コントロール画面のパン・チルト・ズーム・フォーカス・明るさ・スピード・プリセット・シーンの操作をロックします。 また、OSDメニュー操作、[CAM/BAR] ボタン、[Power ON] ボタン / [Standby] ボタンをロックし、誤動作を防止することができます。
---	--

11. メインエリア (IP映像表示エリア)








接続中のカメラのIP映像が表示されます。
カメラがタリー信号を受信している場合、エリア枠が赤に変わります。
タリー信号の受信が解除されると、元に戻ります。
エリア内でマウスホイールを操作すると、表示用プラグインソフトウェアによるデジタルズームが可能です。 [Windows](#)





(NOTE)

- お使いのパーソナルコンピュータによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載OSの描画処理 (GDI) の制約により、ティアリング (画面の一部がずれて表示される現象) が発生することがあります。
- Windows搭載のパーソナルコンピュータでは、[H.264 transmission] (→68ページ) を [On] に設定すると、H.264映像またはJPEG画像が表示可能です。[Off] に設定すると、JPEG画像のみ表示可能です。
- OS X搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) では、[H.264 transmission] の設定にかかわらず、JPEG画像のみ表示可能です。(H.264映像は表示できません。)
- [H.264 transmission] を [On] に設定した場合、H.264映像が配信かどうかにかかわらず、JPEG画像の画像更新速度は低下することがあります。
- JPEG画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264映像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。(Android端末での同時接続が可能な台数は、1台です)
ただし、[Bandwidth control (bit rate)]、[Max bit rate (per client)] の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。
- アクセスできる最大ユーザー数が上限を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。 [Windows](#)
- OS X搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) では、黒画面表示されたメインエリア中央に「」アイコンが表示されます。


12. ズーム [Zoom]

 [D-Zoom]	デジタルズームの有効/無効を切り替えます。
 [D-Ext.]	デジタルエクステンダーの有効/無効を切り替えます。
 [× 1.0]	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
 [-]	ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。
 [+]	ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。

13. フォーカス [Focus]

 [Auto]	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、自動的にフォーカス (焦点) を調整します。
 [Near]	フォーカス (焦点) を「近 (Near)」方向に調整します。オート時は無効です。
 [O.T. AF]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、一時的に自動でフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。
 [Far]	フォーカス (焦点) を「遠 (Far)」方向に調整します。オート時は無効です。




14. コントロールパッド／ボタン

	<p>画像の水平位置・垂直位置の調整(パン・チルト)は、パッドおよびボタンを左クリックして行います。</p> <p>パッドの外側をクリックすればするほど、カメラの動作速度は速くなります。また、マウスをドラッグして調整することもできます。</p> <p>ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム(倍率)が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。</p> <p>左右方向で左半分をクリックすると、フォーカス(焦点)が近くなり、右半分をクリックすると遠くなります。マウスホイール操作でもズームを調整できます。</p>
---	--


<NOTE>

- コントロールパッドエリアからエリア外にマウスをドラッグ&ドロップすると、パンおよびチルトなどの操作が止まらなくなります。この場合、コントロールパッドエリア内でクリックすると停止します。



15. 明るさ [Brightness]

 [-]	<p>画像が暗くなります。</p> <p>オート時は無効です。</p>
 [+]	<p>画像が明るくなります。</p> <p>オート時は無効です。</p>
 [Auto]	<p>明るさ調整のオート/マニュアルを切り替えます。オート(Auto)の場合は、画像の明るさ調整を自動で行います。</p>



16. スピード [Speed]

 [Slow]	<p>パン・チルト・ズーム・フォーカス・明るさの各動作速度を切り替えます。</p>
---	---


17. プリセット [Preset]

 [Home]	<p>プルダウンメニューからプリセットポジションを選択し、[Move]ボタンをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。登録はプリセットポジション画面で行います。</p>
 [Move]	<p>プルダウンメニューで選択中のプリセットポジションへ移動します。再現内容は、[Preset Scope](→48ページ, 79ページ, 80ページ)で指定した内容です。</p> <p>プルダウンメニューで[Home]が選択されている場合は、ホームポジションへ移動します。</p> <p>このとき、[Freeze During Preset]の設定にかかわらず、ホームポジションへの移動中の出力映像はフリーズされません。</p>


18. シーン [Scene]

 [Scene 1]	<p>プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[Set]ボタンをクリックすると切り替わります。</p>
 [Set]	<p>プルダウンメニューで選択中の撮影モードに切り替わります。</p>

19. 全画面表示ボタン Windows

	<p>画像が全画面で表示されます。</p> <p>メインエリアの画像が縮小表示されている場合は、一回押すと、メインエリアで解像度どおりの画像が表示されます。解像度どおりに表示されている場合は、全画面で表示されます。ライブ画面に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピュータのキーボードの[Esc]キーを押します。</p> <p>表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。</p>
---	---

20. スナップショットボタン Windows

	<p>スナップショット(静止画1枚)を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、[Save]を選択すると、パーソナルコンピュータに画像を保存できます。また、[Print]を選択すると、プリンターに出力できます。</p>
---	--

<NOTE>

- 以下の設定が必要になることがあります。
Internet Explorerのメニューバーの[ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ]タブにある[信頼済みサイト]を選択し、[サイト]をクリックします。表示される信頼済みウィンドウの「Webサイト」にカメラのアドレスを登録してください。
- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- [JPEG transmission(1)]を[Off]に設定している場合、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。

ライブ画面 [Live] : マルチ表示モード

複数台のカメラの画像を1つの画面(マルチスクリーン)で確認します。

一度に4台あるいは16台までのカメラの画像を確認できます。

各画像のカメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画面[Live]のシングル表示モードが別ウィンドウで表示されます。

マルチスクリーンを使用するには、あらかじめマルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。

4台を1グループとして、最大4グループ(合計16台)まで登録することができます。(→83ページ)

1



4画面の場合



16画面の場合

1. Multi-Screen リストボックス (Multi-screen)

ライブ画面[Live]の表示方法を選択します。

<input type="button" value="Single"/> [Single]	接続したカメラのIP映像を表示します。
<input type="button" value="4Split 1/4 Group"/> [4Split 1/4 Group]	あらかじめマルチスクリーン設定画面[Multi-Screen](→83ページ)でマルチスクリーン表示するカメラを設定しておく、1画面で複数のIP映像を見ることができます。(マルチ表示モード)
<input type="button" value="4Split 2/4 Group"/> [4Split 2/4 Group]	
<input type="button" value="4Split 3/4 Group"/> [4Split 3/4 Group]	
<input type="button" value="4Split 4/4 Group"/> [4Split 4/4 Group]	
<input type="button" value="16Split"/> [16Split]	

<NOTE>

- マルチスクリーンで表示されるIP映像はJPEGのみです。
- IP映像はJPEGのみで音声は出力されません。
- マルチスクリーンでは、アスペクト比が[4:3]の表示枠に合わせて、縦に引き伸ばした画像になります。
- IP映像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画面[Live]からマルチスクリーンに移動することはできません。
- [JPEG transmission(1)], [JPEG transmission(2)], [JPEG transmission(3)]のいずれかを[Off]に設定していると、マルチスクリーン画面が表示されない場合があります。マルチスクリーンを使用するには、すべて[On]に設定してください。

Web画面からの設定

Web設定画面 [Setup] へのログイン

1. [Setup] ボタンをクリックする (→59ページ)

ログイン画面が表示されます。



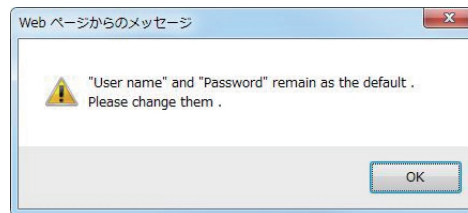
2. ユーザー名とパスワードを入力する

初期設定のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	12345

3. [OK] ボタンをクリックする

次のような画面が表示されますので、もう一度 [OK] ボタンをクリックします。



<NOTE>

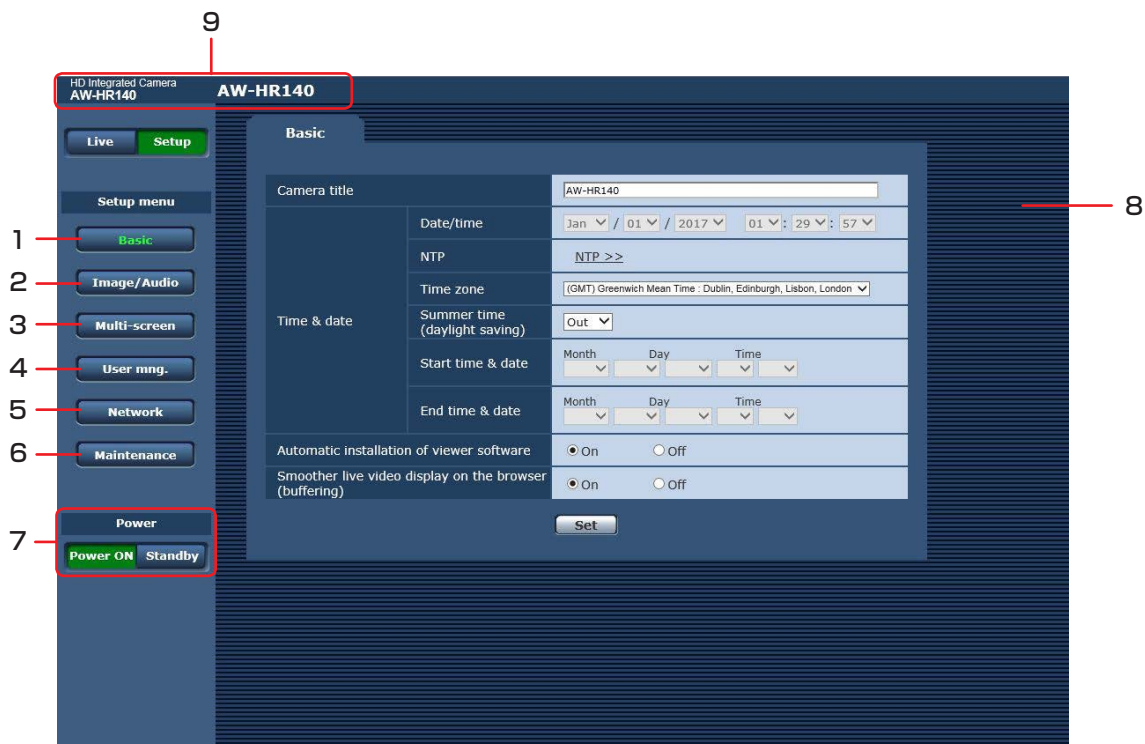
- ユーザー名とパスワードを初期設定のまま使用している間は、認証後にユーザー名・パスワードの変更を促すメッセージが表示されます。セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- Standbyモード中は [Setup] ボタンが無効になり、Web設定画面 [Setup] を表示することができません。

Web設定画面 [Setup]

本機に対して各種設定を行います。

<NOTE>

- 設定メニューは、アクセスレベルが「1. Administrator」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、84ページを参照してください。



1. Basic ボタン [Basic]

ボタンをクリックすると、基本画面 [Basic] がメインエリアに表示されます。

→ [基本画面 [Basic]] (→66ページ)

2. Image/Audio ボタン [Image/Audio]

ボタンをクリックすると、カメラ画面 [Image] がメインエリアに表示されます。

→ [カメラ画面 [Image]] (→67ページ)

3. Multi-Screen ボタン [Multi-Screen]

ボタンをクリックすると、マルチスクリーン設定画面 [Multi-Screen] がメインエリアに表示されます。

→ [マルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup]] (→83ページ)

4. User mng. ボタン [User mng.]

ボタンをクリックすると、ユーザー管理画面 [User mng.] がメインエリアに表示されます。

→ [ユーザー管理画面 [User mng.]] (→84ページ)

5. Network ボタン [Network]

ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面 [Network] がメインエリアに表示されます。

→ [ネットワーク設定画面 [Network]] (→86ページ)

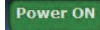

6. Maintenance ボタン [Maintenance]

ボタンをクリックすると、メンテナンス画面 [Maintenance] がメインエリアに表示されます。

→ [メンテナンス画面 [Maintenance]] (→99ページ)

7. Power ONボタン [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

 [Power ON]	本機の電源がONになります。
 [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

Standbyモードになると、ライブ画面 [Live] へ自動的に表示が切り替わります。また、ライブ画面 [Live] の [Setup] ボタンが無効になり、Web設定画面 [Setup] の全画面の操作ができません。

8. メインエリア

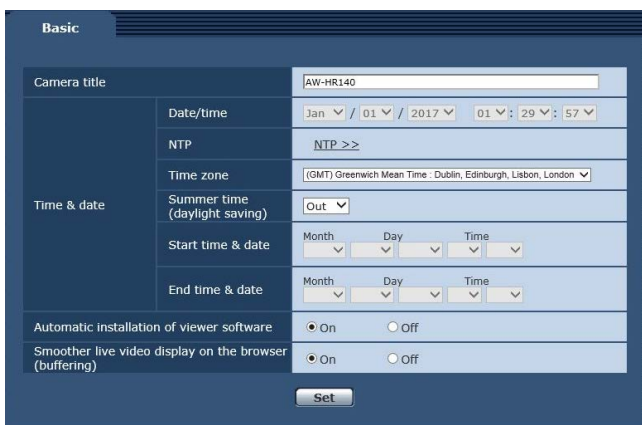
メニュー画面が表示されます。

9. カメラタイトル表示部

基本画面 [Basic] (→66ページ) で設定した本機の名称が表示されます。



基本画面 [Basic]



Camera title

本機の名称を入力します。

[Set] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品番号です。
- 半角0～20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~\

Time & date - Date/time

現在の日時時刻を入力します。

設定範囲: Jan/01/2017 00:00:00～Dec/31/2035 23:59:59

(NOTE)

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合はNTPサーバーを使用してください。

Time & date - NTP

[NTP >>] をクリックすると、ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] タブの [NTP] 設定ページに移動します。(→89ページ)

Time & date - Time zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定:

(GMT)Greenwich Mean Time: Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

Time & date - Summer time (daylight saving)

サマータイムを使用するかどうかを設定します。

サマータイムを使用する地域で設定します。

設定値:

In	時刻をサマータイムにします。
Out	サマータイムを解除します。
Auto	開始日時、終了日時設定 (月、週、曜日、時刻) に従ってサマータイム時刻に切り替えます。

工場出荷時の設定: Out

Time & date - Start time & date

Time & date - End time & date

[Summer time (daylight saving)] の設定で [Auto] を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

Automatic installation of viewer software

表示用プラグインソフトウェアの自動インストールについて設定します。

設定値:

On	表示用プラグインソフトウェアの自動インストールを行う
Off	表示用プラグインソフトウェアの自動インストールを行わない

工場出荷時の設定: On

Smoother live video display on the browser (buffering)

表示用プラグインソフトウェアで、本機の画像を表示する際の設定を行います。

設定値:

On	本機の画像を一時的にパーソナルコンピュータに蓄積し、より滑らかに表示します。
Off	本機の画像をパーソナルコンピュータに蓄積せず、リアルタイムに表示します。

工場出荷時の設定: On

(NOTE)

- 表示用プラグインソフトウェア [Network Camera View 4S] がインストールされていないパーソナルコンピュータでは、画像の表示や音声の視聴を行うことができません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、Web設定画面 [Setup] の [Maintenance] メニューの [Product info.] タブで確認できます。

カメラ画面 [Image]

■ IP映像設定タブ [Video over IP]

JPEG画像、H.264画像の設定や、画質に関する設定を行います。

Video over IP Audio Image/Position System

Initial display settings for "Live" page

Stream: H.264(1) Refresh interval (JPEG) *: 5fps Image quality (JPEG): Quality 1

Set

JPEG

JPEG(1): H.264 transmission: On, Image capture size: 1920x1080, Image quality: Quality 1 5 Normal, Quality 2 8

JPEG(2): H.264 transmission: On, Image capture size: 640x360, Image quality: Quality 1 5 Normal, Quality 2 8

JPEG(3): H.264 transmission: On, Image capture size: 320x180, Image quality: Quality 1 5 Normal, Quality 2 8

Set

H.264(1)

H.264 transmission: On, Internet mode (over HTTP): Off, Image capture size: 1920x1080, Transmission priority: Frame rate, Burst tolerance level: Low, Control time period: 24h, Frame rate: 60fps, Max bit rate (per client) *: Max 4096kbps, Min 1024kbps, Image quality: Normal, Refresh interval: 1s, Transmission type: Unicast port (AUTO), Unicast port(Image): 32004 (1024-50000), Unicast port(Audio): 33004 (1024-50000), Multicast address: 239.192.0.20, Multicast port: 37004 (1024-50000), Multicast TTL/HOPLimit: 16 (1-254)

Set

H.264(2)

H.264 transmission: On, Internet mode (over HTTP): Off, Image capture size: 640x360, Transmission priority: Frame rate, Burst tolerance level: Low, Control time period: 24h, Frame rate: 30fps, Max bit rate (per client) *: Max 1536kbps, Min 512kbps, Image quality: Normal, Refresh interval: 1s, Transmission type: Unicast port (AUTO), Unicast port(Image): 32014 (1024-50000), Unicast port(Audio): 33014 (1024-50000), Multicast address: 239.192.0.21, Multicast port: 37004 (1024-50000), Multicast TTL/HOPLimit: 16 (1-254)

Set

H.264(3)

H.264 transmission: On, Internet mode (over HTTP): Off, Image capture size: 320x180, Transmission priority: Frame rate, Burst tolerance level: Low, Control time period: 24h, Frame rate: 30fps, Max bit rate (per client) *: Max 1024kbps, Min 128kbps, Image quality: Normal, Refresh interval: 1s, Transmission type: Unicast port (AUTO), Unicast port(Image): 32024 (1024-50000), Unicast port(Audio): 33024 (1024-50000), Multicast address: 239.192.0.22, Multicast port: 37004 (1024-50000), Multicast TTL/HOPLimit: 16 (1-254)

Set

H.264(4)

H.264 transmission: On, Internet mode (over HTTP): Off, Image capture size: 160x90, Transmission priority: Frame rate, Burst tolerance level: Low, Control time period: 24h, Frame rate: 30fps, Max bit rate (per client) *: Max 512kbps, Min 128kbps, Image quality: Normal, Refresh interval: 1s, Transmission type: Unicast port (AUTO), Unicast port(Image): 32034 (1024-50000), Unicast port(Audio): 33034 (1024-50000), Multicast address: 239.192.0.23, Multicast port: 37004 (1024-50000), Multicast TTL/HOPLimit: 16 (1-254)

Set

- Initial display settings for "Live" page
ライブ画面 [Live] に表示する初期設定を行います。

Stream

ライブ画面 [Live] に表示する画像を選択します。

設定値:

H.264(1)	Windows	動画 (H.264(1)) を表示します。
H.264(2)	Windows	動画 (H.264(2)) を表示します。
H.264(3)	Windows	動画 (H.264(3)) を表示します。
H.264(4)	Windows	動画 (H.264(4)) を表示します。
JPEG(1)		静止画 (JPEG(1)) を表示します。
JPEG(2)		静止画 (JPEG(2)) を表示します。
JPEG(3)		静止画 (JPEG(3)) を表示します。

工場出荷時の設定: H.264(1)

Refresh interval (JPEG)

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

設定値:

59.94Hzのとき

1fps/2fps/3fps/5fps/6fps*1 / 10fps*1 / 15fps*1 / 30fps*1

50Hzのとき

1fps/2fps/5fps/10fps*1 / 12.5fps*1 / 25fps*1

工場出荷時の設定: 5fps

*1 [H.264 transmission]を[On]に設定している場合は、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

〈NOTE〉

- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることによって設定した値に近づけることができます。

Image quality (JPEG)

ライブ画面でJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の画質を[Quality1]、[Quality2]から設定します。

設定値:

Quality1	画質1
Quality2	画質2

工場出荷時の設定: Quality1

● JPEG

[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]の「解像度」、「画質1」、「画質2」などを設定します。H.264画像に関する設定については「H.264(1)・H.264(2)・H.264(3)・H.264(4)」(→68ページ)をお読みください。

〈NOTE〉

- JPEG(1)～JPEG(3)でそれぞれ異なる解像度を選択する必要があります。同じ解像度を別のJPEG画像で選択することはできません。

JPEG transmission

JPEG画像を配信するかどうかをOn/Offで設定します。

設定値:

On	JPEG画像を配信します。
Off	JPEG画像を配信しません。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [JPEG(1)]を[Off]に設定すると、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。
- [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]のいずれかを[Off]に設定すると、マルチスクリーン画面が表示されない場合があります。マルチスクリーンを使用するには、すべて[On]に設定してください。

Image capture size

JPEG画像を表示する際、表示する画像の解像度を以下から選択します。

設定値:

1920x1080/1280x720/640x360/320x180/160x90

工場出荷時の設定:

JPEG(1): 1920×1080

JPEG(2): 640×360

JPEG(3): 320×180

Image quality

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を2種類設定します。

設定値:

0 Super fine / 1 Fine / 2 / 3 / 4 / 5 Normal / 6 / 7 / 8 / 9 Low

工場出荷時の設定:

画質1の場合: 5 Normal

画質2の場合: 8

● H.264(1)・H.264(2)・H.264(3)・H.264(4) Windows

H.264画像の[Max bit rate (per client)]、[Image capture size]、[Image quality]などを設定します。

JPEG画像に関する設定については「JPEG」(→68ページ)をお読みください。

H.264 transmission

H.264画像を配信するかどうかをOn/Offで設定します。

設定値:

On	H.264画像を配信します。
Off	H.264画像を配信しません。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [H.264 transmission]を[On]に設定した場合は、ライブ画面[Live]でH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- [H.264 transmission]を[On]に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

Internet mode (over HTTP)

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のまままでH.264画像を配信することができます。

設定値:

On	HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については87ページをお読みください。
Off	UDPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [On]に設定すると、配信方式は[Unicast port (AUTO)]に制限されます。
- [On]に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- [On]に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- [On]に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

Image capture size

H.264画像の解像度を選択します。

選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

設定値:

H.264(1)	1920×1080 1280×720
H.264(2)	1920×1080 1280×720 640×360 320×180 160×90
H.264(3)	1280×720 640×360 320×180 160×90
H.264(4)	1280×720 640×360 320×180 160×90

工場出荷時の設定:

H.264(1): 1920×1080

H.264(2): 640×360

H.264(3): 320×180

H.264(4): 160×90

Transmission priority

H.264 画像の配信モードを設定します。

設定値:

Constant bit rate	H.264 画像を [Max bit rate (per client)] で設定したビットレートで配信します。
Frame rate	H.264 画像を [Frame rate] で設定したフレームレートで配信します。
Best effort	ネットワークの帯域に応じて、H.264 画像を [Max bit rate (per client)] で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
Advanced VBR	H.264 画像を [Frame rate] で設定したフレームレートで配信します。このとき、[Control time period] で設定した期間での配信量の平均が、[Max bit rate (per client)] で設定したビットレートになるように配信します。

工場出荷時の設定: Frame rate

(NOTE)

- [Transmission priority] を [Frame rate] または [Advanced VBR] に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

Burst tolerance level

H.264 ビットレートが、[Max bit rate (per client)] をどれだけ超えることを許容するかを選択します。

設定値:

High / Middle / Low

工場出荷時の設定: Low

(NOTE)

- [Transmission priority] で [Advanced VBR] を選択しているときのみ設定できます。

Control time period

H.264 ビットレートを制御する期間を以下から選択します。選択した期間での配信量の平均が [Max bit rate (per client)] で設定したビットレートになるように配信します。

設定値:

1h	1時間
6h	6時間
24h	1日(24時間)
1 week	1週間

工場出荷時の設定: 24h

(NOTE)

- [Transmission priority] で [Advanced VBR] を選択しているときのみ設定できます。

Frame rate

H.264 画像のフレームレートを設定します。

設定値:

59.94Hzのとき

5fps*¹ / 15fps*¹ / 30fps*¹ / 60fps*¹

50Hzのとき

5fps*¹ / 12.5fps*¹ / 25fps*¹ / 50fps*¹

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき: 30fps

50Hzのとき: 25fps

- *¹ [Frame rate] は、[Max bit rate (per client)] に制限されます。この値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

(NOTE)

- [Transmission priority] で [Frame rate] または [Advanced VBR] を選択したときのみ設定できます。
- [H.264(1)] は、60fps (59.94Hzのとき) または 50fps (50Hzのとき) の固定値になります。
[H.264(2)] ~ [H.264(4)] は、60fps (59.94Hzのとき) または 50fps (50Hzのとき) は選択できません。

Max bit rate (per client)

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。

[Transmission priority] で [Best effort] を選択している場合は、最大 (Max)、最小 (Min) を設定します。

設定値:

64kbps / 128kbps *² / 256kbps *² / 384kbps *² / 512kbps *² / 768kbps *² / 1024kbps *² / 1536kbps *² / 2048kbps *² / 3072kbps *² / 4096kbps *² / 6144kbps *² / 8192kbps *² / 10240kbps *² / 12288kbps *² / 14336kbps *² / 16384kbps *² / 20480kbps *² / 24576kbps *²

工場出荷時の設定:

H.264(1): 4096kbps

H.264(2): 1536kbps

H.264(3): 1024kbps

H.264(4): 512kbps

H.264 ビットレートは、「解像度」によって設定可能な範囲が異なります。

- 160×90の場合: 64kbps ~ 2048kbps
- 320×180、640×360の場合: 64kbps ~ 4096kbps
- 1280×720の場合: 256kbps ~ 8192kbps
- 1920×1080の場合: 512kbps ~ 14336kbps
- 1920×1080 (60fps)、1280×720 (60fps) の場合: 1024kbps ~ 24576kbps

- *² H.264 ビットレートは、ネットワーク設定画面 (Network) の [Network] タブにある [Bandwidth control (bit rate)] (→88ページ) に制限されます。この値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。

Image quality

H.264 画像の画質を選択します。

設定値:

Low (Motion priority) / Normal / Fine (Image quality priority)

工場出荷時の設定: Normal

(NOTE)

- [Transmission priority] (→69ページ) で [Constant bit rate] または [Best effort] を選択しているときのみ設定できます。

Refresh interval

H.264 画像をリフレッシュする間隔 (1フレーム間隔: 0.2~5秒) を選択します。

ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。

ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

設定値:

59.94Hzのとき

0.2s / 0.25s / 0.33s / 0.5s / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s

50Hzのとき

0.2s / 0.5s / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s

工場出荷時の設定: 1s

Transmission type

H.264 画像の配信方式を以下から選択します。

設定値:

Unicast port (AUTO)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port1 (Image)]、[Unicast port2 (Audio)]が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、[Unicast port (AUTO)]に設定することをお勧めします。
Unicast port (MANUAL)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port1 (Image)]、[Unicast port2 (Audio)]を手動で設定する必要があります。 インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター(以下、ルーター)に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください(→86ページ)。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
Multicast port	1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。 マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、[Multicast address]、[Multicast port]、[Multicast TTL/HOPLimit]を入力します。

工場出荷時の設定: Unicast port (AUTO)

(NOTE)

- 最大同時アクセス数については、59ページのNOTEをご参照ください。

Unicast port1 (Image) *1

ユニキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。

設定可能なポート番号: 1024~50000

- 偶数のみ設定可能です。
- 10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 32004
H.264(2): 32014
H.264(3): 32024
H.264(4): 32034

- *1 [Transmission type]の[Unicast port (MANUAL)]が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Unicast port2 (Audio)*1

設定可能なポート番号: 1024~50000

- 偶数のみ設定可能です。
- 10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 33004
H.264(2): 33014
H.264(3): 33024
H.264(4): 33034

- *1 [Transmission type]の[Unicast port (MANUAL)]が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Multicast address*2

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

設定可能な値:

IPv4: 224.0.0.0~239.255.255.255
IPv6: FFから始まるマルチキャストアドレス

工場出荷時の設定:

H.264(1): 239.192.0.20
H.264(2): 239.192.0.21
H.264(3): 239.192.0.22
H.264(4): 239.192.0.23

(NOTE)

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。
- *2 [Transmission type]の[Multicast port]が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

Multicast port*2

マルチキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。

設定可能なポート番号: 1024~50000

- 偶数のみ設定可能です。
- 10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 37004

(NOTE)

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を付したポート番号が使用されます。
- *2 [Transmission type]の[Multicast port]が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

Multicast TTL/HOP Limit*2

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

設定可能な値: 1~254

工場出荷時の設定: 16

(NOTE)

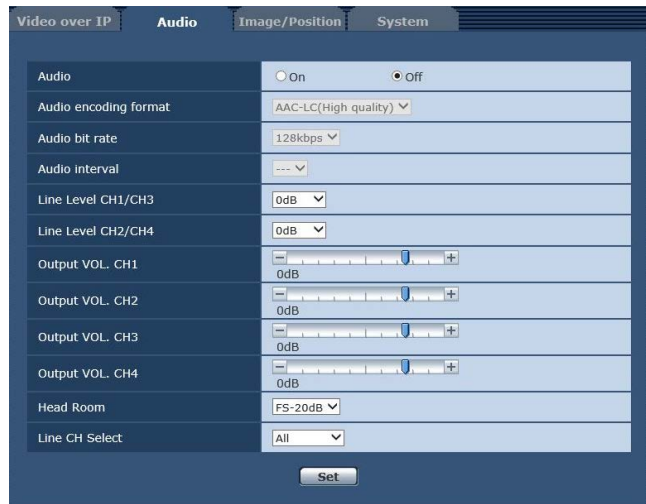
- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているパーソナルコンピューターを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使わないLANカードを無効にしてください。
- *2 [Transmission type]の[Multicast port]が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

■ 音声 [Audio]

音声に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。



Audio

本機とパーソナルコンピュータ間で音声データの配信を行うときの通信モードを設定します。

設定値:

Off	本機とパーソナルコンピュータ間で音声データの配信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
On	本機からの音声データをパーソナルコンピュータが受信します。パーソナルコンピュータで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。

工場出荷時の設定: Off

Audio encoding format

音声の圧縮方式を選択します。

設定値: G.726 / AAC-LC (High quality)

工場出荷時の設定: AAC-LC (High quality)

Audio bit rate

音声を配信するときのビットレートを設定します。

設定値:

G.726のとき

16kbps / 32kbps

AAC-LC (High quality)のとき

64kbps / 96kbps / 128kbps

工場出荷時の設定: 128kbps

Audio interval

音声の受話間隔を選択します。

設定値: 20msec / 40msec / 80msec / 160msec

工場出荷時の設定: 40msec

〈NOTE〉

- 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると遅延時間は長くなりますが、音声の途切れを抑えることができます。お使いのネットワーク環境に合わせて設定を変更してください。
- [Audio encoding format]が[G.726]のときのみ設定が可能です。

Line Level CH1/CH3

音声のライン入力 (CH1/CH3) の入力レベルを設定します。

設定値: +4dB、0dB、-20dB

工場出荷時の設定: 0dB

Line Level CH2/CH4

音声のライン入力 (CH2/CH4) の入力レベルを設定します。

設定値: +4dB、0dB、-20dB

工場出荷時の設定: 0dB

Output VOL. CH1 ~ Output VOL. CH4

音声出力 (CH1 ~ CH4) のボリュームを設定します。

設定値: -40dB ~ +12dB

工場出荷時の設定: 0dB

Head Room

音声のヘッドルームを設定します。

設定値: FS-12dB、FS-18dB、FS-20dB

工場出荷時の設定: FS-20dB

Line CH Select

音声のライン入力の出力先を選択します。

設定値:

All	CH1 ~ CH4のライン出力
CH1/CH2	CH1 と CH2のみのライン出力 (CH3とCH4は無出力*)
CH3/CH4	CH3とCH4のみのライン出力 (CH1 と CH2は無出力*)
None	CH1 ~ CH4の全てが無出力

* IPストリーミング音声は、上記の設定に依存しません。常にCH1 と CH2が有効です。

工場出荷時の設定: All

■ 画質調整/プリセットポジション画面

[Image/Position]

画質調整画面やプリセットポジション画面を表示します。

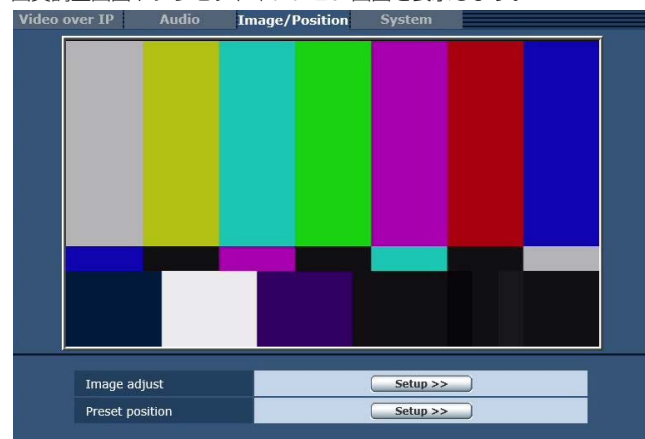


Image adjust

[Setup] ボタンをクリックすると、画質調整画面 [Image adjust] を表示します。(→72ページ)

Preset position

[Setup] ボタンをクリックすると、プリセットポジション画面 [Preset position] を表示します。(→77ページ)

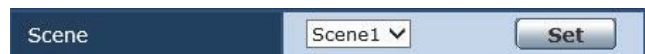
● 画質調整画面 [Image adjust]

画質の調整を行います。

画質調整画面を表示するには、画質/位置表示画面 [Image / Position] で、[Image adjust]の[Setup] ボタンをクリックしてください。

この画面の項目は、[Scene]を除き、設定内容がすぐに反映されます。

Scene



撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[Set] ボタンをクリックすると選択中の撮影モードに切り替わります。

設定値:

Scene1	撮影条件やお好みに合わせて、詳細な設定調整をマニュアル操作で行うモードです。
Scene2	
Scene3	
Scene4	

Brightness



Picture Level

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。次の自動露出補正機能のうち、いずれかが「Auto」もしくは「ELC」に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されているとき
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されているとき
- [Gain]が[Auto]に設定されているとき

設定範囲: -50 ~ +50

工場出荷時の設定: 0

Iris Mode

アイリス調整の自動/手動を選択します。

設定値:

Manual	手動でアイリス調整を行います。
Auto	[Picture Level]で設定した目標レベルになるように自動露出補正を行います。

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Iris Mode]は[Auto]に設定できません。

Shutter Mode

カメラのシャッターモードを選択します。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定値:

Off	シャッターをOFFにします。
Step	ステップシャッターの設定(段階可変)を行います。
Synchro	シンクロシャッターの設定(連続可変)を行います。
ELC	電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

工場出荷時の設定: Off

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

【Frequency設定が59.94Hzの場合】

	[Shutter Mode]項目で[Step]を選択した場合	[Shutter Mode]項目で[Synchro]を選択した場合
59.94p/ 59.94iのとき	1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	60.15Hz ~ 642.21Hz (255段階)
29.97pのとき	1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	
23.98pのとき	1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

【Frequency設定が50Hzの場合】

	[Shutter Mode]項目で[Step]を選択した場合	[Shutter Mode]項目で[Synchro]を選択した場合
50p/50iのとき	1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	50.15Hz ~ 535.71Hz (255段階)
25pのとき	1/25, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

(NOTE)

- 29.97Pモード、23.98Pモード、25Pモードでは、[Shutter Mode]で[OFF]に設定した場合はシャッター速度は[1/50]になります。

Gain

映像のゲイン調整を行います。

暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

設定範囲:

Super GainがOffのとき

Auto, 0dB ~ 36dB

Super GainがOnのとき

Auto, 0dB ~ 42dB

[Auto]に設定すると、光量を自動調整します。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

工場出荷時の設定: 0dB

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Gain]は[Auto]に設定できません。

Web画面からの設定 (つづき)

Super Gain

スーパーゲイン(感度アップ)のモードを設定します。

設定値:

Off	スーパーゲインモードにしません。
On	スーパーゲインモードにします。

工場出荷時の設定: Off

AGC Max Gain

[Gain]で[Auto]を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

設定値: 6dB / 12dB / 18dB

工場出荷時の設定: 18dB

Frame Mix

フレーム加算(センサー蓄積によるゲインアップ)の量を設定します。フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。

設定値: Off / 6dB / 12dB / 18dB / 24dB

工場出荷時の設定: Off

- ・フォーマットが1080/29.97p、1080/23.98p、1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、1080/25p、1080/25PsFのときは設定できません。
- ・[Iris Mode]、[Gain]および[Focus Mode]のいずれかが[Auto]に設定されている場合、[Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定できません。([Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定するためには、[Iris Mode]および[Focus Mode]を[Manual]に設定し、[Gain]を[Auto]以外に設定する必要があります)

<NOTE>

- ・蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが同期的に変ったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。
このようなときは、電子シャッター速度を電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。

ND Filter

レンズ内蔵のNDフィルター(減光フィルター)の透過率を設定します。

設定値:

Through	NDフィルターを設定しません。
1/8	NDフィルターの透過率を1/8に設定します。
1/64	NDフィルターの透過率を1/64に設定します。

工場出荷時の設定: Through

Day/Night

通常撮影と暗視撮影(赤外線照射による暗視撮影)を切り替えます。

設定値:

Day	通常撮影(デイモード)
Night	暗視撮影(ナイトモード)

工場出荷時の設定: Day

<NOTE>

- ・絞りは強制的に開放となります。
- ・ナイトモードでは、ホワイトバランス調整ができません。
- ・ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えができません。
- ・ナイトモードでは、[Pedestal]の調整はできません。
- ・ナイトモードでは、インテリジェント機能は動作しません。

Picture

Picture	
Chroma Level	
White Balance Mode	AWB A ▾
AWB	Execute
Color Temperature	
R Gain	
B Gain	
ABB	Execute
Pedestal	
R Pedestal	
B Pedestal	
Detail	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On
Master Detail	
V Detail Level	
Detail Band	
Noise Suppress	
Flesh Tone Noise SUP.	
Gamma Type	HD ▾
Gamma	
DRS	Off ▾
Knee Mode	<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> Manual
Knee Point	
Knee Slope	
White Clip	<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On
White Clip Level	
DNR	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> Low <input type="radio"/> High
ATW Speed	<input checked="" type="radio"/> Normal <input type="radio"/> Slow <input type="radio"/> Fast
ATW Width	5 ▾
Haze Reduction	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On
Haze Reduction Level	1 ▾

Chroma Level

映像の色の濃淡を設定します。
設定範囲: OFF、-99% ~ 40%
工場出荷時の設定: 0%

White Balance Mode

ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。
 光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。
 基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

設定値:

ATW	常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正するモードです。
AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。 [AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。

工場出荷時の設定: AWB A

AWB

自動ホワイトバランス (AWB) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。詳細は、28ページを参照してください。

Color Temperature

色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。
 [White Balance Mode]が[VAR]のときに有効です。
設定範囲: 2000K ~ 15000K
工場出荷時の設定: 3200K

R Gain

R ゲインを調整できます。
 [White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。
設定範囲: -150 ~ +150
工場出荷時の設定: 0

B Gain

B ゲインを調整できます。
 [White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。
設定範囲: -150 ~ +150
工場出荷時の設定: 0

ABB

自動ブラックバランス (ABB) を実行し、ブラックバランスがセットされます。詳細は、29ページを参照してください。

Pedestal

黒レベルの調整(ペDESTAL調整)を行います。
 マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。
設定範囲: -150 ~ +150
工場出荷時の設定: 0

R Pedestal

RペDESTALを調整できます。
 RペDESTALは、シーン共通の設定です。
設定範囲: -100 ~ +100
工場出荷時の設定: 0

B Pedestal

BペDESTALを調整できます。
 BペDESTALは、シーン共通の設定です。
設定範囲: -100 ~ +100
工場出荷時の設定: 0

Detail

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のOn/Offを設定します。
設定値: Off / On
工場出荷時の設定: On

Master Detail

映像の輪郭(映像のシャープ)を調整します。
 数値が高いほど、より輪郭が強調されます。
設定範囲: 0 ~ 62
工場出荷時の設定: 0

V Detail Level

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
設定範囲: -7 ~ +7
工場出荷時の設定: 0

Detail Band

ディテールのブースト周波数を設定します。
 高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。
設定範囲: -7(低周波数) ~ +7(高周波数)
工場出荷時の設定: 0

Noise Suppress

ディテール効果による画面ノイズを軽減します。
 設定値が大きいほどノイズが少なくなります。
設定範囲: 0 ~ 60
工場出荷時の設定: 1

Flesh Tone Noise SUP.

人の肌をなめらかに、よりきれいに映す機能です。
 設定値が大きいほど、より効果が強調されます。
設定範囲: 0 ~ 31
工場出荷時の設定: 16

Gamma Type

ガンマカーブのタイプを選択します。
設定値:

HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
FILMLIKE1	HDガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE2	[FILMLIKE1]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE3	[FILMLIKE2]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

工場出荷時の設定: HD

Gamma

ガンマ補正レベルの調整を行います。
低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。
高い値に設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。
設定範囲: 0.30 ~ 0.75
工場出荷時の設定: 0.45

DRS

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能を設定します。
[Low]、[Mid]、[High]から効果が選択できます。
シーンによっては、ノイズ感が悪くなる場合があります。
設定値: Off / Low / Mid / High
工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- DRSを有効にしているときは、二ーの設定 ([Knee Mode]、[Knee Point]、[Knee Slope])、および[Gamma Type]、[Gamma]の設定が無効になります。

Knee Mode

階調圧縮(二ー)の動作モードを設定します。
設定値:

Off	二ーをオフにします。
Auto	二ーをオンにし、二ーポイントや二ーの傾きを自動で設定します。
Manual	二ーをオンにし、二ーポイントや二ーの傾きを手動で設定します。

工場出荷時の設定: Auto

Knee Point

高輝度映像信号の圧縮レベル(二ーポイント)の位置設定を行います。
[Knee Mode]が[Manual]のときのみ有効です。
設定範囲: 70.0% ~ 107.0%
工場出荷時の設定: 93.0%

Knee Slope

二ーの傾きを設定します。
[Knee Mode]が[Manual]のときのみ有効です。
設定範囲: 0 ~ 99
工場出荷時の設定: 85

〈NOTE〉

- [DRS]を有効にしているときは、二ーの設定が無効になります。

White Clip

ホワイトクリップ機能のOff、Onを設定します。
設定値: Off / On
工場出荷時の設定: On

White Clip Level

ホワイトクリップレベルを設定します。
[White Clip]が[On]のときのみ有効です。
設定範囲: 90% ~ 109%
工場出荷時の設定: 109%
〈NOTE〉

- [Knee Mode]が[Auto]のとき、[White Clip]の値が変更されたときは、[Knee]の値も追従して変更されます。

DNR

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。
[Low]、[High]を選択すると、ノイズを除去することができます。
ただし、残像が増える場合があります。
設定値: Off / Low / High
工場出荷時の設定: Off

ATW Speed

ATW機能の制御スピードを設定します。
設定値:

Normal	通常のスピードで追従します。
Slow	[Normal]よりも遅いスピードで追従します。
Fast	[Normal]よりも速いスピードで追従します。

工場出荷時の設定: Normal

ATW Width

ATW機能で追従する色温度範囲を設定します。
数値が大きいほど、追従範囲が広がります。
工場出荷時の設定: 5

Haze Reduction

霧除去機能の有効/無効を設定します。
霧が発生してコントラストが低い被写体に対して補正を行って、映像を見やすくします。

設定値:

Off	霧除去機能を無効にします。
On	霧除去機能を有効にします。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [Haze Reduction]を[On]に設定しているときは、以下の項目の設定が変更できません。
 - Detail
 - Knee Mode
 - Gamma
 - DNR
 - DRS

Haze Reduction Level

霧除去のレベルを設定します。
数値が大きいほど、霧除去の効果が大きくなります。
設定範囲: 1 ~ 3
工場出荷時の設定: 1

● Intelligent画面 [Intelligent]

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。



Intelligent

インテリジェント機能の動作モードを設定します。
屋外での変化に対応して、映像レベルや色温度を自動で補正します。

設定値:

Off	メニューやカメラコントローラーからの設定で動作します。
On	自動露出およびオートトラッキングホワイトバランスを行います。
Lock	[On] から [Lock] にした時点で、自動露出およびオートトラッキングホワイトバランスの調整状態を保持します。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- インテリジェント機能の動作中は、ナイトモードに切り替えることができません。

Intelligent Mode

インテリジェント機能の制御項目を設定します。

設定値:

AE	アイリスで調整しきれないときに、ゲイン ([FRAME MIX] を含む) の制御、シャッターの制御、およびNDフィルターの可変による自動露出を制御します。
AE+ATW	[AE] の制御に加えて ATW も自動的に制御します。

工場出荷時の設定: AE+ATW

ND Filter Select

自動露出の動作中のNDフィルターを選択します。
自動露出の動作中は、カメラコントローラーからの制御ができません。

設定値:

Through	NDフィルターをしません。
1/8	透過率が1/8のNDフィルターを使います。
1/64	透過率が1/64のNDフィルターを使います。
Auto	NDフィルターを自動で切り替えます。

工場出荷時の設定: Auto

AGC Mode

AGC動作時の制御モードを設定します。

設定値:

Normal	AGCを最大18 dBまでゲインアップします。
Sports	AGCを最大30 dBまでゲインアップします。(FRAME MIXなし)
SN	AGCを最大42 dBまでゲインアップします。(FRAME MIXあり)

工場出荷時の設定: Normal

(NOTE)

- [SN] に設定しても、映像フォーマットが以下のフォーマットに設定されているときは、[Sports] と同じ動作になります。

1080/29.97p, 1080/23.98p, 1080/29.97PsF,
1080/23.98PsF, 1080/25p, 1080/25PsF

● マトリクス設定画面 [Matrix Settings]

マトリクスの設定を行います。
マトリクス設定画面を表示するには、画質/位置表示画面 [Image / Position] で、最下段の [Matrix Type] の [Setup] ボタンをクリックしてください。

[Matrix Type] が [User] のときのみ設定が可能です。
この画面の項目は設定内容がすぐに反映されます。



Matrix Type

カラーマトリクスタイプを選択します。

設定値:

Normal	プリセットされているカラーマトリクスデータを読み出し、彩度と色相の補正を行います。
EBU	
NTSC	
User	「Linear Matrix」と「Color Correction」の値を調整できます。

工場出荷時の設定: Normal

Linear Matrix

マトリクスタイプが「User」の場合に設定が可能です。

設定値:

R-G	各軸方向の色調整を-63 ~ +63 の範囲で行います。
R-B	
G-R	
G-B	
B-R	
B-G	

Color Correction

[Matrix Type]が「User」の場合に設定が可能です。

飽和度と色相の調整を行います。

Saturation

各色の飽和度を調整します。

設定範囲: -63 ~ +63

Phase

各色の色相を調整します。

設定範囲: -63 ~ +63

B_Mg	青とマゼンタの中間色
Mg	マゼンタ
Mg_R	マゼンタと赤の中間色
Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色
R	赤
R_R_YI	赤と黄の比率が 3:1 の色
R_YI	赤と黄の中間色
R_YI_YI	赤と黄の比率が 1:3 の色
YI	黄
YI_G	黄と緑の中間色
G	緑
G_Cy	緑とシアンの中間色
Cy	シアン
Cy_B	シアンと青の中間色
B	青

● プリセットポジション画面 [Preset position]

プリセットポジションに関する操作および調整を行います。






プリセットポジション画面を表示するには、画質/位置表示画面 [Image / Position] で、[Preset position]の[Setup]ボタンをクリックしてください。

この画面の項目は、[Preset]を除き、設定内容がすぐに反映されます。





Preset

Home	プルダウンメニューから操作したいプリセットポジションを選択します。
Set [Set]	現在の状態をプルダウンメニューで選択中のプリセットポジションへ登録します。 プルダウンメニューで[Home]が選択されている場合は無効です。
Move [Move]	プルダウンメニューで選択中のプリセットポジションへ移動します。 再現内容は、[Preset Scope](→48ページ、79ページ、80ページ)で指定した内容です。 プルダウンメニューで[Home]が選択されている場合は、ホームポジションへ移動します。 このとき、[Freeze During Preset]の設定にかかわらず、ホームポジションへの移動中の出力映像はフリーズされません。
Delete [Delete]	選択中のプリセットポジションの設定を削除します。 プルダウンメニューで[Home]が選択されている場合は無効です。




Zoom

 [-]	ズーム(倍率)を「広角」方向に調整します。
 [× 1.0]	ズーム(倍率)を1.0倍にします。
 [+]	ズーム(倍率)を「望遠」方向に調整します。
 [D-Zoom]	デジタルズームの有効/無効を設定します。
 [D-Ext]	デジタルエクステンダーの有効/無効を設定します。 デジタルズームが「無効」のときのみ動作します。


Focus

 [Near]	フォーカス(焦点)を「近」方向に調整します。 オート時は無効です。
 [O.T. AF]	フォーカス(焦点)がマニュアルのときに押すと、一時的に自動でフォーカス(焦点)を調整します。オート時は無効です。
 [Far]	フォーカス(焦点)を「遠」方向に調整します。 オート時は無効です。
 [Auto]	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。

Brightness

 [-]	画像が暗くなります。 オート時は無効です。
 [+]	画像が明るくなります。 オート時は無効です。
 [Auto]	画像の明るさ調整のオート/マニュアルを切り替えます。


コントロールパッド/ボタン

	画像の水平位置・垂直位置の調整(パン・チルト)は、パッドおよびボタンを左クリックして行います。 パッドの外側をクリックすればするほど、カメラの動作速度は速くなります。また、マウスをドラッグして調整することもできます。 ズームとフォーカスは右クリックで行います。 パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム(倍率)が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。 左右方向で左半分をクリックすると、フォーカス(焦点)が近くなり、右半分をクリックすると遠くなります。 マウスホイール操作でもズームを調整できます。
---	---

(NOTE)

- コントロールパッドエリアからエリア外にマウスをドラッグ&ドロップすると、パンおよびチルトなどの操作が止まらなくなります。この場合、コントロールパッドエリア内でクリックすると停止します。

Speed

	パン・チルト・ズーム・フォーカス・明るさの各動作速度を切り替えます。
---	------------------------------------

Speed With Zoom POS.

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。

設定値:

Off	ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなりません。
On	ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。 なお、本機能はプリセット動作には効果がありません。

Focus ADJ With PTZ.

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのズレを補正する機能をOff/Onします。

設定値:

Off	フォーカスのズレを補正しません。
On	フォーカスのズレを補正します。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
[Focus Mode]が[Manual]のときに選択できます。

Preset Setting

Preset Speed Table

プリセットスピードのテーブル(Slow, Fast)を設定します。
プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従ったPreset Speed(1~30)の値でプリセットを実行します。

設定値:

Slow	プリセットスピードのテーブルをSlowに設定します。
Fast	プリセットスピードのテーブルをFastに設定します。

Preset Speed

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときのパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。
設定範囲: 1~30

(NOTE)

- [Preset Speed]を大きな値に設定すると、停止するとき画面が揺らぐことがあります。

Preset Scope

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

設定値:

Mode A	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

Preset D-Extender

プリセットメモリーを再生したときのデジタルエクステンダー機能を選択します。

設定値:

Off	デジタルエクステンダーの値を変更しません。
On	プリセット再生時に、プリセット登録時のデジタルエクステンダーの値になるように動作します。

工場出荷時の設定: Off

Preset Zoom Mode

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

設定値:

Mode A	パン・チルトの動作に合わせてズーム動作を行います。
Mode B	パン・チルトの動作よりも速くズーム動作を行います。

工場出荷時の設定: Mode A

Freeze During Preset

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。
[On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

設定値:

Off	プリセット再生中に映像をフリーズさせません。
On	プリセット再生中に映像をフリーズさせます。

Limitation Setting

上下左右の回転台のリミット設定を行います。
まず、リミット設定したい位置まで回転台を動かしてから、リミットを設定する方向 (上下左右) を下記のボタンを押して設定します。設定したら、それぞれの項目で [Set] ボタンを押して確定します。

Tilt Up	現在の位置を上向きのリミットとして記憶します。
Tilt Down	現在の位置を下向きのリミットとして記憶します。
Pan Left	現在の位置を左向きのリミットとして記憶します。
Pan Right	現在の位置を右向きのリミットとして記憶します。
Set/Release	リミット設定の有効・無効を各方向別に設定します。

Image Save

本機の内蔵メモリーに、JPEG形式で静止画の記録および再生・削除をすることができます。

記録される静止画は5つまでで、解像度は1920x1080です。

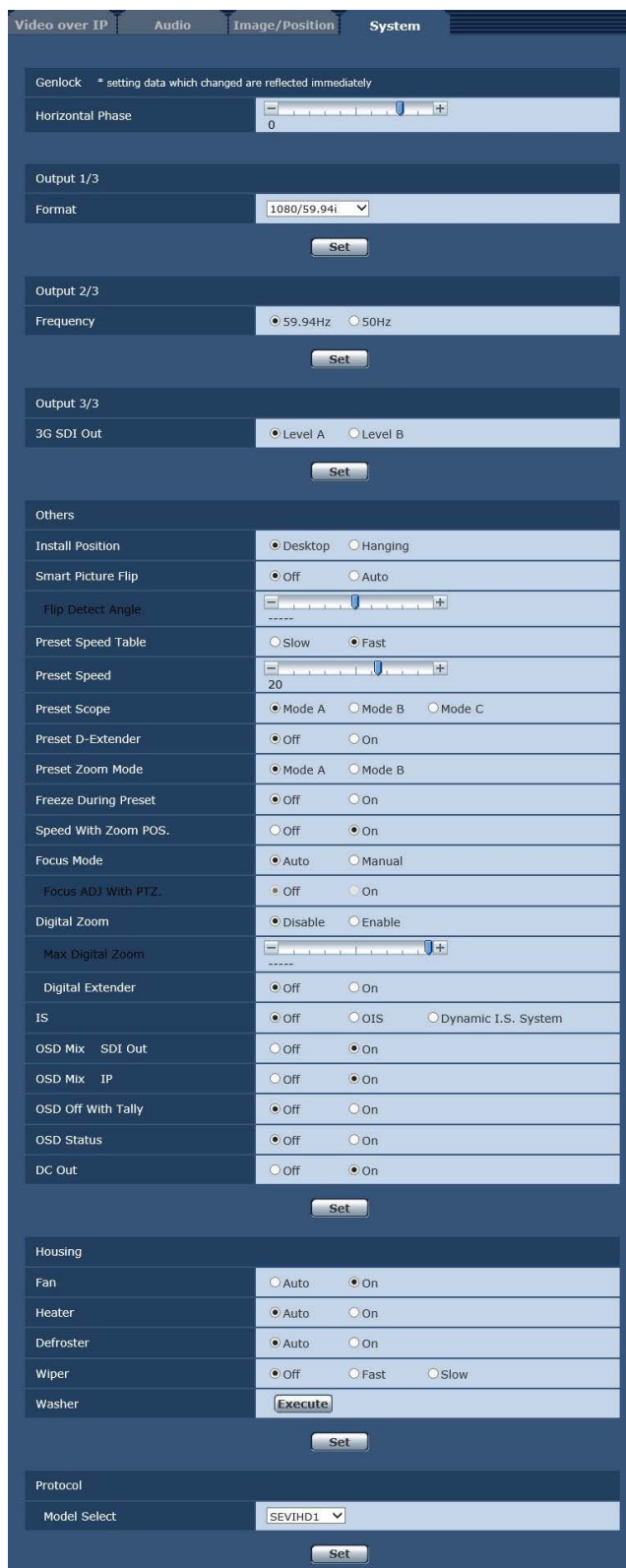
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> Image Save 01.JPG </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> Save Load Delete </div> </div>	
プルダウンメニューから操作したいファイル名 (01.JPG ~ 05.JPG) を選択します。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px;">Save</div> [Save]	選択中のファイルの静止画を記録します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px;">Load</div> [Load]	選択中のファイルの静止画を再生します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px;">Delete</div> [Delete]	選択中のファイルの静止画を削除します。

(NOTE)

- JPEG (1) の [JPEG Transmission] が [Off] の時は、静止画の記録および再生はできません。
- 指定したファイルに既に記録された静止画がある場合は、上書きされます。

■ システム設定画面 [System]

ゲンロック位相調整やカメラの出力映像の設定などに関する設定メニューです。



● Genlock

この項目は、設定内容がすぐに反映されます。

Horizontal Phase

ゲンロック時の水平位相の調整を行います。

設定範囲: -206 ~ +49

工場出荷時の設定: 0

● Output 1/3

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Format

映像フォーマットを変更します。

設定値:

59.94Hzのとき:

1080/59.94p、1080/29.97p、1080/23.98p、
1080/59.94i、1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、
720/59.94p

50Hzのとき:

1080/50p、1080/25p、1080/50i、1080/25PsF、
720/50p

工場出荷時の設定: 1080/59.94i

● Output 2/3

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Frequency

フレーム周波数を切り替えます。

設定値:

59.94Hz / 50Hz

・周波数が切り替わると、[Format] の設定が次のようになります。

59.94Hz		50Hz
1080/59.94p	↔	1080/50p
1080/29.97p	↔	1080/25p
1080/23.98p	→	1080/25p
1080/59.94i	↔	1080/50i
1080/29.97PsF	↔	1080/25PsF
1080/23.98PsF	→	1080/25PsF
720/59.94p	↔	720/50p

工場出荷時の設定: 59.94Hz

● Output 3/3

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

3G SDI Out

映像フォーマットが 1080/59.94p または 1080/50p のときに、
3G-SDI 信号を出力するときのフォーマットを選択します。

設定値:

Level A	Level A方式
Level B	Level B方式

工場出荷時の設定: Level A

● Others

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Install Position

本機の設置方法を「据え置き」または「吊り下げ」から選択します。

設定値:

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

工場出荷時の設定: Desktop

・ [Hanging] (吊り下げ) を選択した場合、映像が上下左右反転となり、
パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

Smart Picture Flip

[Auto] に設定した場合、チルトが [Flip Detect Angle] で設定した
角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

設定値:

Off	映像を上下逆転させません。
Auto	[Flip Detect Angle] で設定した角度になると、自動的に映像 を上下逆転します。

工場出荷時の設定: Off

Flip Detect Angle

[Smart Picture Flip] が [Auto] の場合に、映像を上下逆転させるチ
ルトの角度を設定します。

設定範囲: 60° ~ 120°

工場出荷時の設定: 90°

Preset Speed Table

プリセットスピードのテーブル (Slow / Fast) を設定します。
プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った Preset
Speed (1 ~ 30) の値でプリセットを実行します。

設定値: Slow / Fast

工場出荷時の設定: Fast

Preset Speed

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再
現するときのパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

設定範囲: 1 ~ 30

工場出荷時の設定: 20

・ Preset Speed を大きな値に設定すると、停止するときに画面が
揺らぐことがあります。

Preset Scope

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択しま
す。

設定値:

Mode A	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、 Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

工場出荷時の設定: Mode A

Preset D-Extender

プリセットメモリーを再生したときのデジタルエクステンダー機能を選択します。

設定値:

Off	プリセット再生時に、デジタルエクステンダーの値を変更しません。
On	プリセット再生時に、プリセット登録時のデジタルエクステンダーの値になるように動作します。

工場出荷時の設定: Off

Preset Zoom Mode

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

設定値:

Mode A	パン・チルトの動作に合わせてズーム動作を行います。
Mode B	パン・チルトの動作よりも速くズーム動作を行います。

工場出荷時の設定: Mode A

Freeze During Preset

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。
[On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: Off

Speed With Zoom POS.

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

なお、本機能はプリセット動作には効果がありません。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: On

Focus Mode

フォーカス調整(ピント合わせ)機能の自動/手動を選択します。

設定値:

Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。
Manual	フォーカスをマニュアル操作します。

工場出荷時の設定: Auto

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Focus Mode]は[Auto]に設定できません。

Focus ADJ With PTZ.

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

[Focus Mode]が[Manual]のときに選択できます。

設定値:

Off	パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正しません。
On	パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正します。

工場出荷時の設定: Off

Digital Zoom

デジタルズーム機能の無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。
[Enable]に設定した場合、最大の位置からさらにTele方向にズーム操作すると、デジタルズームを連続的に操作できます。光学ズームとデジタルズームの切り替わり位置では、ズーム操作がいったん停止しますので、ズーム操作を一度止めてから、再度ズーム操作を行ってください。

また、既にデジタルズーム領域にある状態で[Disable]に変更すると、光学ズーム最大の位置に自動的に移動します。

設定値: Disable / Enable

工場出荷時の設定: Disable

(NOTE)

デジタルズーム中にカラーバーを表示すると、デジタルズームがオフになります。

Max Digital Zoom

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

設定値:

x2 / x3 / x4 / x5 / x6 / x7 / x8 / x9 / x10

工場出荷時の設定: x10

Digital Extender

デジタルエクステンダー機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
[Digital Zoom]が[Enable]のときは、[Digital Extender]は無効になります。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: Off

IS

画揺れ補正のモードを選択します。

設定値:

Off	画揺れ補正を行いません。
OIS	光学式画揺れ補正(OIS)を行います。
Dynamic I.S. System	光学式画揺れ補正に加えて、パンチルト機構式画揺れ補正を行います。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- パンチルト動作中は、光学式画揺れ補正機能(OIS)による補正量を低下させます。

OSD Mix

カメラメニューやステータスなどの表示のOff/Onを、各出力映像ごとに選択します。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: On

SDI Out

IP

[On]に設定すると、設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

設定値:

Off	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示しません。
On	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

工場出荷時の設定: On

(NOTE)

- 表示をOFFに設定した場合でも、本機の電源をONにした後2分間は、カメラメニューを表示することができます。

OSD Off With Tally

タリー信号をコマンドまたは接点で受信した際に、カメラメニューやステータス表示を消去する機能のOff/Onを設定します。
タリー信号が解除されると、カメラメニュー表示は元に戻ります。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: Off

OSD Status

AWB およびABB 実行時のステータス表示をOff/Onします。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: Off

DC Out

本機から外部への電源出力をOff/Onします。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: On

● Housing

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Fan

冷却ファンの動作を設定します。

設定値:

Auto	冷却ファンを自動制御します。
On	冷却ファンを動作させます。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [On]に設定していても、低温時には、冷却ファンを強制的に停止させる場合があります。

Heater

ヒーターの動作を設定します。

設定値:

Auto	ヒーターを自動制御します。
On	ヒーターを動作させます。

工場出荷時の設定: Auto

〈NOTE〉

- [On]に設定していても、高温時には、ヒーターを強制的に停止させる場合があります。

Defroster

霜取り装置の動作を設定します。

設定値:

Auto	霜取り装置を自動制御します。
On	霜取り装置を動作させます。

工場出荷時の設定: Auto

〈NOTE〉

- [On]に設定していても、高温時には、霜取り装置を強制的に停止させる場合があります。

Wiper

ワイパーの動作を設定します。

設定値:

Off	停止
Fast	高速動作
Slow	低速動作

工場出荷時の設定: Off

Washer

洗浄液を噴射することにより、レンズ部の洗浄を行います。

[Execute] ボタンをクリックすると、洗浄ノズルの位置にカメラヘッドを移動して洗浄液を一定時間噴射し、その後、元の位置に戻ります。洗浄中は、ワイパーも一時的に動作します。

● Protocol

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Model Select

標準シリアル通信時のプロトコル種別を設定します。

Reserved 1～7は選択しないでください。

本機背面のMODEスイッチ (→15ページ) が、2または3 (標準プロトコル設定) のポジションのときに表示されます。

設定値:

SEVIHD1 / SBRC300 / SBRCZ330 / Reserved1～7

工場出荷時の設定: SEVIHD1

マルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup]

マルチスクリーン設定画面では、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。

Camera title

カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。

- 半角0～20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%()*+,-./:;<=>@[^_`{ }~\

工場出荷時の設定:

- Cam 1: 品番が表示されます。
- Cam 2～Cam 16: 空欄

(NOTE)

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中でしか表示されないことがあります。
- マルチスクリーンの表示は「4：3」になります。

IP address

マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ(16台)まで登録することができます。

表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。

IPv4アドレスの入力例	192.168.0.10:8080
IPv6アドレスの入力例	[2001:db8:0:0:0:0:1]:8080

工場出荷時の設定:

- Cam 1: selfcamera
- Cam 2～Cam 16: 登録なし

(NOTE)

- 表示したいカメラにHTTPSで接続することはできません。
- IPアドレスまたはホスト名に「selfcamera」と表示されているカメラは、本機が設定されています。
- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するパーソナルコンピューターのDNS設定が必要です。パーソナルコンピューターのDNS設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ユーザー管理画面 [User mng.]

ユーザー管理画面 [User mng.] では、パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピューター (IPアドレス) を制限する認証登録を行います。

ユーザー管理画面 [User mng.] は、[User auth.] タブ、[Host auth.] タブ、[Priority stream] タブで構成されています。

■ ユーザー認証設定画面 [User auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.] の [User auth.] タブをクリックします。パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。

最大24ユーザーまで登録できます。

〈NOTE〉

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピューターから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗 (認証エラー) した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

User auth.

ユーザー認証をするかどうかを On / Off で設定します。

設定値:

On	ユーザー認証をします。
Off	ユーザー認証をしません。

工場出荷時の設定: Off

Authentication

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

設定値:

Digest or Basic	ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。
Digest	ダイジェスト認証を使用します。
Basic	ベーシック認証を使用します。

工場出荷時の設定: Digest or Basic

〈NOTE〉

- [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザー を閉じて、アクセスし直してください。
- [Authentication] の設定を変更した場合、IP 接続されているリモートカメラコントローラー (AW-RP50、AW-RP120) およびリモートオペレーションパネル (AK-HRP200) は、一旦接続を解除した後、再度接続し直してください。

User name

ユーザー名を入力します。

入力可能文字数	1~32文字
入力不可文字	全角、半角記号" & ; ¥

工場出荷時の設定: 空欄

Password / Retype password

パスワードを入力します。

入力可能文字数	4~32文字
入力不可文字	全角、半角記号" &

工場出荷時の設定: 空欄

〈NOTE〉

- 登録済みのユーザー名を入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

Access level

ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。

設定値:

1. Administrator	本機のすべての操作ができます。
2. Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。
3. Live only	ライブ画面の表示のみできます。本機の操作、設定はできません。

工場出荷時の設定: 3. Live only

User check

[User check] の [▼] をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。

登録ユーザーは「登録したユーザー名 [アクセスレベル]」で表示されます。(例: admin [1])

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

■ ホスト認証設定画面 [Host auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.] の [Host auth.] タブをクリックします。本機にアクセスできるパーソナルコンピューター (IPアドレス) を制限するホスト認証設定を行います。

Host auth.

ホスト認証をするかどうかを On / Off で設定します。

設定値:

On	ホスト認証をします。
Off	ホスト認証をしません。

工場出荷時の設定: Off

IP address

本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピューターの IP アドレスを入力します。ホスト名を IP アドレスとして入力することはできません。

〈NOTE〉

- ・ [IPアドレス/サブネットのマスク長] を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピューターを制限できます。たとえば、「192.168.0.1/24」と入力し、[Access level] で [2. Camera control] を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のパーソナルコンピューターが [2. Camera control] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- ・ 登録済みの IP アドレスを入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

Access level

ホストのアクセスレベルを以下から選択します。

設定値:

1. Administrator	本機のすべての操作ができます。
2. Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。
3. Live only	ライブ画面の表示ができます。本機の操作、設定はできません。

工場出荷時の設定: 3. Live only

Host check

[Host check] の [▼] をクリックすると、登録されているホストの IP アドレスを確認できます。

ホストは「登録した IP アドレス [アクセスレベル]」で表示されます。(例: 192.168.0.21 [1])

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したホスト (IP アドレス) を削除できます。

■ 優先ストリーム設定画面 [Priority stream]

ユーザー管理ページ [User mng.] の [Priority stream] タブをクリックします。

複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。

● Priority stream

Activation

優先ストリーム配信を使用するかどうかを On / Off で設定します。

設定値:

On	優先ストリーム配信を使用します。
Off	優先ストリーム配信を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- ・ [Activation] を [On] に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

Destination IP address(1)

1 つ目の送信先の IP アドレスを入力します。

Destination IP address(2)

2 つ目の送信先の IP アドレスを入力します。

Stream Type

ストリーム種別を選択します。

設定値:

JPEG(1)	JPEG(1) 画像が配信されます。
JPEG(2)	JPEG(2) 画像が配信されます。
JPEG(3)	JPEG(3) 画像が配信されます。
H.264(1) Windows	H.264(1) 画像が配信されます。
H.264(2) Windows	H.264(2) 画像が配信されます。
H.264(3) Windows	H.264(3) 画像が配信されます。
H.264(4) Windows	H.264(4) 画像が配信されます。

工場出荷時の設定: JPEG(1)

〈NOTE〉

- ・ [H.264] の [Transmission priority] (→ 69 ページ) で [Best effort] を選択している場合、他のユーザーの接続状態により最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
Windows

Refresh interval

画像の更新速度を選択します。

[Stream Type]で[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]を選択した場合のみ有効です。

設定値:

59.94Hzのとき:

1fps/2fps/3fps/5fps/6fps*¹ /10fps*¹ /15fps*¹ /30fps*¹

50Hzのとき:

1fps/2fps/5fps/10fps*¹ /12.5fps*¹ /25fps*¹

工場出荷時の設定: 1fps

*¹ [H.264 transmission]を[On]に設定している場合、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面では、ネットワークに関する設定を行います。ネットワーク設定画面は、[Network]タブ、[Advanced]タブで構成されています。

■ ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面[Network]の[Network]タブをクリックします。

Network	
IPv4 network	
Network Settings	Static
IP address(IPv4)	192 . 168 . 0 . 10
Subnet mask	255 . 255 . 255 . 0
Default gateway	192 . 168 . 0 . 1
DNS	<input type="radio"/> Auto <input checked="" type="radio"/> Manual
Primary server address	0 . 0 . 0 . 0
Secondary server address	0 . 0 . 0 . 0
IPv6 network	
Manual	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
IP address(IPv6)	
Default gateway	
DHCPv6	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
Primary DNS server address	
Secondary DNS server address	
Common	
HTTP port	80 (1-65535)
Line speed	Auto
Max RTP packet size	<input checked="" type="radio"/> Unlimited(1500byte) <input type="radio"/> Limited(1280byte)
HTTP max segment size(MSS)	Unlimited(1460byte)
Bandwidth control(bit rate)	Unlimited
Easy IP Setup accommodate period	<input type="radio"/> 20min <input checked="" type="radio"/> Unlimited
<input type="button" value="Set"/>	
Recommended network setting for internet <input type="button" value="Set"/>	

以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ (ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合)
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス (DNSを使用する場合)

● IPv4 network

Network Settings

IPアドレスの設定方法を選択します。

設定値:

Static	IPアドレスを[IP address(IPv4)]に入力して設定します。
DHCP	DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。
Auto(AutoIP)	DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。
Auto(Advanced)	DHCP機能を利用してネットワークアドレス情報を参照し、使用していないIPアドレスを固定IPアドレスとしてカメラへ設定します。設定されるIPアドレスはサブネットマスクの範囲内でカメラが自動で決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

工場出荷時の設定: Static

<NOTE>

- [Auto (AutoIP)]で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0～169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。
- [Static]以外に設定している場合、AW-RP120からのIPアドレス自動設定(AUTO IP)、およびAW-RP50からのIPアドレス自動設定(AUTO SET IP)を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

<NOTE>

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

<NOTE>

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

DNS

DNSサーバーのアドレスを自動(Auto)で取得するか、手動で入力する(Manual)かを設定します。

[Manual]に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。DHCP機能を使用する場合は、[Auto]に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。

設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

設定値: Auto / Manual

工場出荷時の設定: Manual

Primary server address

Secondary server address

[DNS]を[Manual]で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

● IPv6 network

Manual

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn / Offで設定します。

設定値:

On	手動でIPv6アドレスを入力します。
Off	IPv6アドレスの手動入力できません。

工場出荷時の設定: Off

IP address(IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

<NOTE>

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるブリック情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

Default gateway

IPv6 networkの[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

DHCPv6

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn / Offで設定します。DHCP機能を使用しないパーソナルコンピューターと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

設定値:

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

Primary DNS server address

Secondary DNS server address

DNSサーバーのIPv6アドレスを入力します。

DNSサーバーのIPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

● Common (IPv6/IPv4共通)

HTTP port

ポート番号を個別に割り当てます。

設定範囲: 1～65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

工場出荷時の設定: 80

Line speed

データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の[Auto]のまま使用することをお勧めします。

設定値:

Auto	通信速度が自動設定されます。
100 M-Full	100 Mbps 全二重
100 M-Half	100 Mbps 半二重
10 M-Full	10 Mbps 全二重
10 M-Half	10 Mbps 半二重

工場出荷時の設定: Auto

Max RTP packet size

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。

設定値:

Unlimited(1500byte)	制限なし(1500 byte)
Limited(1280byte)	制限あり(1280 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited(1500byte)

通常は、[Unlimited(1500byte)]のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTP max segment size(MSS)

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ(MSS)を制限するかどうかを設定します。

設定値:

Unlimited(1460byte)	制限なし(1460 byte)
Limited(1280byte)	制限あり(1280 byte)
Limited(1024byte)	制限あり(1024 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited(1460byte)

通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。使用する通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)が制限されている場合は、[Limited(1024byte)]/[Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Bandwidth control (bit rate)

データの配信量を選択します。

設定値:

Unlimited / 64kbps / 128kbps / 256kbps / 384kbps / 512kbps / 768kbps / 1024kbps / 2048kbps / 4096kbps / 8192kbps

工場出荷時の設定: Unlimited

(NOTE)

- [64kbps]を選択した場合は、[Audio]を[Off]に設定してください。(→50ページ、71ページ)
- [Bandwidth control (bit rate)]を低く設定した場合、使用環境によっては、スナップショットボタンが動作しない場合があります。その場合は、ライブ画面[Live]の[Compression]ボタンで[JPEG]を選択し、最も小さい解像度を配信する状態でスナップショットを実行してください。

Easy IP Setup accommodate period

IP簡単設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20min / Unlimitedのどちらかに設定します。

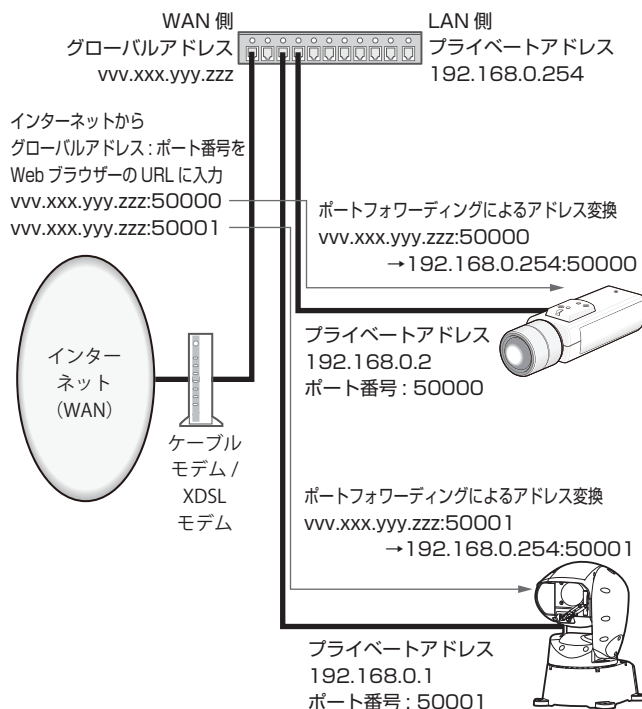
設定値:

20min	IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみに有効にします。
Unlimited	IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定: Unlimited

(NOTE)

- IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換(NAT)」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



Recommended network setting for internet

カメラをインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。

[Set] ボタンをクリックすると、設定項目の設定が変更されることが、ダイアログボックスに表示されます。確認したあとに、[OK] ボタンをクリックしてください。

• カメラ画面 [Image] の [JPEG/H.264] タブ

JPEG(1)

Image capture size : 640 × 360

JPEG(2)

Image capture size : 320 × 180

JPEG(3)

Image capture size : 160 × 90

H.264(1) ・ H.264(2) ・ H.264(3) ・ H.264(4) [Windows](#)

Internet mode (over HTTP) : On

Transmission priority : Best effort

H.264(1) [Windows](#)

Image capture size : 1280 × 720

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min1024 kbps

H.264(2) [Windows](#)

Image capture size : 640 × 360

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min128 kbps

H.264(3) [Windows](#)

Image capture size : 320 × 180

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min128 kbps

H.264(4) [Windows](#)

Image capture size : 160 × 90

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min128 kbps

• ネットワーク設定画面 (Network) の [Network] タブ

IPv6/v4 共通

Max RTP packet size : Limited(1280 byte)

HTTP max segment size(MSS) : Limited(1280 byte)

■ ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]

ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] タブをクリックします。

ここでは、NTP、UPnP、HTTPS、SNMP、RTSP機能について設定します。

各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

● NTP

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

Time adjustment

時刻の調整方法を設定します。調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。

設定値:

Manual	基本画面 [Basic] の [Date/time] で設定した時刻が、本機の標準時間として使用されます。
Synchronization with NTP server	NTPサーバーとの同期により自動的に調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

工場出荷時の設定: Synchronization with NTP server

NTP server address setting

NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

設定値:

Auto	DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
Manual	NTPサーバーアドレスを [NTP server address] に入力して設定します。

工場出荷時の設定: Manual

〈NOTE〉

- NTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] タブで [Network Settings] (→87ページ) を [DHCP]、[Auto(AutoIP)]、[Auto(Advanced)] のいずれかに設定する必要があります。

NTP server address

[NTP server address setting] で [Manual] を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数	1～128文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号: . _ -

工場出荷時の設定: 空欄

〈NOTE〉

- [NTP server address] のホスト名を入力するには、ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] タブで [DNS] の設定を行う必要があります。(→87ページ)

NTP port

NTPサーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、161、162、443、554、995、10669、10670

工場出荷時の設定: 123

Time adjustment interval

NTPサーバーから時刻を取得する間隔(1~24時間で1時間単位)を選択します。

設定範囲: 1h~24h

工場出荷時の設定: 1h

Time zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定:

(GMT)Greenwich Mean Time: Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

Summer time(daylight saving)

サマータイムを使用するかどうかを設定します。

サマータイムを使用する地域で設定します。

設定値:

In	時刻をサマータイムにします。
Out	サマータイムを解除します。
Auto	開始日時、終了日時設定(月、週、曜日、時刻)に従って、サマータイム時刻に切り替えます。

工場出荷時の設定: Out

Start time & date

End time & date

[Summer time(daylight saving)]の設定で[Auto]を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

● UPnP

本機は、UPnP(Universal Plug and Play)に対応しています。UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

- ルーターのポートフォワーディング機能を設定します。(ただし、UPnP対応のルーターが必要です)

この設定はインターネットや携帯端末からカメラにアクセスする場合に便利です。

- カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されるように設定します。



Auto port forwarding

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。

自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

設定値:

On	ルーターのポートフォワーディング機能を使用します。
Off	ルーターのポートフォワーディング機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、パーソナルコンピューターやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンス画面[Maintenance]の[Status]タブをクリックし、[UPnP]のステータスが[Enable]になっていることを確認します。(→100ページ)
[Enable]が表示されていない場合は、「故障と思ったら」の「Webブラウザからアクセスできない」(→110ページ)をお読みください。

Camera short cut

カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作るかどうかをOn/Offで設定します。

カメラのショートカットを作る場合は、[On]を選択してください。カメラへのショートカット機能を使用するには、あらかじめパーソナルコンピューターでUPnP機能を有効に設定してください。

設定値:

On	カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作ります。
Off	カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作りません。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- Windowsの「ネットワーク」フォルダーにカメラへのショートカットを表示させるには、Windowsコンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnPを有効にしてください。

Windows 7の場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[共有の詳細設定の変更]の[ネットワーク探索]の[ネットワーク探索を有効にする]を選択する→[変更の保存]をクリックする→完了

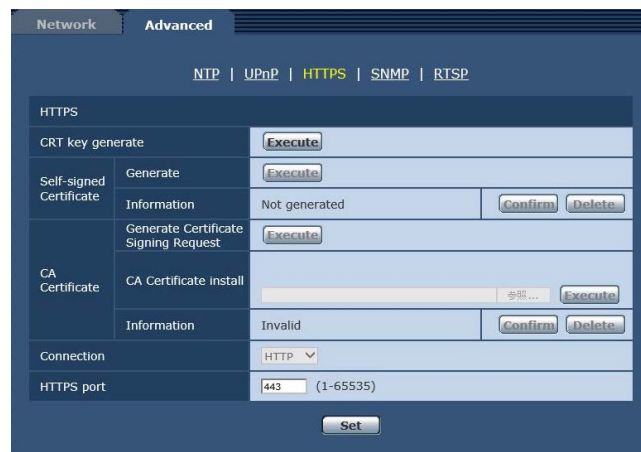
Windows 8の場合

[スタート]→[すべてのアプリ]を選択する→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[共有の詳細設定の変更]の[ネットワーク探索]の[ネットワーク探索を有効にする]を選択する→[変更の保存]をクリックする→完了

● HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

HTTPSの設定方法については、93ページを参照してください。



CRT key generate

HTTPSで使用するCRT鍵(SSL暗号化キー)を生成します。
 CRT鍵の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される「CRT鍵生成」ダイアログで行います。
 詳細は「CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成」(→94ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Generate

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。(自己証明書)
 自己証明書(セキュリティ証明書)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「自己証明書生成」ダイアログで行います。
 詳細は「自己証明書(セキュリティ証明書)の生成」(→94ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Information

自己証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。
 [Confirm]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「自己証明書確認」ダイアログに表示されます。
 [Delete]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関(CA: Certificate Authority)によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト(CSR: Certificate Signing Request)を生成します。
 署名リクエスト(CSR)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「署名リクエスト(CSR)生成」ダイアログで行います。
 詳細は「署名リクエスト(CSR)の生成」(→95ページ)を参照してください。

CA Certificate - CA Certificate install

証明機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールおよびインストールされたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報表示を行います。
 [Browse]ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開く」ダイアログで、認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のファイルを選択し、[Execute]ボタンをクリックするとサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールが実行されます。
 サーバー証明書(セキュリティ証明書)がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。
 詳細は「サーバー証明書のインストール」(→96ページ)を参照してください。

CA Certificate - Information

サーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。
 [Confirm]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「サーバー証明書確認」ダイアログに表示されます。
 サーバー証明書(セキュリティ証明書)をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト(CSR)の内容が表示されます。
 [Delete]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

<NOTE>

- 有効なサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書(セキュリティ証明書)のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書(セキュリティ証明書)が必要になります。

Connection

本機への接続方法を設定します。

設定値:

HTTP	HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS	HTTPS接続のみ可能になります。

工場出荷時の設定: HTTP

詳細は「接続方法の設定」(→96ページ)を参照してください。

<NOTE>

- HTTPS接続の場合、AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200をネットワークで接続できません。

HTTPS port

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000~61000

工場出荷時の設定: 443

<NOTE>

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合:
 HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書(セキュリティ証明書)をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→97ページ)
- サーバー証明書を使用する場合:
 あらかじめご使用のWebブラウザに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。
 ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

● SNMP

SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

The screenshot shows the 'Advanced' configuration page for SNMP. At the top, there are navigation tabs for 'Network' and 'Advanced', and a breadcrumb trail: 'NTP | UPnP | HTTPS | SNMP | RTSP'. The main content area is titled 'SNMP' and contains several input fields and radio buttons:

- SNMP version:** A dropdown menu set to 'SNMPv1/v2'.
- SNMPv1/v2:** A text input field for the 'Community' string.
- SNMPv3:** A section with three sub-fields:
 - User name:** A text input field.
 - Authentication:** Two radio buttons, 'MD5' (selected) and 'SHA1'.
 - Encryption method:** Two radio buttons, 'DES' (selected) and 'AES'.
- Password:** A text input field.
- System name:** A text input field.
- Location:** A text input field.
- Contact:** A text input field.

A 'Set' button is located at the bottom center of the configuration area.

SNMP version

有効にするSNMPバージョンを設定します。

設定値:

SNMPv1/v2	SNMPv1またはSNMPv2で動作します。いずれのバージョンで動作するかはSNMPマネージャーの動作モードで決まります。
SNMPv3	SNMPv3で動作します。SNMPマネージャーの動作モードがSNMPv3以外の場合は動作しません。
SNMPv1/v2/v3	SNMPv1、SNMPv2、SNMPv3のいずれかで動作します。いずれのバージョンで動作するかはSNMPマネージャーの動作モードで決まります。

工場出荷時の設定: SNMPv1/v2

〈NOTE〉

- SNMPv1またはSNMPv2を使用する場合は、必ず[Community]を入力してください。[Community]が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。
- SNMPv3を使用する場合は、必ず[User name]、[Authentication]、[Encryption method]、[Password]を設定してください。いずれかの項目が設定されていない場合は、SNMP機能を使用できません。
- SNMPv3動作時のみ通信が暗号化されます。

SNMPv1/v2 - Community

監視の対象となるコミュニティ名を入力します。

入力可能文字数	0~32文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

SNMPv3 - User name

ユーザー認証用のユーザー名を入力します。

ここで設定したユーザー名と同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	0~32文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

SNMPv3 - Authentication

ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。

設定値:

MD5	ユーザー認証のアルゴリズムにMD5を使用します。
SHA1	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA1を使用します。

工場出荷時の設定: MD5

SNMPv3 - Encryption method

通信で使用する暗号方式を設定します。

設定値:

DES	SNMPv3の暗号通信方式にDESを使用します。
AES	SNMPv3の暗号通信方式にAESを使用します。

工場出荷時の設定: DES

SNMPv3 - Password

ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。

ここで設定したパスワードと同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	[Authentication]を[MD5]に設定した場合: 8~16文字 [Authentication]を[SHA1]に設定した場合: 8~20文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

System name

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数	0~32文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

Location

本機を設置した場所を入力します。

入力可能文字数	0~32文字
---------	--------

工場出荷時の設定: 空欄

Contact

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

入力可能文字数	0~255文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

● RTSP

RTSP機能に関する設定を行います。RTSP機能ではIP映像配信で使用するRTSPの通信ポートおよびRTSP Request URLを設定します。



RTSP port

RTSP受信ポート番号を設定します。

設定可能ポート番号: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、995、10669、10670、59000~
61000

工場出荷時の設定: 554

RTSP Request URL (1) ~ (4)

IP映像配信要求を本機に対して行う場合に、RTSPで指定するURLの設定を行います。

RTSP Request URL (1)	H.264 (1) 画像配信用RTSP URL
RTSP Request URL (2)	H.264 (2) 画像配信用RTSP URL
RTSP Request URL (3)	H.264 (3) 画像配信用RTSP URL
RTSP Request URL (4)	H.264 (4) 画像配信用RTSP URL

工場出荷時の設定:

RTSP Request URL (1)	MediaInput/h264/stream_1
RTSP Request URL (2)	MediaInput/h264/stream_2
RTSP Request URL (3)	MediaInput/h264/stream_3
RTSP Request URL (4)	MediaInput/h264/stream_4

- 入力可能な文字数は255文字です。
- 使用可能な文字は次の通りです。

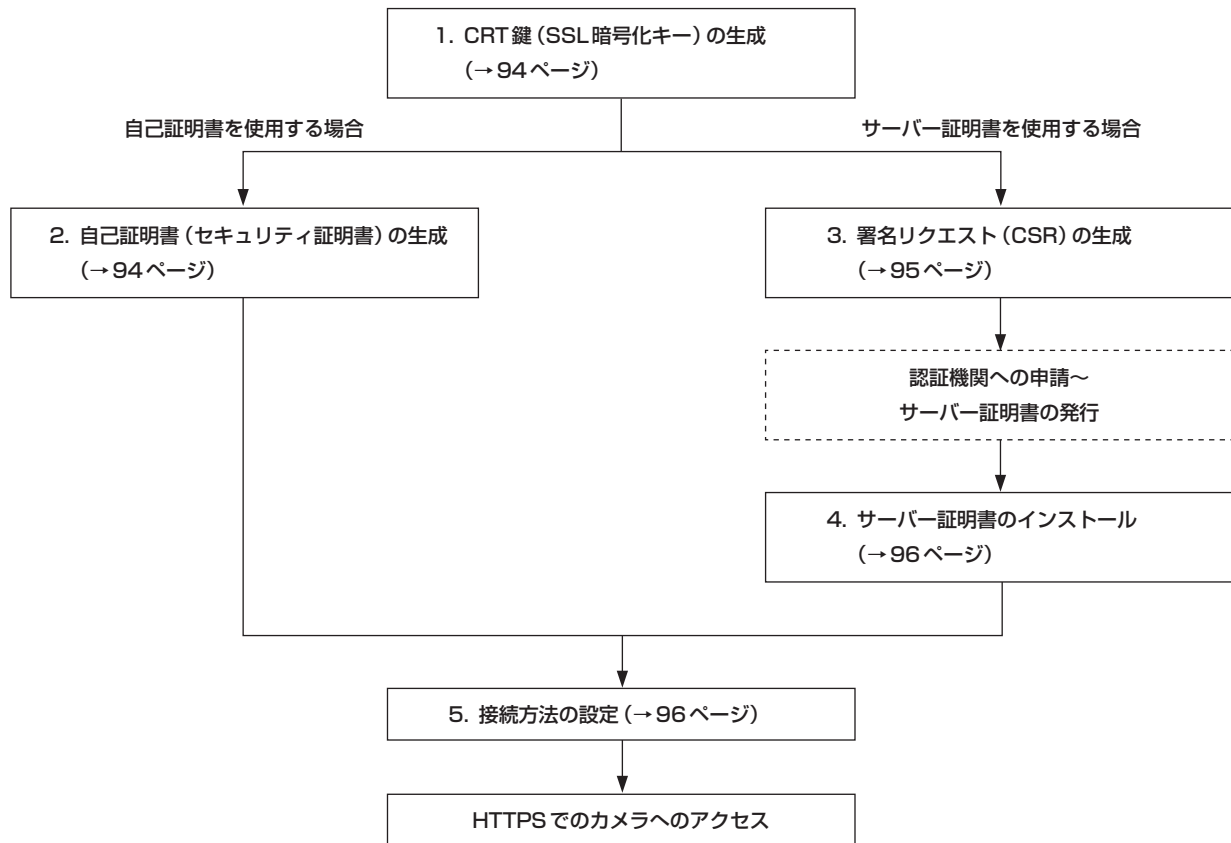
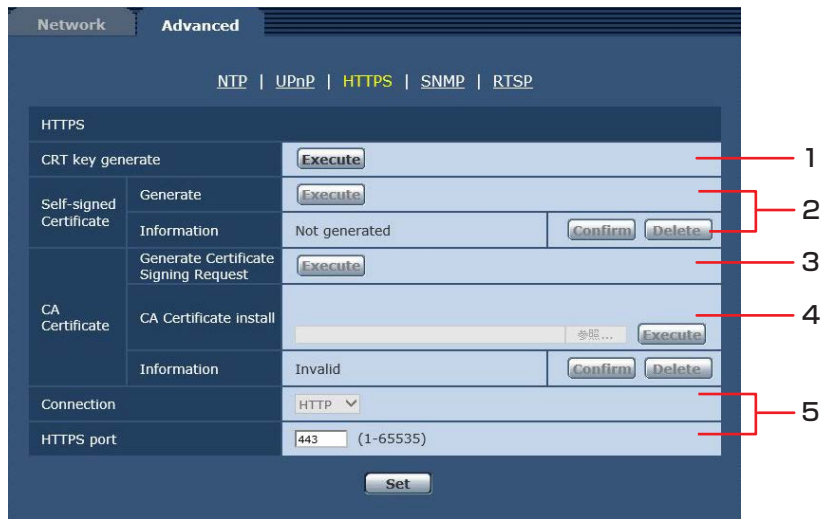
半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	/ - _

〈NOTE〉

- RTSP Request URL (1) ~ (4)に同じURLを指定することはできません。

■ HTTPSの設定方法 [HTTPS]

カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。
HTTPSの設定は次の手順で行います。



〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

■ CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成

[CRT key generate]

<NOTE>

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、Webブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1.[CRT key generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[CRT key generate]ダイアログが表示されます。

2.[CRT key generate] - [RSA key size]で、生成するCRT鍵の長さを[1024bit] / [2048bit]から選択する

<NOTE>

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3.[Execute]ボタンをクリックする

CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[Current CRT key]に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

<NOTE>

- 生成したCRT鍵を変更(更新)したい場合は、手順1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらかじめ自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。[CRT key generate]ダイアログの[Current CRT key]で[Apply]ボタンをクリックすると、[Previous CRT key]ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。

[Previous CRT key]で、[Apply]ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

■ 自己証明書(セキュリティ証明書)の生成

[Self-signed Certificate - Generate]

<NOTE>

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1.[Self-signed Certificate - Generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Self-signed Certificate - Generate]が表示されます。

2.生成する証明書の情報を入力します。

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。(省略可能)	2文字：国名コード(日本の場合：JP)
State	都道府県名を入力します。(省略可能)	128文字
Locality	市区町村名を入力します。(省略可能)	128文字
Organization	組織名を入力します。(省略可能)	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。(省略可能)	64文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

<NOTE>

- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0～9(半角)、A～Z(半角)、a～z(半角)、半角記号 - . _ + / () です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[Common Name]にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [Common Name]にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを [] で囲ってください。
例：[2001:db8::10]

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

自己証明書が生成されます。

〈NOTE〉

- 生成した自己証明書の情報は、[Self-signed Certificate] - [Information]に表示されます。自己証明書(セキュリティ証明書)の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Not generated	自己証明書が生成されていない場合
Invalid (Reason: CA Certificate installed)	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 ・この場合、サーバー証明書が有効になります。
自己証明書の[Common Name]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、[Self-signed Certificate - Confirm]ダイアログが表示されます。



- [Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。
- [Connection]で[HTTPS]が選択されている場合は、自己証明書(セキュリティ証明書)の削除を行うことはできません。

■ 署名リクエスト(CSR)の生成

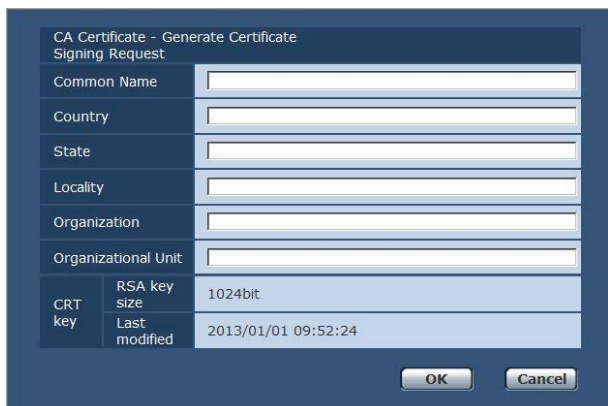
[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]

〈NOTE〉

- CRT 鍵が生成されていない場合、署名リクエスト(CSR)の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト(CSR)を生成する場合、Webブラウザのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの[ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]タブで、以下の設定を行ってください。
- カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
- [レベルのカスタマイズ]で[ダウンロード]-[ファイルのダウンロード]を[有効にする]に設定する。
- [レベルのカスタマイズ]で[ダウンロード]-[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]を[有効にする]に設定する。

1. [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]の[Execute] ボタンをクリックする

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]ダイアログが表示されます。



2. 生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
State	都道府県名を入力します。	128文字
Locality	市区町村名を入力します。	128文字
Organization	組織名を入力します。	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。	64文字
CRT key	現在のCRT 鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0~9(半角)、A~Z(半角)、a~z(半角)、半角記号 - . _ + / () です。

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

4. [名前を付けて保存]ダイアログで、署名リクエスト(CSR)にファイル名を付け、パーソナルコンピュータに保存する

保存した署名リクエスト(CSR)を使用して認証機関に申請します。

〈NOTE〉

- 生成した署名リクエスト(CSR)とCRT 鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT 鍵を生成/更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。
- 本機で生成する署名リクエスト(CSR)は、PEM形式です。

■ サーバー証明書のインストール

[CA Certificate - CA Certificate install]

<NOTE>

- 署名リクエスト (CSR) が生成されていない場合、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1.[CA Certificate - CA Certificate install] の [Browse] ボタンをクリックする

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2.サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックします。

サーバー証明書がインストールされます。

<NOTE>

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA Certificate] - [Information] に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Invalid	サーバー証明書がインストールされていない場合
サーバー証明書の [Common Name]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
Expired	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) の内容が、「CA Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。([Organizational Unit] の欄のみアスタリスクが表示されます。)



- [Delete] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、手順 1～手順 2 の操作を行います。
- 有効なサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書 (セキュリティ証明書) のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS 機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法が HTTP に変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

■ 接続方法の設定 [Connection]

1.[Connection] で、カメラへのアクセス方法を設定する

HTTP: HTTP 接続のみ可能になります。

HTTPS: HTTPS 接続のみ可能になります。

<NOTE>

- HTTPS 接続の場合、AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200 をネットワークで接続できません。

2.[HTTPS port] に、HTTPS で使用するポート番号を設定する

設定可能なポート番号: 1～65535

以下のポート番号は、本機で使用していませんので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

工場出荷時の設定: 443

3.[Set] ボタンをクリックします。

カメラが再起動し、HTTPS でカメラへのアクセスが有効になります。

<NOTE>

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。

・自己証明書を使用する場合

HTTPS でカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書 (セキュリティ証明書) をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→97ページ)

・サーバー証明書を使用する場合

あらかじめご使用の Web ブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。

- HTTPS でカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

■ HTTPS でカメラにアクセスする

1.パーソナルコンピューターでWeb ブラウザーを起動します。

2.カメラのIPアドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力します。

入力例: https://192.168.0.10/

<NOTE>

- HTTPS ポートの番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラのIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例: https://192.168.0.11:61443
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー (メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]) からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3.[Enter] キーを押します。

ライブ画面が表示されます。

セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。(→97ページ)

[User auth.] を [On] に設定した場合、ライブ画面が表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

<NOTE>

- HTTPS を使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔 (フレームレート) も遅くなる可能性があります。

● セキュリティ証明書のインストール

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスすることにセキュリティの警告画面が表示されません。

〈NOTE〉

- [Common Name]に設定している内容でセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされます。そのため、「ホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス/ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスすることにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス/ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、[Common Name]には、インターネットからアクセスするアドレス/ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたWebブラウザのアドレスボックスに鍵のアイコンが表示されます。(Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0の場合)
- Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合、一部画面が異なります。

1.HTTPSでカメラにアクセスする

2.セキュリティ警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続ける(推奨されません)。]をクリックする



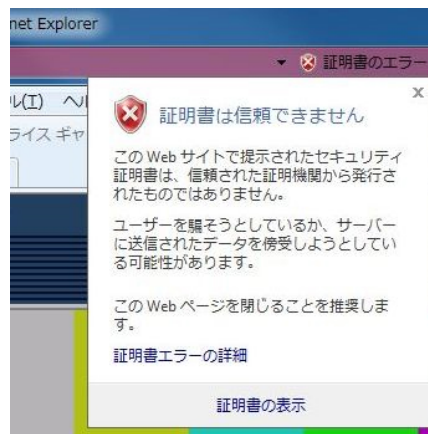
ライブ画面が表示されます。

なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

〈NOTE〉

- カメラ以外の機器/サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3.URL上の [証明書のエラー] をクリックし、[証明書の表示] をクリックする



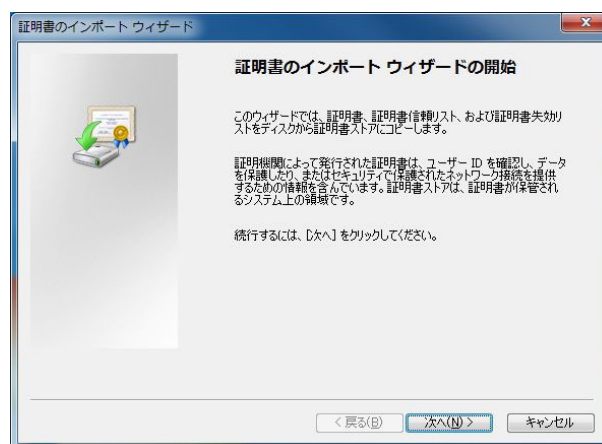
4.[証明書のインストール(I)...] をクリックする



〈NOTE〉

- [証明書のインストール(I)...]が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、[管理者として実行(A)...]を選択し起動してください。
[スタート] - [プログラム] - [Internet Explorer] を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。
- Windows 8、Windows 8.1の場合、C: ¥Program Files ¥Internet Explorer以下にある [iexplore] を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。

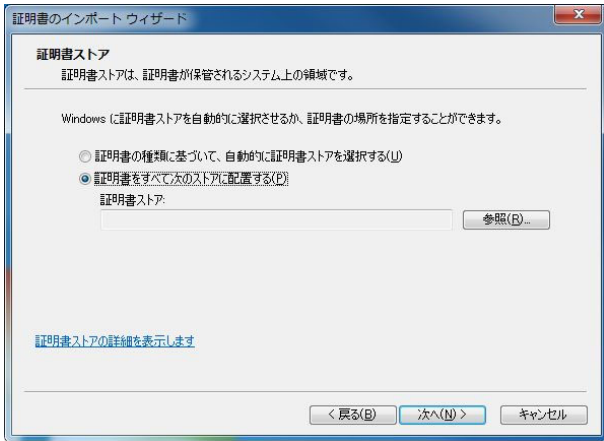
5.証明書のインポートウィザードに表示される [次へ] をクリックする



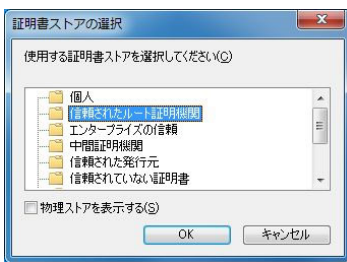
〈NOTE〉

- Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合、[保存場所]を選択して、[次へ]をクリックしてください。

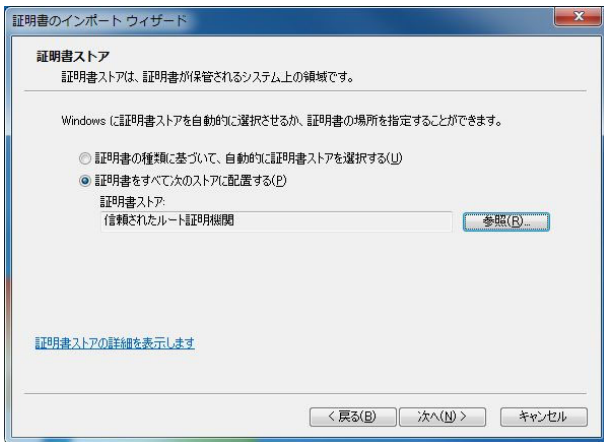
6. [証明書]をすべて次のストアに配置する (P)]を選択し、[参照 (R)...]をクリックする



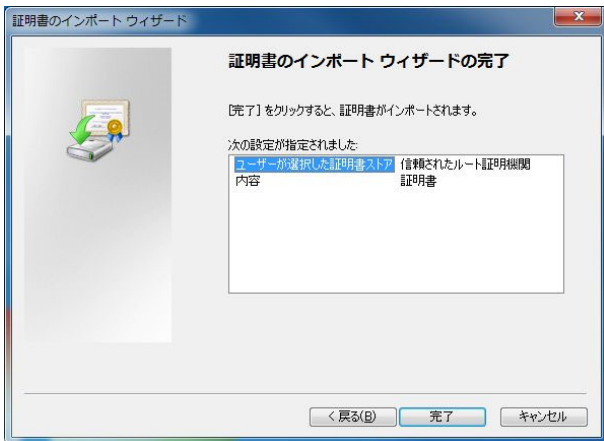
7. [信頼されたルート]の証明機関]を選択し、[OK]をクリックする



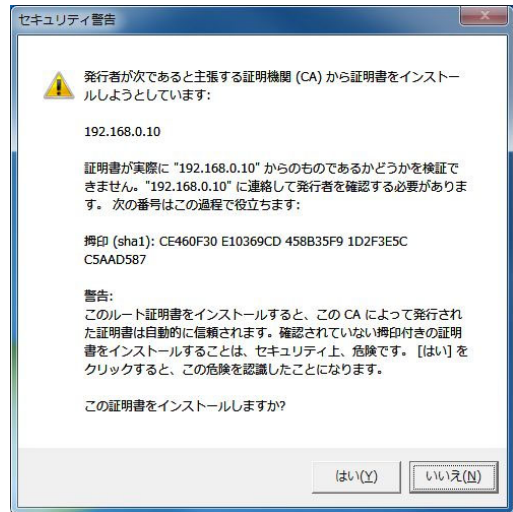
8. [次へ]をクリックする



9. [完了]をクリックします。



10. [はい]をクリックします。



インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11. [OK]をクリックします。



証明書をインポートしたあと Web ブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

メンテナンス画面 [Maintenance]

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。

[System log]、[Product info.]、[Status]、[Default reset]、[Back up]の5つのタブで構成されています

■ システムログ画面 [System log]

本機の内部メモリーに最大30000件までシステムログを保存できます。

保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

本機の電源を切っても、ログは保存されます。

《NOTE》

- システムログ画面で確認できる件数は最大100件です。それ以上はCGIコマンドでログを取得して確認できます。

No	Time & date	Description
1	Jan/01/2017 00:00:38	login admin 192.168.0.200
2	Jan/01/2017 00:00:38	login failed admin 192.168.0.200
3	Jan/01/2017 00:00:34	h264 ch1 Stop unknown 192.168.0.200
4	Jan/01/2017 00:00:31	h264 ch1 Play unknown 192.168.0.200
5	Jan/01/2017 00:00:26	login failed admin 192.168.0.200

No

システムログの通し番号が表示されます。

Time & date

ログの発生日時が表示されます。

ログの発生日時は、24 時間形式で表示されます。

Description

システムログの内容が表示されます。

各システムログの詳細な内容については、106ページを参照してください。

■ 製品情報確認画面 [Product info.]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。

[Model no.]、[MAC address]、[Firmware version]など本機の各情報が表示されます。

Model no.		AW-HR140	
MAC address		A8-13-74-76-00-00	
Firmware version	CPU Software	Interface	V01.00
		Camera Main	V01.00
	EEPROM	Servo	V01.00
		Network	V01.00
FPGA	Lens	Interface	V01.00
		AVIO	V01.00
		Com	V01.00
Viewer software installation counter		0	
Firmware file <input type="text"/> 参照... <input type="button" value="Execute"/>			
Status Select the firmware file (.sif / .scm / .spt / .snw / .eep / .fts / .fav / .fco) .			

Model no.

本機の品番が表示されます。

MAC address

本機のMAC アドレスが表示されます。

Firmware version

CPU Software - Interface

インターフェース部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software - Camera Main

カメラ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software - Servo

サーボ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software - Network

ネットワーク部のソフトバージョンを表示します。

EEPROM - Interface

インターフェース部の設定データのバージョンを表示します。

FPGA - Lens

レンズ部のFPGA バージョンを表示します。

FPGA - AVIO

AV制御部のFPGA バージョンを表示します。

FPGA - Com

通信部のFPGA バージョンを表示します。

Viewer software installation counter

本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

Firmware file

ファームウェアのアップデートを行います。

アップデートの方法については、「ファームウェアのアップデート」(→100ページ)をご参照ください。

Status

本機の現在の状態を表示します。

●ファームウェアのアップデート

以下の手順で、ファームウェアのアップデートを行ってください。

1. お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをパーソナルコンピュータのハードディスクにダウンロードする

〈NOTE〉

- 保存ディレクトリーには、スペース・全角文字は使用できません。
- 保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。

2. [参照] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する

3. [Execute] ボタンをクリックする

アップデート実行の確認画面が表示されます。

アップデートを行った後は、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

〈NOTE〉

- ファームウェアのアップデートは、必ずアップデート対象の機器と同じネットワーク (LAN) 内にあるパーソナルコンピュータから実施してください。

〈NOTE〉

- [Execute] ボタンを押した後、アップデート処理中を示すプログレスバーが表示されるまで、AVIO FPGAの場合で約1分、Networkソフトの場合で約2分の時間がかかります。その他のファームウェアの場合は、1分以内でプログレスバーが表示されます。
- アップデートは、本機と同じサブネット内にあるパーソナルコンピュータで行ってください。
- アップデート用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認くださいのうえ、その指示に従ってください。
- アップデート時に使用するソフトウェアは、当社指定の下記ファイルを使用してください。

CPU Software Interface	.sif ファイル
CPU Software Camera Main	.scm ファイル
CPU Software Servo	.spt ファイル
CPU Software Network	.snw ファイル
EEPROM Interface	.eep ファイル
FPGA Lens	.fls ファイル
FPGA AVIO	.fav ファイル
FPGA Com	.fco ファイル

- アップデート中は、本機の電源を切らないでください。(プログレスバー表示が消えるまで)
- アップデート中は、アップデートが終了するまで一切の操作を行わないでください。

■ステータス確認画面 [Status]

本機のステータスを確認することができます。



●UPnP

Port number (HTTP)

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

Status

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

Port number (HTTPS)

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

Status

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

Router global address

ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

■ 初期化画面 [Default reset]

本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。



Reset to the default (Except the network settings)

[Execute] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。

ログイン用のユーザー名およびパスワードも初期値 (admin/12345)に戻ります。

初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

<NOTE>

- 次の設定項目は初期化されません。
 - [IPv4 network] 以下のすべての項目
 - [IPv6 network] 以下のすべての項目
 - [HTTP port]
 - [HTTPS - Connection]
 - [HTTPS - HTTPS port]
 - HTTPS : CRT 鍵、サーバー証明書
 - [UPnP] 以下のすべての項目
 - [Line speed]
 - [Bandwidth control(bit rate)]
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。
- [Format]、[Frequency]、[Install Position]の設定は、初期化されません。

Reboot

[Execute] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。

再起動後は、本機の電源をONしたときと同様、約2分間操作できません。

■ バックアップ画面 [Back up]

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存したり、パーソナルコンピュータに保存してある設定を本機に適用することができます。



Config data type

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存する際の設定データの種別を指定します。

設定値:

Camera	カメラの設定内容
Network	ネットワークの設定内容

Download

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存します。

[Execute] ボタンで保存先ダイアログ画面を表示したら、保存先のフォルダーを指定します。

[Config data type] で [Camera] を選択した場合に保存される設定は、下記の通りです。

- Scene Scene1 の設定内容
- Scene Scene2 の設定内容
- Scene Scene3 の設定内容
- Scene Scene4 の設定内容
- System の設定内容 ([Install Position]以外)
- Preset の設定内容

<NOTE>

- [Execute] ボタンをクリックしてから保存先ダイアログ画面が表示されるまで、カメラの設定ファイルの場合で約10秒、ネットワークの設定ファイルの場合で約20秒かかります。

Upload

ダウンロード機能でパーソナルコンピュータに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[参照] ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Execute] ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。アップロード完了後にメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、本機は自動的に再起動します。

<NOTE>

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
また、ダウンロードしたファイルの拡張子 (.odt / .ndt) は変更しないでください。
- ダウンロード/アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ダウンロード/アップロード中は、ダウンロード/アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約2分かかります。

携帯端末による Web 画面表示

携帯端末から本機に接続し、本機の画像 (MJPEG形式のみ) を表示します。自動で最新画像に更新されます。

携帯端末からパン、チルト、ズームなどの操作を行うこともできます。

〈NOTE〉

- 対応OSとWebブラウザに関する最新情報については、下記のWebサイトのサポートデスクをご覧ください。
日本語: <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語: <https://pro-av.panasonic.net/>
- Android端末では標準のWebブラウザを使用してください。
- Android端末の標準のWebブラウザでは、JPEG形式のみの表示になります。
- 認証ダイアログが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。
初期設定のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	12345

セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。(→84ページ)

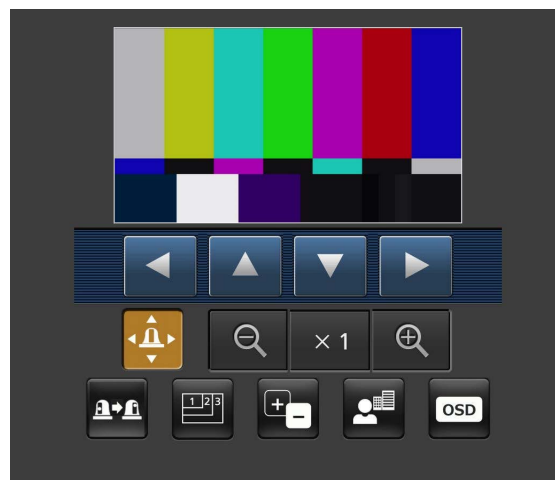
- [User auth.](→84ページ)が[On]に設定されており、アクセスレベルが[3. Live only]に設定されているユーザーが本画面を表示した場合には、下記のボタンは表示されません。
 - パン/チルト
 - ズーム
 - プリセット
 - アイリス
 - フォーカス
 - カメラメニュー (OSD メニュー) 操作
- 携帯端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に文字を表示することができません。
- 本機にAndroid端末を同時に複数台接続すると、動作が不安定になる場合があります。

1. 携帯端末で「http://IP アドレス/mobile/」*1 を入力し、決定ボタンを押す

本機の画像が表示されます。

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

パン/チルト



このボタンを押すと、パン/チルトを操作するためのボタンが画面上に表示されます。

	カメラを左方向へパンします。
	カメラを上方向へチルトします。
	カメラを下方向へチルトします。
	カメラを右方向へパンします。


〈NOTE〉

- パンボタンとチルトボタンを同時に押しても、斜め動作はできません。(先に押されたボタンが優先になります。)

ズーム





本機のズーム操作を行います。


	ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。
	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
	ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。

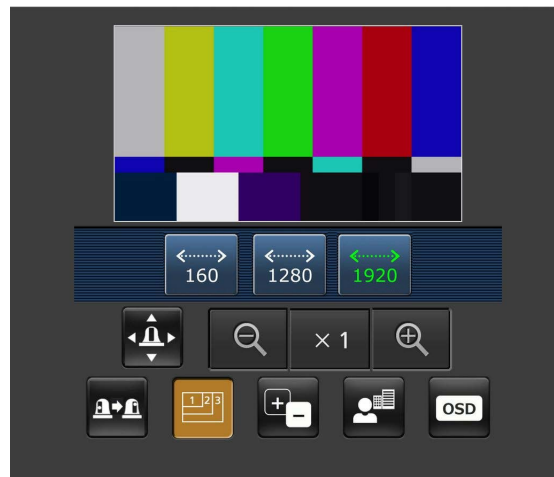
プリセット 



このボタンを押すと、プリセットポジションを選択するためのボタンが画面上に表示されます。






	
	表示されたボタンを選択すると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラのパン/チルト位置が移動します。
	再現内容は、[Preset Scope](→48ページ, 79ページ, 80ページ)で指定した内容です。
	

解像度切り替え 



このボタンを押すと、解像度を選択するためのボタンが画面上に表示されます。

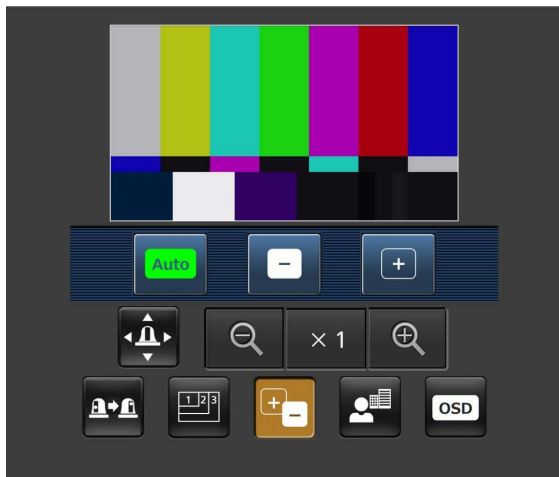
現在選択中の解像度ボタンは、文字色が緑色で表示されます。
[Video over IP] タブの[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]で設定されている解像度が表示されます。

	1920 × 1080ドットで画像を表示します。
	1280 × 720ドットで画像を表示します。
	640 × 360ドットで画像を表示します。
	320 × 180ドットで画像を表示します。
	160 × 90ドットで画像を表示します。




〈NOTE〉


- [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]に設定している解像度によっては、「解像度切り替え」ができないことがあります。

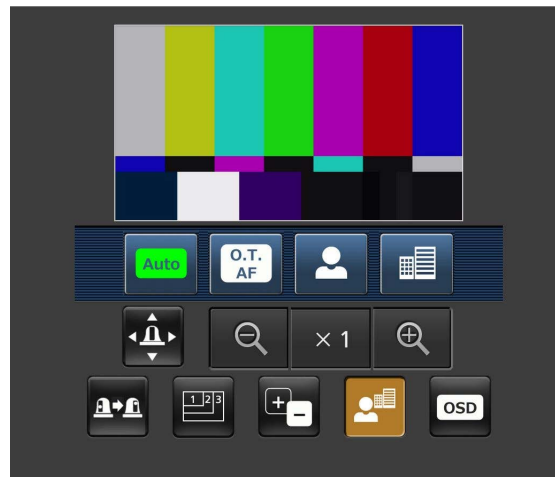
アイリス 







このボタンを押すと、アイリス操作をするためのボタンが画面上に表示されます。

	アイリスのオート/マニュアルを切り替えます。オート設定の場合、ボタンのラベル色が緑色になります。
	アイリスを「閉じる」方へ調整します。オート時は無効です。
	アイリスを「開く」方へ調整します。オート時は無効です。

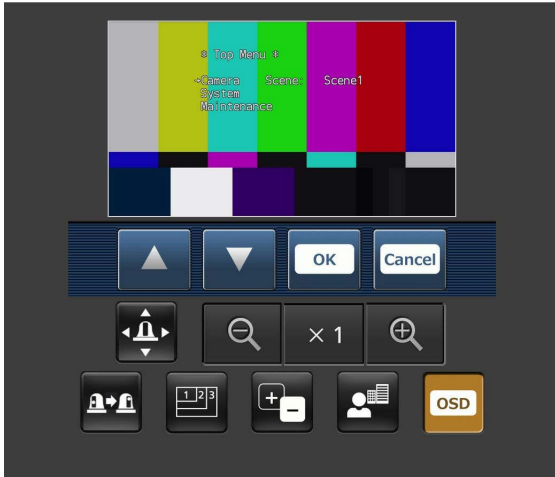
フォーカス 








このボタンを押すと、フォーカス进行操作するためのボタンが画面上に表示されます。

	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。オート設定の場合、自動的にフォーカス(焦点)を調整します。また、オート設定の場合、ボタンのラベル色が緑色になります。
	フォーカス(焦点)がマニュアルのときに押すと、一時的に自動でフォーカス(焦点)を調整します。オート時は無効です。
	フォーカス(焦点)を「近」方向に調整します。オート時は無効です。
	フォーカス(焦点)を「遠」方向に調整します。オート時は無効です。

カメラメニュー(OSD メニュー)操作 



このボタンを押すと、カメラメニュー操作をするためのボタンが画面上に表示されます。
同時に、本機の画像にもカメラメニューが表示されます。

	<p> ボタンを押して、本機のカメラメニューの操作ができます。 これらのボタンを押してカメラメニュー以外の操作に切り替わると、本機の画像へのカメラメニュー表示も終了します。カメラメニューの詳細については、54ページを参照してください。</p>
	
	
	

タリーランプ点灯状態表示

接続中のカメラのタリー信号の状態を定期的にチェックし、表示が更新されます。
タリー信号を受信している場合、IP映像表示エリア枠が赤に変わります。
タリー信号の受信が解除されると、元に戻ります。

(NOTE)

- タリー信号の状態の変化が携帯端末の表示に反映されるまで、2 秒程度かかる場合があります。

(NOTE)

- HTTP ポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://IP アドレス: ポート番号/mobile/」*1 を入力して、本機のポート番号を指定してください。
- ネットワーク設定画面[Network]の[Advanced]タブの[HTTPS] - [Connection](→91ページ)で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
https://IPアドレス:ポート番号/mobile
- 認証ダイアログが表示された場合は、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。
携帯端末によっては、画面が切り替わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯端末からは、音声の受信はできません。
- 携帯端末画面を表示中に、パーソナルコンピュータから[User auth.](→84ページ)を[On]に変更した場合には、携帯端末画面の更新ができなくなることがあります。このようなときは、携帯端末で起動中の Web ブラウザーを一旦終了させた後、携帯端末画面を再度開き直してください。
- 画像のサイズが大きい場合、携帯端末によっては画像の表示ができないことがあります。このような場合には、[JPEG]の[Image quality](→68ページ)を低画質に近づけると、表示されることがあります。
- お使いの携帯端末および契約プランによっては、アクセスできない場合があります。
- Android 端末の場合、複数のボタンを同時に押すと、ボタンを離しても押された状態のままになることがあります。このようなときは、押された状態のままになっているボタンのみを再度押して解除してください。
例) パン(右)ボタンとパン(左)ボタンを同時に押すと、ボタンを離してもパン(右)ボタンまたはパン(左)ボタンのいずれか一方のボタンが押された状態のままとなり、パン動作が止まらない
→ 押された状態になっているボタン(パン(右)ボタンまたはパン(左)ボタン)を再度押すと、パン動作は止まります。

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN 側のグローバルIPアドレスです。
ただし、無線接続対応の携帯端末で同じLAN 内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

システムログ表示について

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	内容詳細
接続エラー	No response from the NTP server.	<ul style="list-style-type: none">サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	Undefined error.	<ul style="list-style-type: none">NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	NTP update succeeded.	<ul style="list-style-type: none">時刻修正が成功しました。

HTTPSに関するログ表示

分類	表示内容	内容詳細
HTTPS	Self-signed Certificate - Generated	<ul style="list-style-type: none">自己証明書の生成が完了しました。
	Self-signed Certificate - Deleted	<ul style="list-style-type: none">自己証明書を削除が完了しました。
	Certificate Signing Request - Generated	<ul style="list-style-type: none">署名リクエストの生成が完了しました。
	CA Certificate - Installed	<ul style="list-style-type: none">サーバー証明書のインストールが完了しました。
	CA Certificate - Deleted	<ul style="list-style-type: none">サーバー証明書の削除が完了しました。
	Previous CRT key - Applied	<ul style="list-style-type: none">CRT鍵として過去のCRT鍵を適用しました。
	CRT key - Generated	<ul style="list-style-type: none">CRT鍵の生成が完了しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	(ユーザー名またはIPアドレス)	<ul style="list-style-type: none">ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

アクセスコマンドに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
映像配信要求	jpeg ch[番号] Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">jpeg配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	jpeg Stop [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">jpeg配信停止要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	mjpeg ch[番号] Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">mjpeg配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	h264 ch[番号] Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">h264配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	h264 ch[番号] Stop [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">h264配信停止要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
音声配信要求	audio Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">音声配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	audio Stop [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">音声配信停止要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
その他CGIコマンド	[CGIコマンド] [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">特定のCGIコマンドを実行したユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。ただし、すべてのCGIコマンドが実行毎に表示されるわけではありません。

リミッターについて

本機には、パン・チルトの可動範囲を制限する設定（リミッター）があります。

設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、リモートカメラが接触する場合があります。

このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより、接触を防ぐことができます。

リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左限・右限の4か所が設定できます。

一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。

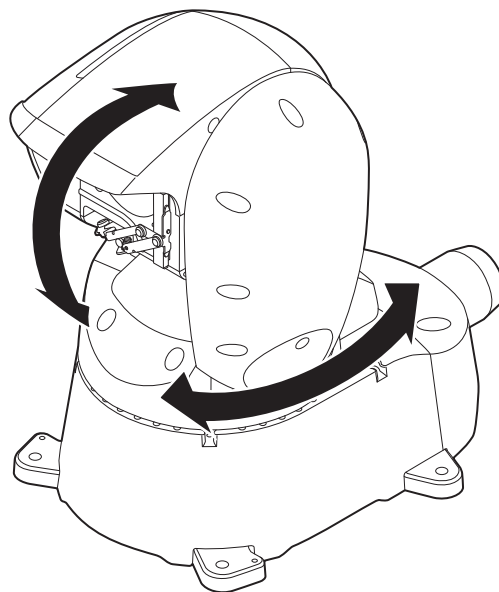
リミッターの設定と解除は、コントローラーまたはWeb設定画面 [Setup] で行うことができます。

最後に行った設定または解除が優先されます。

コントローラーの操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

〈NOTE〉

- ウォッシャー液で洗浄する位置よりも内側にリミッターを設定した場合、ウォッシャーの動作を行いません。
- ウォッシャー機能を使う場合は、ウォッシャー位置の変更が必要になります。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



セーフモード

セーフモードについて

本機は、回転台(パン・チルト)が外力によって強制的に動かされたり、回転が阻害されたりしたときにセーフモードになります。セーフモードになると、安全確保および機器の損傷を防止するために、一部またはすべての操作を受け付けなくなります。

機器の異常検知について

本機が異常を検知した場合、機能を停止して再起動、または初期設定動作を行い、30秒程度で通常状態に復帰します。

〈NOTE〉

- ・異常検知すると、映像が出力されなくなることがありますが、5秒～10秒で復帰します。

故障と思ったら

■ 操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが正しく接続されていますか？ 	---
	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルがIP制御用LAN端子<LINK/ACT>に確実に接続されていますか？ 	P.14
	<ul style="list-style-type: none"> PoE++(IEEE802.3bt Draft ver.2.0 準拠) 対応の給電装置と本機のネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 	施工説明書
	<ul style="list-style-type: none"> 複数のPoE++ 端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると、電源給電されないものがあります。 → PoE++ 給電装置の取扱説明書をお読みください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。 	施工説明書
操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 電源は入っていますか？ → 電源を入れた直後には、パン・チルト・ズーム・フォーカスの各テスト動作が行われます。 これらの動作が行われない場合は、本機に電源が正しく供給されていません。 	P.23
	<ul style="list-style-type: none"> セーフモード機能がはたらいている場合があります。 	P.108
	<ul style="list-style-type: none"> リミッター機能を設定していませんか？ 	P.107
	<ul style="list-style-type: none"> 操作したい本機を正しく選んでいますか？ 	P.23
コントローラーで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> コントローラーと正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。 	施工説明書
	<ul style="list-style-type: none"> AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200をネットワークで接続する場合は、ユーザー認証とホスト認証をOFFにする必要があります。 	P.84、P.85
	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応するためにコントローラーのアップデートが必要です。 → アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。 https://panasonic.biz/cns/sav/ 	---
	<ul style="list-style-type: none"> HTTPS 接続の場合、AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200をネットワークで接続できません。 	P.91、P.96
操作と逆方向に回転する	<ul style="list-style-type: none"> 据え置き設定は正しく選択されていますか？ 	P.48、P.80
	<ul style="list-style-type: none"> コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。 	---

症 状	原因・対策	参照ページ
Web ブラウザーからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • IP制御用LAN端子<LINK/ACT>にカテゴリ5以上のLANケーブルは接続されていますか？ 	施工説明書
	<ul style="list-style-type: none"> • IP制御用LAN端子<LINK/ACT>の<LINK> LEDは点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LANに正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LANケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	施工説明書
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源は入っていますか？ → 電源を入れた直後には、パン・チルト・ズーム・フォーカスの各テスト動作が行われます。 これらの動作が行われない場合は、本機に電源が正しく供給されていません。 	P.23
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？ 	P.85
	<ul style="list-style-type: none"> • 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 【Windows の場合】 Windowsのコマンドプロンプトで > ping [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 【Mac の場合】 OS X のターミナルで > ping -c 10 [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	P.96
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本機およびアクセス機器 (パーソナルコンピューター・携帯端末・コントローラーなど)、他のカメラのIP アドレスを確認してください。 	P.52
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ → 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	P.52
	<ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ (本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合) → Web ブラウザーの[プロキシ設定]でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機のIP アドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 	---
<ul style="list-style-type: none"> • 本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていますか？ (本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合) → 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	P.52	

症 状	原因・対策	参照ページ
Web 設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピュータのキーボードの [F5] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 <p>[Mac の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピュータのキーボードの [Command] + [R] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 <p>[Windows の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、「閲覧の履歴」の [削除] ボタンをクリックする。 [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 <p>[Mac の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> Safari で [Safari] - [キャッシュを空にする] を選択する。 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。 	---
	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンの確認」が「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、Web 設定画面がうまく表示されないことがあります。 <p>→ 以下の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、「閲覧の履歴」の [設定] ボタンをクリックする。 [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンの確認] の [Web サイトを表示するたびに確認する] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 <p>→ 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。</p>	---
設定ファイルのダウンロードができない	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？ <p>→ 以下の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [セキュリティ] タブをクリックし、「このゾーンのセキュリティのレベル」の [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 [セキュリティ設定] ダイアログボックスで、[ファイルのダウンロード] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 [Internet Explorer 8 のみ] [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 	---
パーソナルコンピュータや外部機器からの制御が不安定になる	<ul style="list-style-type: none"> Android 端末が 2 台以上接続されていませんか？ <p>→ Android 端末では、本機に同時接続できる台数は 1 台のみです。</p>	---
認証画面が連続して表示される	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ <p>→ 本機にアクセス中に、別の Web ブラウザーでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたりするたびに、認証画面が表示されます。Web ブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。</p>	P.84
	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？ <p>→ [User auth.] - [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。</p>	P.84

症 状	原因・対策	参照ページ
画面表示に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ → プロキシを経由しないようにWebブラウザの設定を行ってください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照していませんか？ → 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP映像の更新速度が遅くなったりする場合があります。 	---
携帯端末からカメラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • URLが間違っている、または、URLの最後に「/mobile」が未入力になっていませんか？ → URLが正しく入力されているか確認してください。携帯端末から本機にアクセスする場合は、パーソナルコンピューターからアクセスするとき使用するURLの最後に「/mobile」と入力する必要があります。 	P.102
	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末のHTTPSのSSL暗号方式が本機と異なっていませんか？ → 本機の[HTTPS] - [Connection]を[HTTP]に設定して、再度アクセスしてください。 	P.91
	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	P.105
パーソナルコンピューターの[ネットワーク]にカメラのショートカットアイコンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • UPnPのWindowsコンポーネントが追加されていますか？ → お使いのパーソナルコンピューターに、UPnPのWindowsコンポーネントを追加してください。 	P.90

■ 映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	• 接続した機器と正しく接続されていますか？	施工説明書
	• 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	P.23
	• 映像信号設定は正しく選択されていますか？	P.47、P.80
	• 設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していますか？	P.14
映像が上下逆になる	• 据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.48、P.80
複数の色の帯(カラーバー)が表示される	• カメラ映像に切り替えてください。	P.26
メニュー画面が表示される	• カメラメニューを終了してください。	P.30~P.37
メニュー画面が表示されない	• SDI OUT 2端子からの出力は、OSDの表示ができません。 SDI OUT 1/PM端子からの出力を使用してください。	---
自動でフォーカスが合わない	• フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。	P.26
	• 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。	P.27
マニュアルフォーカスのとき、 ズーミングでフォーカスが合わない	• テレ端でフォーカスは調整されましたか？ → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズーミングしてください。	---
	• 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。	P.26
ナイトモードでフォーカスが合わない	• 可視光で撮影していませんか？ → 可視光と赤外線では屈折率の違いによりフォーカス位置が異なります。本機では、ナイトモード時は波長900 nm付近の赤外線を想定しています。 必要に応じてマニュアル調整を実施してください。	P.27
1080/59.94pで映像が出力されない	• Format設定で[59.94p]に設定されていますか？ → Format 設定をしてください。	P.47、P.80
1080/29.97PsF 時に映像が カクカクした感じに見える	• 正常に動作しています。 → PsF(Progressive segmented Frame)方式では、1フィールドと2フィールドの両方に同じ画を収録することでプログレッシブと同様の映像を出力しますので、若干カクカクした感じに見えることがあります。	---
映像の色がおかしい	• ATW(自動追尾式ホワイト調整)を有効にしてください。	P.28
	• 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。	P.28
映像が明るすぎる、または暗すぎる	• アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。	P.27
	• アナログ映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。	---
映像が白黒になる	• ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードでは出力は白黒になります。	P.40、P.73
ホワイトバランス自動調整(AWB)ができない	• ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードではホワイトバランス自動調整(AWB)はできません。	P.40、P.73

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
ナイトモードで画面が明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ナイトモードでは、盗撮防止のため絞りは開放に設定されます。光源側で明るさを調整してください。 	P.27
ナイトモードでアイリスが操作できない		
被写体がゆがんで見える	<ul style="list-style-type: none"> 本機はMOS撮像素子を使用しており、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、被写体がすばやく横切った場合、ゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	<ul style="list-style-type: none"> MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。 	---
明るさが周期的に変わったり、色が変化したり、横じまが流れて見えたりする	<ul style="list-style-type: none"> 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。(フリッカー) このようなときは電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。 	---
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	<ul style="list-style-type: none"> 撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。 	---
音声入力にノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - カメラ、スイッチングハブ、周辺機器のアースが接地されていない - 電力線などが近くに配線されている - 周辺に、強い電界や磁界を発生する機器がある(テレビやラジオの送信アンテナ、エアコンのモーター、電源トランスなど) 周辺機器の見直しで改善されない場合は、アンプ付きマイクを使用するか、出力インピーダンスの低いオーディオ出力を接続してください。 	P.6

■ IP映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が表示されない	【Windows の場合】 ・表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ → 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	P.22
	【Windows の場合】 ・インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンの確認」が「Webサイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、ライブ画面 [Live] のIP映像が表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[設定]ボタンをクリックする。 ③ [インターネット一時ファイルと履歴の設定]ダイアログボックスで、「保存しているページの新しいバージョンの確認」の[Webサイトを表示するたびに確認する]ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。	---
画像がぼやける	・フォーカスは正しく調節されていますか？ → フォーカス調節を確認してください。	---
画像が更新されない	・ご使用のWeb ブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 ・ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。 ・本機のIP映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まる場合があります。 → マルチスクリーン表示を含む、本機へのアクセス状況を確認し、中断可能なアクセスを停止してください。 その後、以下の手順を確認してください。 【Windowsの場合】 パーソナルコンピューターのキーボードの[F5]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【Macの場合】 パーソナルコンピューターのキーボードの[Command] + [R]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【携帯端末の場合】 WEB ブラウザーの[更新]ボタンを押すなどして画面の更新を実施し、設定値の取得要求を行ってください。	---
画像がうまく更新されない、表示されない	・以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 【Windowsの場合】 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[削除]ボタンをクリックする。 ③ [閲覧の履歴の削除]ダイアログボックスで、「インターネット一時ファイル」チェックボックスをオンにして[削除]ボタンをクリックする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。 【Macの場合】 ① Safariで[Safari] - [キャッシュを空にする]を選択する。 ② 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの[空にする]ボタンをクリックする。	---
	・以下の手順で、Wi-Fiの再設定を行ってください。 【携帯端末 (iOS) の場合】 [設定]アイコン - [一般] - [リセット]から、[ネットワーク設定をリセット]を実行後、新たにWi-Fi設定を行ってください。	---
	・ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---
H.264画像が表示されない	・表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	---
	・インターネット経由でカメラとパーソナルコンピューターを接続していませんか？ → [Internet mode (over HTTP)]の設定を[On]にします。	P.68

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れる場合があります。 → ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れる場合があります。 → インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピューター側で同一のものにすることで回避できる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	---
携帯端末で、しばらく放置すると画面が暗くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末の省電力機能がONになっていませんか？ → 携帯端末の省電力機能をOFFにして、常に画像が表示されるようにしてください。 	---
複数のWeb ブラウザーを起動してH.264画像を表示したとき、1つのWeb ブラウザーに複数のカメラ画像が切り替わり表示される	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> • パーソナルコンピューターのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 → この現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 それでも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 <p>ここでは、Windows 7を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから[画面の解像度]を選択する ② [詳細設定]をクリックする ③ [トラブルシューティング]タブを選択し、[設定の変更]をクリックする ④ [ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックする(管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードおよび、必要に応じてユーザー名も入力し、[はい]をクリックする) ⑤ [ハードウェアアクセラレータ]の項目を一番左の[なし]に変更し、[OK]ボタンをクリックする 	---

■ Web画面

お使いのパーソナルコンピュータのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

【Windowsの場合】

下記の説明で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerに表示されるメッセージバーのことです。

Internet Explorer 9.0/10.0/11.0の場合：

「情報バー」は、Internet Explorerの下方に表示されます。



症 状	原因・対策	参照ページ
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [許可 (A)] を選択してください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報バーをクリックし、[このサイトのポップアップを常に許可 (A)…] を選択してください。「このサイトのポップアップを許可しますか？」画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcV4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [インストール (I)] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります：'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcV4SSetup.exe' をインストールするには、ここをクリックしてください…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報バーをクリックし、[ActiveXコントロールのインストール (C)…] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>IP映像が表示用の枠と一致していない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → パーソナルコンピュータ画面上で右クリックし、「画面の解像度」-「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「小-100%(規定)」に設定してください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorerのズーム機能における拡大レベルが100%以外に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → Internet Explorerのメニューバーから「表示 (V)」-「拡大 (Z)」を選択し、「100%」をクリックしてください。 	---
<p>画面レイアウトが崩れている、または画面の一部のボタンが操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorerのメニューバーから「ツール (T)」-「互換表示設定 (B)」を選択し、本機を互換表示しないように設定してください。 	---

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品 8年

当社では、HDインテグレートッドカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。


■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	HDインテグレートッドカメラ
品番	AW-HR140
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

電源電圧: DC (==) 12 V - 21.8 V (DC IN端子)
DC (==) 42 V - 57 V (PoE++電源)
消費電流: 5.5 A - 3.1 A (DC IN端子)
1.2 A (PoE++電源)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : -15℃～45℃
(-5℃以下のときは予熱が必要)

動作周囲湿度 : 10%～100%(結露なきこと)

保存温度 : -20℃～55℃

保存湿度 : 10%～95%(結露なきこと)

質量 : 約9.0 kg

寸法(幅 × 高さ × 奥行)
: 258 mm × 357 mm × 397 mm
(突起部とケーブルカバーを含む)

仕上げ : シルバー、耐塩害処理

防水・防塵性 : JIS C0920保護等級IP65準拠

最大許容風速 : 15m/秒: 正常動作、50m/秒: 動作可能、
60m/秒: 非破壊

ワイパー : 標準搭載

ヒーター : 標準搭載

デフロスター : 標準搭載

対応コントローラー
: AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200
・コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

■ 入力

入力端子

12V == IN : XLRコネクター
・DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。
12 V入力時: 最長3 m (AWG16コード使用時)
21.8 V入力時: 最長20 m (AWG16コード使用時)

G/L IN : BNCコネクター
・BBS(Black Burst Syno)、3値同期に対応。
・BBSでは、サブキャリアにはロックしません。

音声入力 : mini XLRコネクター (Line入力)
#1: INPUT1 Common、#2: INPUT1 HOT、
#3: INPUT1 COLD、#4: INPUT2 Common、
#5: INPUT2 HOT、#6: INPUT2 COLD

■ 出力

映像出力

HD-SDI OUT : SMPTE424/SMPTE292準拠
75 Ω (BNC × 2)
・SDI OUT 1/PM端子からはOSD出力が可能です
が、SDI OUT 2端子からはOSD出力ができません。

■ 入出力

入出力端子

LAN : IP制御/映像出力/PoE++給電用LAN端子
PoE++(IEEE802.3bt Draft ver.2.0準拠)

RS-422 : CONTROL IN RS-422A

EXT : DC 12 V/0.5 A
#1: DC GND、#2: HOT、#3: COLD、
#4: 12V-OUT
・[12V-OUT] (4番ピン)に接続するコードの長さは、AWG24のコードを使用されるときで0.5 mまでです。
0.5 mよりも長くする場合は、さらに太いコードを使用してください。

■ 機能/性能

【カメラ部】

撮像素子 : 1/2.86型Full-HD 3MOS

レンズ : 光学20倍ズーム/デジタルズーム10倍
F1.6～F3.4
(f=4.5 mm～90 mm
35 mm換算: 32.13 mm～642.5 mm)

フォーカス : オート/マニュアル切り替え

フォーカス距離 : ズーム全域: 800 mm
Wide端 : 400 mm

色分解光学系 : 3MOS

最低照度 : 2 lx(50 IRE、F1.6、36 dB、蓄積なし)

水平解像度 : 1000 TV本Typ (中心部)

ゲイン切り替え : Auto、0 dB～42 dB (1 dBステップ)
37 dB～42 dBは、Super Gain Mode

フレームミックス : 0 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB
・1080/29.97p、1080/23.98p、
1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、
1080/25p、1080/25PsFフォーマットのときは設定できません。
・[Iris Mode]や[Focus Mode]が[Auto]に設定されているときは、18 dBと24 dBに設定することができません。

定 格 (つづき)

電子シャッター :

- 59.94p/59.94i時
1/100、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
- 29.97p時
1/30、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
- 23.98p時
1/24、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
- 50p/50i時
1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000、1/4000、1/10000
- 25p時
1/25、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000

シンクロスキャン :

- 59.94 Hz時
60.15 Hz ~ 642.21 Hz (255段階)
- 50 Hzの時
50.15 Hz ~ 535.71 Hz (255段階)

ガンマ : HD、FILMLIKE1、FILMLIKE2、FILMLIKE3
0.30 ~ 0.75 (マニュアル設定)

ホワイトバランス

: AWB A、AWB B、ATW、3200K、5600K、
VAR (2000K ~ 15000K)

クロマ量可変 : OFF、-99% ~ 40%

シーンファイル : Scene1、Scene2、Scene3、Scene4

インテリジェント機能 :

蓄積/ゲイン/アイリス/電子シャッター/ND/
ATWの各オート機能

出力フォーマット :

1080/59.94p、1080/29.97p*1、
1080/23.98p*2、1080/59.94i、
1080/29.97PsF*3、1080/23.98PsF*3、
720/59.94p、1080/50p、1080/25p*1、
1080/50i、1080/25PsF*3、720/50p

*1 Native出力

*2 Over59.94i出力

*3 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示さ
れる場合があります。また、1080/23.98PsFと
29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示され
る場合があります。

同期方式 : 内部/外部同期 (BBS/3値同期)

ライン入力<AUDIO IN(1/2)>

入力インピーダンス : ハイインピーダンス

入力 :

- 2 ch、XLR平衡入力
- 入力信号レベル : +4 dBu/0 dBu/-20 dBu (メニューにて選択)
- ボリューム可変範囲 : -40 dB ~ +12 dB (1 dBステップ ;
MENUにて可変)

出力 :

- 4 ch、SDI出力に重畳
- エンベデッドオーディオ出力レベル :
FS-12 dB : -12 dBFS、FS-18 dB : -18 dBFS、
FS-20 dB : -20 dBFS (MENUにて選択)
- サンプリング周波数 : 48kHz (ビデオに同期)
- 量子化ビット数 : 24ビット (LPCM)
- 音声の圧縮方式 (IP) : G.726、AAC-LC (High quality)

【回転台部】

据付方法 : 据え置きまたは吊り下げ
• 安全のため、指定の取付金具にて
固定が必要です。

カメラ/回転台コントロール :

IP接続ケーブル	• PoE++イーサネットハブありの場合 LANケーブル*4 (カテゴリー5e以上、スト レートケーブル) 最大100 m • PoE++イーサネットハブなしの場合 LANケーブル*4 (カテゴリー5以上、スト レートケーブル) 最大100 m
AWシリーズ接続 ケーブル/標準プロ トコル接続ケーブル	LANケーブル*4 (カテゴリー5以上、ストレー トケーブル) 最大1000 m

*4 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

• イーサネットハブを介さずにコントローラーと直接接続する
場合は、クロスケーブルを使用してください。

PAN/TILT動作スピード :

最高速度60°/s以上

PAN動作範囲 : ±175°

- 吊り下げ設置時は、動作範囲を固定するピンの位
置を変更する必要があります。
詳しくは、「回転範囲の切り替え (吊り下げ設置)」
(→施工説明書)を参照してください。

TILT動作範囲 : -30° ~ 210°

- PAN、TILTの位置によっては、本体が映像に映り
こむことがあります。
- 吊り下げ設置時は、動作範囲を固定するピンの位
置を変更する必要があります。
詳しくは、「回転範囲の切り替え (吊り下げ設置)」
(→施工説明書)を参照してください。

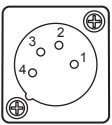
静粛性 : 60°/s (NC45以下)

防振補正 : D.I.S.S. (Dynamic Image Stabilizing System)


本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。


== DC (直流)

■ コネクタ信号の内容


12V IN		
1	GND	 HA16RA-4P (77) ヒロセ電機製
2	—	
3	—	
4	+12V	


- DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。
12 V入力時：最長3 m (AWG16コード使用時)
21.8 V入力時：最長20 m (AWG16コード使用時)

LAN		
1	TX+	 RJ-45 6116173-1 タイコ エレクトロニクス製
2	TX-	
3	RX+	
4	SPARE_RX+	
5	SPARE_RX-	
6	RX-	
7	SPARE_TX+	
8	SPARE_TX-	

RS-422		
1	GND	 RJ-45 TM11R-5M2-88 ヒロセ電機製
2	TALLY	
3	RXD-	
4	TXD-	
5	TXD+	
6	RXD+	
7	—	
8	—	

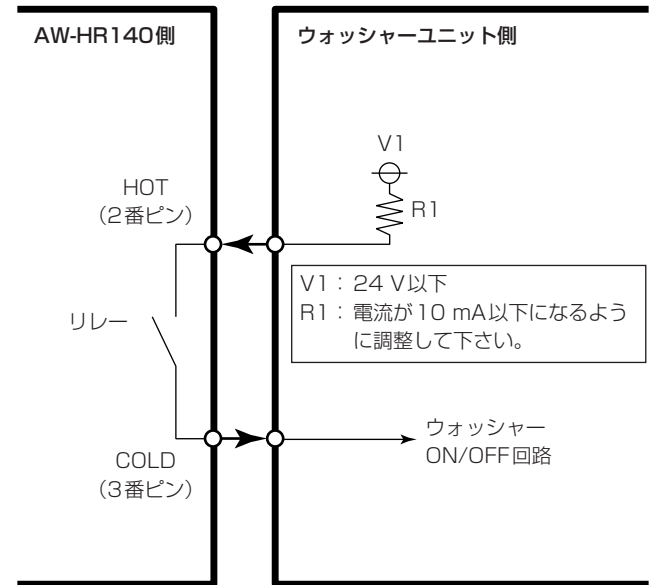
- 本機にはタリールンプがありませんが、ピン1 (GND) とピン2 (TALLY信号) をショートすると「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。
- 接点入力のため、ピン2 (TALLY信号) には電圧を加えないでください。

AUDIO IN(1/2)		
1	INPUT1 COMMON	 AG6FCCH アンフェノール製
2	INPUT1 HOT	
3	INPUT1 COLD	
4	INPUT2 COMMON	
5	INPUT2 HOT	
6	INPUT2 COLD	

EXT		
1	GND	 HR10A-7R-4SC(73) ヒロセ電機製
2	HOT	
3	COLD	
4	DC 12V OUT	

- [12V-OUT] (4番ピン) の出力は、DC 12 V/0.5 A以内で使用してください。
- [12V-OUT] (4番ピン) に接続するコードの長さは、AWG24のコードを使用されるときで0.5 mまでです。
0.5 mよりも長くする場合は、さらに太いコードを使用してください。

EXT端子のウォッシャー入出力接続例



数字

3G SDI Out	47, 80
3200K	28
5600K	28

A

ABB	74
Access level	84, 85
Activation	85
Advanced	89
AGC Max Gain	40, 73
AGC Mode	45, 76
ATW	28
ATW Speed	42, 75
ATW Width	42, 75
Audio	50, 71
Audio bit rate	71
Audio encoding format	71
Audio interval	71
Authentication	84
Automatic installation of viewer software	66
Auto port forwarding	90
AWB	28, 74
AW-RP50	16

B

Back up	101
Bandwidth control (bit rate)	88
Basic	66
B Gain	41, 74
B Pedestal	41, 74
Brightness	39, 40, 63, 72, 78
Burst tolerance level	69

C

CA Certificate	
CA Certificate install	91, 96
Generate Certificate Signing Request	91, 95
Information	91
CAM/BAR	61
Camera	38, 39
Camera short cut	90
Camera title	66, 83
Chroma Level	41, 74
Color Correction	44, 45, 77
COLOR TEMP	31, 33
Color Temperature	41, 74
Common	87
Compression	61
Config data type	101
Connection	91, 96
Contact	92
Control time period	69
CPU Software	
Camera Main	51, 99
Interface	51, 99
Network	51, 99
Servo	51, 99
CRT key generate	91, 94

D

Day/Night	40, 73
DC IN端子	15
DC Out	49, 82
Default gateway	87
Default Gateway	52
Default reset	101

Defroster	50, 82
Description	99
Destination IP address(1)	85
Destination IP address(2)	85
Detail	41, 74
Detail Band	41, 74
D.EXTENDER	32, 34
DHCPv6	87
Digital Extender	49, 81
Digital Zoom	49, 81
DNR	42, 75
DNS	87
Download	101
DRS	41, 75

E

Easy IP Setup accommodate period	88
EEPROM	
Interface	51, 99
End time & date	90
EXT端子	15

F

Fan	50, 82
Fan1	53
Fan2	53
Firmware file	99
Firmware VER	51
Firmware version	99
Firmware Version	51
Flesh Tone Noise SUP.	74
FleshTone NoiseSUP.	41
Flip Detect Angle	48, 80
Focus	62, 78
Focus ADJ With PTZ.	49, 78, 81
Focus Mode	49, 81
Format	47, 80
FPGA	
AVIO	51, 99
Com	51, 99
Lens	51, 99
Frame Mix	40, 73
Frame rate	69
FREEZE DURING	32, 34
Freeze During Preset	49, 79, 81
Frequency	47, 48, 80

G

Gain	40, 72
Gamma	41, 75
Gamma Type	41, 74
Genlock	46, 79
G/L IN端子	14

H

H.264(1) · H.264(2) · H.264(3) · H.264(4)	68
H.264 transmission	68
Haze Reduction	42, 75
Haze Reduction Level	42, 75
Head Room	50, 71
Heater	50, 82
Horizontal Phase	46, 79
Horizontal Phase Step	46
Host auth.	85
Host check	85
Hour Meter	51, 53
Housing	50, 82
HTTP max segment size(MSS)	88

HTTP port	87
HTTPS	90, 93, 96
HTTPS port	91
I	
Image	67
Image adjust	71, 72
Image capture size	68
Image Capture Size	61
Image/Position	71
Image quality	61, 68, 69
Image quality (JPEG)	68
Image Save	79
Initial display settings for "Live" page	67
Initialize	51, 52
Install Position	48, 80
Intelligent	39, 45, 76
Intelligent Mode	45, 76
Internet mode (over HTTP)	68
IP	49, 81
IP address	83, 85
IP Address	52
IP address(IPv4)	87
IP address(IPv6)	87
IP Network	51, 52
IPv4 network	87
IPv6 network	87
IP簡単設定ソフトウェア	21
IP制御用LAN端子	14
Iris Mode	39, 72
IS	49, 81
J	
JPEG	68
JPEG transmission	68
K	
Knee Mode	42, 75
Knee Point	42, 75
Knee Slope	42, 75
L	
Limitation Setting	79
Linear Matrix	43, 77
Line CH Select	50, 71
Line Level	50, 71
Line speed	88
Live	59, 60, 64
Location	92
M	
MAC address	99
Maintenance	38, 51, 99
Manual	87
Master Detail	41, 74
Matrix	39, 43, 44, 45
Matrix Settings	76
Matrix Type	43, 77
Max bit rate (per client)	69
Max Digital Zoom	49, 81
Max RTP packet size	88
Model no.	99
Model Select	82
MODEスイッチ	15
Multicast address	70
Multicast port	70
Multicast TTL/HOP Limit	70
Multi-screen	61, 64
Multi-screen setup	83

N	
ND Filter	40, 73
ND Filter Select	45, 76
Network	86
Network Settings	87
No	99
Noise Suppress	41, 74
NTP	89
NTP port	90
NTP server address	89
NTP server address setting	89
O	
Operation	53
Op. Lock	62
OSD Menu	61
OSD Menu Operation	61
OSD Mix	49, 81
OSD Off With Tally	49, 82
OSD Status	49, 82
Others	46, 48, 49, 50, 80
Output	46, 47
Output 1/3	80
Output 2/3	80
Output 3/3	80
Output VOL.	50, 71
P	
Password	84
Pedestal	41, 74
Phase	44, 45, 77
Picture	39, 41, 42, 73
Picture Level	39, 72
Port number(HTTP)	100
Port number(HTTPS)	100
Power ON	62, 66
Preset	63, 78
Preset D-Extender	48, 79, 81
Preset position	71, 77
Preset Scope	48, 79, 80
Preset Setting	78
Preset Speed	48, 78, 80
PRESET SPEED	32, 33
Preset Speed Table	48, 78, 80
Preset Zoom Mode	48, 79, 81
Primary DNS server address	87
Primary server address	87
Priority stream	85
Product info.	99
Protocol	82
Protocol Model Select	51
R	
Reboot	101
Recommended network setting for internet	89
Refresh interval	69, 86
Refresh interval (JPEG)	68
Reset to the default (Except the network settings)	101
Retype password	84
R Gain	41, 74
Router global address	100
R Pedestal	41, 74
RS-422端子	14
RTSP	92
RTSP port	92
RTSP Request URL	92

S		Viewer software installation counter	99
Saturation	44, 45, 77	W	
Scene	39, 63, 72	Washer	50, 82
SDI Out	49, 81	Web画面	58
SDI OUT端子	14	Web設定画面	59, 65
Secondary DNS server address	87	White Balance Mode	41, 74
Secondary server address	87	White Clip	42, 75
Self-signed Certificate		White Clip Level	42, 75
Generate	91, 94	Wiper	50, 82
Information	91	Wiper1	53
Setup	59, 65	Wiper2	53
Shutter Mode	39, 72	Z	
Smart Picture Flip	48, 80	Zoom	62, 78
Smoother live video display on the browser (buffering)	66	あ	
SNMP	91	アイリス	27, 104
SNMPv1/v2 - Community	92	い	
SNMPv3 - Authentication	92	色温度	31, 33
SNMPv3 - Encryption method	92	お	
SNMPv3 - Password	92	音声入力端子	15
SNMPv3 - User name	92	か	
SNMP version	92	解像度	103
Speed	63, 78	外部同期信号入力フォーマット	14
Speed With Zoom POS.	49, 78, 81	各映像フォーマット時の出力条件	15
Standby	62, 66	カメラ台座部固定用穴	14
Start time & date	90	カメラタイトル表示部	66
Status	99, 100	カメラヘッド部	14
Step/Synchro	39	カメラメニュー	31, 33, 38, 54, 105
Stream	61, 67	画揺れ補正	32, 34
Stream Menu	61	く	
Stream Type	85	黒レベル	29
Subnet mask	87	け	
Subnet Mask	52	ゲイン	27
Summer time(daylight saving)	90	ケーブルカバー固定用ねじ穴	14
Super Gain	40, 73	ゲンロック	29
System	38, 46, 79	こ	
System log	99	コントロールパッド/ボタン	63, 78
System name	92	さ	
T		撮影	23, 25
Time adjustment	89	撮影モード	24
Time adjustment interval	90	し	
Time & date	99	シーンファイル	24
Time & date - Date/time	66	システムログ	106
Time & date - End time & date	66	自動追尾式ホワイト調整	28
Time & date - NTP	66	シャッタースピード	27
Time & date - Start time & date	66	周波数	48
Time & date - Summer time (daylight saving)	66	状態表示ランプ	15
Time & date - Time zone	66	初期化	52
Time zone	90	シングル表示モード	60
Top Menu	38	す	
Transmission priority	69	水平位相調整	29
Transmission type	70	ズーム	102
U		スナップショットボタン	63
Unicast port1 (Image)	70		
Unicast port2 (Audio)	70		
Upload	101		
UPnP	90, 100		
User auth.	84		
User check	84		
User mng.	84		
User name	84		
USERボタン	32, 34		
V			
VAR	28		
V Detail Level	41, 74		
Video over IP	67		

せ

セーフモード	108
セキュリティ証明書	97
接地	6
接地端子	15
設定	30
全画面表示ボタン	63

た

タリーランプ	105
--------------	-----

ち

チルト	102
-----------	-----

て

デイモード	31, 33
デジタルエクステンダー	32, 34
電源	23

な

ナイトモード	31, 33
--------------	--------

は

パン	102
パンヘッド部	14

ひ

表示用プラグインソフトウェア	22
----------------------	----

ふ

フォーカス	27, 104
付属品	11
ブラックバランス	29
プリセット	103
プリセットスピード	32, 33
プリセットメモリー	27

ほ

ホワイトバランス	28
----------------	----

ま

マスターペDESTAL	29
マニュアル撮影	27
マルチ表示モード	64

め

メインエリア	62, 66
--------------	--------

ら

ライブ画面	59, 60, 64
落下防止ワイヤー取り付け穴	14

り

リミッター	107
-------------	-----

わ

ワイパー	14
------------	----

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2017